

本資料内に掲載されている平成 18 年から平成 25 年の統計については、数値の一部に誤りがあります。

修正後の数値は、

- 警察庁トップページ＞統計＞捜査活動に関する統計等＞犯罪統計
＞「犯罪統計資料(平成 25 年 1～12 月【確定値】訂正版)」の「正誤情報」
「犯罪統計（平成 20 年～平成 24 年）の訂正について」
- 警察庁トップページ＞統計＞捜査活動に関する統計等
＞年間の犯罪の「正誤情報」

をご確認ください。

平成25年の犯罪情勢

平成26年6月

警 察 庁

凡 例

1 本資料における用語等の意義は次のとおりである。

(1) 刑法犯

道路上の交通事故に係る危険運転致死傷、業務上（重）過失致死傷及び自動車運転過失致死傷を除いた「刑法」に規定する罪並びに「爆発物取締罰則」、「決闘罪ニ関スル件」、「暴力行為等処罰ニ関スル法律」、「盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律」、「航空機の強取等の処罰に関する法律」、「火炎びんの使用等の処罰に関する法律」、「航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律」、「人質による強要行為等の処罰に関する法律」、「流通食品への毒物の混入等の防止等に関する特別措置法」、「サリン等による人身被害の防止に関する法律」、「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律」、「公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律」及び「公衆等脅迫目的の犯罪行為のための資金の提供等の処罰に関する法律」に規定する罪をいう。

(2) 包括罪種

刑法犯を「凶悪犯」、「粗暴犯」、「窃盗犯」、「知能犯」、「風俗犯」、「その他の刑法犯」の6種に分類したものをいう。

凶悪犯……………殺人、強盗、放火、強姦

粗暴犯……………暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合

窃盗犯……………窃盗

知能犯……………詐欺、横領（占有離脱物横領を除く。）、偽造、汚職、背任、「公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律」に規定する罪

風俗犯……………賭博、わいせつ

その他の刑法犯……公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、器物損壊、占有離脱物横領等上記に掲げるもの以外の刑法犯

(3) 認知件数

警察において発生を認知した事件の数をいう。

(4) 検挙件数

刑法犯において警察で検挙した事件の数をいい、特に断りのない限り、解決事件の件数を含む。

(5) 検挙人員

警察において検挙した事件の被疑者の数をいい、解決事件に係る者を含まない。

(6) 解決事件（件数）

刑法犯として認知され、既に統計に計上されている事件であって、これを捜査した結果、刑事責任無能力者の行為であること、基本事実がないことその他の理由により犯罪が成立しないこと又は訴訟条件・処罰条件を欠くことが確認された事件（件数）をいう。

(7) 検挙率

認知件数に対する検挙件数の割合を百分比で表したものをいい、その算式は次による。

$$\text{検挙率} = \frac{\text{検挙件数（当該年以前の認知事件の検挙を含む。）}}{\text{当該年の認知件数}} \times 100$$

(8) 未遂罪及び予備罪は、それぞれの既遂の罪に含めている。

(9) 成人事件、少年事件、成人少年共犯事件

成人事件とは 20 歳以上の者が犯した事件を、少年事件とは 14 歳以上 20 歳未満の者が犯した事件をいい、両者の共犯事件を成人少年共犯事件という。

(10) 少年の検挙人員

特に断りのない限り、犯行時及び処理時の年齢がともに 14 歳以上 20 歳未満の少年の検挙人員をいう。

(11) 犯罪手口の名称変更

平成 16 年から、「部品盗」を「部品ねらい」に、「自動販売機荒し」を「自動販売機ねらい」に、「空き巣ねらい」を「空き巣」に改めた。

(12) 発生場所

ア 「共同住宅（4 階建以上）」とは、中高層（4 階建以上）住宅とし、「共同住宅（3 階建以下）」とは、その他の住宅（住宅のうち、一戸建住宅及び中高層（4 階建以上）住宅を除く）とした。

イ 「一般事務所」とは、その他の会社・事務所とした。

ウ 「商店」とは、デパート、総合スーパー、ホームセンター、家電量販店、コンビニエンスストア、ドラッグストア、その他のスーパーマーケット、レンタルビデオ店、貴金属店、古物店、給油所及びその他の商店（平成 20 年以前は、総合スーパー、ホームセンター、家電量販店の区分はない）とした。

エ 「生活環境営業」とは、一般ホテル・旅館、サウナ等公衆浴場、コインランドリー、映画館劇場等、ぱちんこ屋・まあじゃん屋等、景品交換所、ゲームセンター、その他の風俗営業店、個室付浴場、モーテル・ラブホテル等、その他の店舗型性風俗特殊営業店、カラオケボックス、マンガ喫茶・インターネットカフェ、深夜飲食店、その他の飲食店（平成 20 年以前は、コインランドリー、カラオケボックス、マンガ喫茶・インターネットカフェの区分はない）とした。

オ 「金融機関等」とは、質屋、貸金業、銀行、郵便局、信用金庫・組合及び農（漁）業協同組合とした。

カ 「公共交通機関等」とは、地下鉄内、新幹線内、その他の列車内、駅、その他の鉄道施設、航空機内、空港、船舶内、海港及びバス内とした。

キ 「その他の交通機関」とは、タクシー内及びその他の自動車内とした。

ク 「その他の街頭」とは、地下街・地下通路及び高速道路とした。

ケ 「街頭」とは、道路上、コインパーキング、月極駐車場、その他の駐車場、駐輪場、都市公園、空き地、公共交通機関等、その他の交通機関及びその他の街頭（平成 20 年以前は、コインパーキング、月極駐車場、その他の駐車場、駐輪場の区分はない）とした。

コ 「駐車(輪)場」とは、コインパーキング、月極駐車場、その他の駐車場及び駐輪場（平成 20 年以前は、「駐車(輪)場」で、コインパーキング、月極駐車場、その他の駐車場、駐輪場の区分はない）とした。

サ 「学校（幼稚園）」には、学校教育法の一部を改正する法律（平成 19 年 6 月 27 日法律第 98 号）による改正前の学校教育法第 1 条に掲げる学校（小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、大学、高等専門学校、盲学校、聾学校、養護学校、幼稚園）、同法第 82 条の 2 の専修学校及び同法第 83 条の各種学校のほか、その実態が幼稚園と同視されるような保育所を含む。

シ 「都市公園」とは、都市公園法第 2 条に規定する公園及び緑地で、同法第 2 条の 2 の規定に基づき設置されたものをいう。

(13) 来日外国人

来日外国人とは、我が国にいる外国人のうち、いわゆる定着居住者（永住権を有する者等）、在日米軍関係者及び在留資格不明の者以外の者をいう。

(14) オートバイ

オートバイとは、自動二輪（50cc 超）及び原動機付自転車（50cc 以下）とした。

(15) 高齢者

高齢者とは、65 歳以上の者とした。

2 本資料の分析は、犯罪統計及び実務統計による（実務統計とは、警察庁において特別調査により集計する数値である。）。

3 本資料中の図表による構成比については、四捨五入の関係で、合計の数値と内訳の数値の計が一致しない場合がある。

4 本資料中の事例の検挙月日は、特に断りのない限り、平成 25 年である。

目 次

第 1 全刑法犯の概況

1 刑法犯の認知・検挙状況の推移	1
2 刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移	2
3 刑法犯の被害状況の推移	3
コラム 特徴がみられる犯罪と今後の犯罪抑止対策	4

第 2 主な刑法犯の現況

1 重要犯罪	7
(1) 重要犯罪の認知・検挙状況	7
(2) 殺人事件の状況	8
ア 捜査本部設置事件の状況	11
イ 通り魔殺人事件	11
ウ 保険金目的殺人事件	12
(3) 強盗事件の状況	13
ア 金融機関・郵便局対象強盗事件	15
イ 消費者金融対象強盗事件	16
ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件	17
エ ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件	18
オ ぱちんこ景品買取所対象強盗事件	18
カ 現金輸送車対象強盗事件	19
キ タクシー対象強盗事件	19
ク 強盗の手口別認知・検挙状況	20
(4) 主な性犯罪の状況	21
(5) 略取誘拐・人身売買事件の状況	23
(6) 放火事件の状況	24
2 重要窃盗犯	25
(1) 重要窃盗犯の認知・検挙状況	25
(2) 侵入盗	26
(3) 自動車盗	30
(4) ひったくり	32
(5) すり	34
3 重要窃盗犯以外の窃盗犯の状況	35
(1) 組織窃盗事件の状況	35
(2) 車上ねらい	36
(3) 部品ねらい	38

(4) 万引き	39
(5) オートバイ盗	40
(6) 自転車盗	42
4 詐欺の状況	44
5 振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺等の状況	45
(1) 振り込め詐欺	46
ア オレオレ詐欺	46
イ 架空請求詐欺	48
ウ 融資保証金詐欺	49
エ 還付金等詐欺	50
(2) 振り込め詐欺以外の特殊詐欺	51
ア 金融商品等取引名目の詐欺	51
イ ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺	53
ウ 異性との交際あっせん名目の詐欺	53
(3) 特殊詐欺を助長する犯罪	54
ア 預貯金口座の不正な取得・流通	54
イ 携帯電話の不正な取得・流通	55
6 構造的な不正事案等	56
(1) 政治・行政をめぐる不正事案	56
ア 贈収賄事件	56
イ あっせん利得処罰法違反事件	57
ウ 公契約関係競売入札妨害・談合事件	57
エ 公職選挙法違反事件	57
オ 公務員犯罪	58
(2) 経済をめぐる不正事案	59
ア 企業犯罪	59
イ 金融関連犯罪	59
ウ 財政侵害犯罪等	60
(3) 通貨偽造犯罪	61
7 風俗犯の認知・検挙状況	62
(1) 強制わいせつの認知・検挙状況	62
(2) 公然わいせつの認知・検挙状況	62
(3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況	62
(4) 賭博の認知・検挙状況	63
8 特殊事件・事故	64

(1) 人質立てこもり事件	64
(2) 業務上過失致死傷事件・事故	64
9 その他の特徴的な犯罪	65
(1) 高齢者による犯罪	65
(2) 薬物常用者による犯罪	66
(3) 銃砲刀剣類等を使用した犯罪	67
(4) カードの窃盗被害の状況等とカード使用犯罪	69
ア カードの窃盗被害の状況	69
イ カード偽造犯罪の認知・検挙状況	70
ウ カードを使用した窃盗及び詐欺の状況	71
(5) その他	72
ア 暴行・傷害の認知・検挙状況	72
イ 公務執行妨害の認知・検挙状況	74
ウ 器物損壊等の認知・検挙状況	74
10 少年による犯罪	75
(1) 少年による刑法犯の検挙状況	75
(2) 少年による初発型非行の検挙状況	76
(3) 触法少年（刑法）の補導状況	77
11 来日外国人による犯罪	78
(1) 刑法犯の検挙状況	78
(2) 国籍・地域別刑法犯検挙状況	78
(3) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況	79
(4) 不法滞在者・正規滞在者の検挙状況	80
12 暴力団による犯罪	81
(1) 暴力団構成員等の状況	81
(2) 暴力団構成員等の刑法犯の検挙状況	82
13 女性・子供・高齢者を主たる被害者とする犯罪	84
(1) 女性を主たる被害者とする犯罪	84
ア 女性の犯罪被害の状況	84
イ 年齢層別の犯罪被害の状況	86
ウ 場所別被害の発生状況	86
エ 配偶者による暴力事件	87
(2) 子供を主たる被害者とする犯罪	88
ア 子供の犯罪被害の状況	88
イ 就学別の犯罪被害の状況	90
ウ 場所別被害の発生状況	91

エ 子供対象・暴力的性犯罪被害の状況	92
(3) 高齢者を主たる被害者とする犯罪	93
ア 高齢者の犯罪被害の状況	93
イ 場所別被害の発生状況	95

第3 資料

1 刑法犯の認知・検挙状況の推移	97
2 刑法犯の罪種別犯罪率の推移	98
3 刑法犯の都道府県別認知件数の推移	100
4 刑法犯の都道府県別検挙件数の推移	102
5 刑法犯の都道府県別検挙人員の推移	104
6 刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移	106
7 凶悪犯の罪種別認知・検挙状況の推移	106
8 粗暴犯の罪種別認知・検挙状況の推移	108
9 窃盗犯の手口別認知・検挙状況の推移	108
10 侵入盗の手口別認知・検挙状況の推移	110
11 乗り物盗の手口別認知・検挙状況の推移	110
12 非侵入盗の手口別認知・検挙状況の推移	112
13 知能犯の罪種別認知・検挙状況の推移	112
14 風俗犯の罪種別認知・検挙状況の推移	114
15 その他の刑法犯の罪種別認知・検挙状況の推移	114
16 来日外国人刑法犯の罪種・手口別検挙状況の推移	116
17 来日外国人刑法犯の国籍別検挙状況の推移	118
18 刑法犯の発生場所別認知件数(全刑法犯、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯)	120
19 刑法犯の発生場所別認知件数(非侵入盗、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯)	122
※図表索引	125

第1 全刑法犯の概況

1 刑法犯の認知・検挙状況の推移

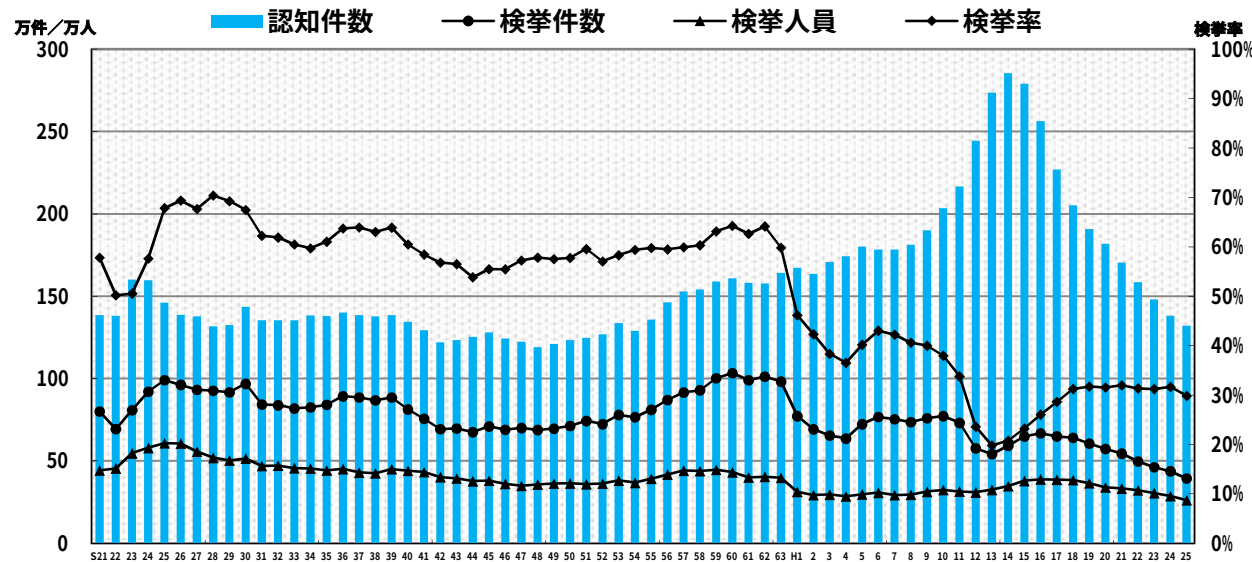
刑法犯の認知件数は、平成8年から14年にかけて戦後最多の記録を更新し続け、14年には285万件を突破した。その後、15年から減少に転じ、25年中は132万678件で前年より6万1,443件（4.4%）減少している。

刑法犯の検挙件数は、15年から19年にかけて60万件台で推移し、20年には50万件台、22年には40万件台となり、25年中は39万4,123件で前年より4万3,489件（9.9%）減少している。

刑法犯の検挙人員は、9年以降30万人台で推移し、13年から16年にかけて増加していたが、17年から減少に転じ、25年中は26万2,486人で前年より2万4,535人（8.5%）減少している。

また、認知件数、検挙件数ともに減少する中、検挙率も低下し、25年中は29.8%と前年より1.9ポイント低下した(図表1-1-1、2)。

図表1-1-1 刑法犯の認知・検挙及び検挙率の推移（昭和21年～平成25年）



図表1-1-2 刑法犯の認知・検挙及び検挙率の推移（平成16年～平成25年）

年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減(前年比)	
											件(人)数	率(%)
認知件数	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,818,023	1,703,044	1,585,856	1,480,760	1,382,121	1,320,678	-61,443	-4.4
検挙件数	667,620	649,503	640,657	605,358	573,392	544,699	497,356	462,535	437,612	394,123	-43,489	-9.9
検挙人員	389,027	386,955	384,250	365,577	339,752	332,888	322,620	305,631	287,021	262,486	-24,535	-8.5
うち少年	134,847	123,715	112,817	103,224	90,966	90,282	85,846	77,696	65,448	56,469	-8,979	-13.7
(割合%)	34.7	32.0	29.4	28.2	26.8	27.1	26.6	25.4	22.8	21.5	-1.3	ポイント
うち来日外国人	8,898	8,505	8,148	7,528	7,148	7,190	6,710	5,889	5,423	5,620	197	3.6
(割合%)	2.3	2.2	2.1	2.1	2.1	2.2	2.1	1.9	1.9	2.1	0.2	ポイント
うち暴力団構成員等	19,472	18,629	18,016	16,621	16,242	16,312	15,782	15,805	14,506	13,447	-1,059	-7.3
(割合%)	5.0	4.8	4.7	4.5	4.8	4.9	4.9	5.2	5.1	5.1	0.0	ポイント
検挙率	26.1	28.6	31.2	31.7	31.5	32.0	31.4	31.2	31.7	29.8	-1.9	ポイント

注：本表の少年、来日外国人及び暴力団構成員等は、対象ごとの検挙人員及び占める割合を記述したもので、検挙人員は重複するものもある。

2 刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移

平成 25 年中の刑法犯認知件数を包括罪種別にみると、前年に比べ、凶悪犯は 195 件（2.8%）、粗暴犯は 573 件（0.9%）、窃盗犯は 5 万 4,175 件（5.2%）、その他の刑法犯は 9,729 件（4.5%）それぞれ減少したが、知能犯は 3,089 件（7.7%）、風俗犯は 140 件（1.2%）それぞれ増加し、刑法犯総数では 6 万 1,443 件（4.4%）減少した。刑法犯総数の減少数に占める窃盗犯の減少数の割合は、88.2%となっている。

刑法犯認知件数全体に占める割合を包括罪種別にみると、凶悪犯は 0.5%、粗暴犯は 5.0%、窃盗犯は 74.7%、知能犯は 3.3%、風俗犯は 0.9%、その他の刑法犯は 15.6%となっている。

検挙件数は、前年に比べ、凶悪犯は 240 件（4.5%）、粗暴犯は 733 件（1.5%）、窃盗犯は 3 万 1,814 件（11.1%）、知能犯は 2,045 件（8.5%）、風俗犯は 612 件（8.0%）、その他の刑法犯は 8,045 件（12.4%）それぞれ減少した。

検挙人員は、前年に比べ、凶悪犯は 132 人（2.8%）、粗暴犯は 1,303 人（2.5%）、窃盗犯は 1 万 4,917 人（9.7%）、知能犯は 142 人（1.0%）、風俗犯は 434 人（7.0%）、その他の刑法犯は 7,607 人（13.6 %）それぞれ減少した。（図表 1－2）。

図表 1－2 包括罪種別の認知・検挙状況の推移

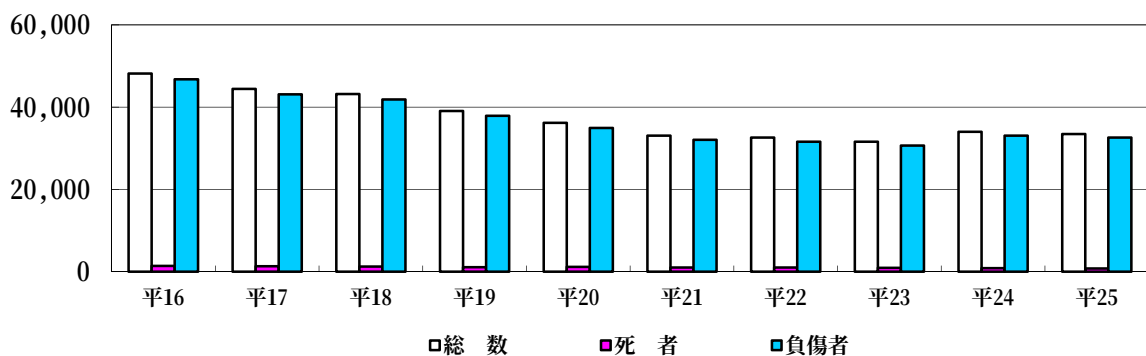
区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件数	率 (%)
刑法犯総数	認知件数 (件)	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,818,023	1,703,044	1,585,856	1,480,760	1,382,121	1,320,678	-61,443	-4.4
	検挙件数 (件)	667,620	649,503	640,657	605,358	573,392	544,699	497,356	462,535	437,612	394,123	-43,489	-9.9
	検挙人員 (人)	389,027	386,955	384,250	365,577	339,752	332,888	322,620	305,631	287,021	262,486	-24,535	-8.5
凶悪犯	認知件数	13,064	11,360	10,124	9,051	8,581	8,314	7,576	6,996	6,961	6,766	-195	-2.8
	検挙件数	7,924	7,418	7,125	6,461	6,229	6,073	5,503	5,287	5,368	5,128	-240	-4.5
	検挙人員	7,519	7,047	6,459	5,923	5,634	5,654	5,021	4,786	4,779	4,647	-132	-2.8
粗暴犯	認知件数	76,616	73,772	76,303	72,908	68,948	63,995	63,646	61,698	67,183	66,610	-573	-0.9
	検挙件数	41,128	44,037	49,409	49,656	47,772	45,719	45,932	45,095	49,220	48,487	-733	-1.5
	検挙人員	46,801	49,156	54,505	54,163	51,924	49,225	49,525	48,582	52,577	51,274	-1,303	-2.5
窃盗犯	認知件数	1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956	1,372,840	1,299,294	1,213,442	1,133,125	1,040,447	986,272	-54,175	-5.2
	検挙件数	447,950	429,038	416,281	395,243	379,839	361,969	327,786	305,922	286,638	254,824	-31,814	-11.1
	検挙人員	195,151	194,119	187,654	180,446	174,738	175,823	175,214	168,514	153,864	138,947	-14,917	-9.7
知能犯	認知件数	99,258	97,500	84,271	75,999	73,252	53,002	44,347	40,721	40,097	43,186	3,089	7.7
	検挙件数	36,299	38,151	37,296	33,878	36,979	34,147	29,688	26,433	24,105	22,060	-2,045	-8.5
	検挙人員	14,850	15,053	15,760	15,264	15,145	15,433	14,138	13,262	13,665	13,523	-142	-1.0
風俗犯	認知件数	12,346	12,085	11,932	11,184	10,559	10,182	10,893	10,905	11,924	12,064	140	1.2
	検挙件数	6,070	6,422	6,752	6,462	6,376	6,478	6,742	6,842	7,635	7,023	-612	-8.0
	検挙人員	5,688	6,373	6,261	6,279	6,048	5,951	6,033	5,881	6,204	5,770	-434	-7.0
その他の刑法犯	認知件数	379,909	349,504	333,692	309,738	283,843	268,257	245,952	227,315	215,509	205,780	-9,729	-4.5
	検挙件数	128,249	124,437	123,794	113,658	96,197	90,313	81,705	72,956	64,646	56,601	-8,045	-12.4
	検挙人員	119,018	115,207	113,611	103,502	86,263	80,802	72,689	64,606	55,932	48,325	-7,607	-13.6

3 刑法犯の被害状況の推移

刑法犯の死傷被害者数は、平成 17 年以降、減少傾向にある中で、平成 24 年は 8 年ぶりに増加したが、平成 25 年は再び減少に転じた。死傷被害者数の内訳をみると、死者は 821 人で、前年に比べ 80 人（8.9％）減少し、負傷者は 3 万 2,629 人で、前年に比べ 436 人（1.3％）減少している（図表 1－3－1）。

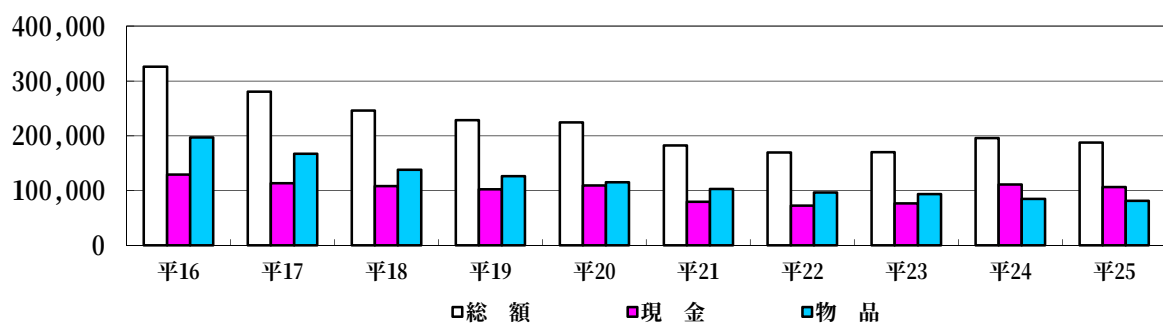
財産犯の被害額は、平成 15 年以降、減少傾向にある中、平成 23 年、24 年と増加したが、平成 25 年は再び減少に転じた。被害の内訳をみると、現金の被害は約 1,065 億 900 万円で、前年に比べ約 43 億 1,100 万円（3.9％）減少し、物品の被害は約 811 億 6,400 万円で、前年に比べ約 36 億 6,100 万円（4.3％）減少している（図表 1－3－2）。

図表 1－3－1 刑法犯 死傷被害者数の推移



年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											人数	率 (%)
総 数	48,190	44,465	43,160	39,022	36,153	33,076	32,611	31,606	33,966	33,450	-516	-1.5
死 者	1,397	1,354	1,284	1,134	1,211	1,054	996	967	901	821	-80	-8.9
負傷者	46,793	43,111	41,876	37,888	34,942	32,022	31,615	30,639	33,065	32,629	-436	-1.3

図表 1－3－2 財産犯 被害額の推移



年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											金額	率 (%)
総 額	325,846	280,536	245,840	228,594	224,662	182,404	169,317	170,010	195,645	187,673	-7,972	-4.1
現 金	128,928	113,386	108,010	102,245	109,408	79,469	72,767	76,382	110,820	106,509	-4,311	-3.9
物 品	196,918	167,150	137,830	126,349	115,254	102,935	96,550	93,628	84,825	81,164	-3,661	-4.3

注：財産犯とは、強盗、恐喝、窃盗、詐欺、横領及び占有離脱物横領とした。

（単位：百万円）

コラム 特徴がみられる犯罪と今後の犯罪抑止対策

◎ 近年の傾向

平成 25 年中は、ほとんどの罪種や手口の認知件数が減少している中、詐欺等の知能犯、強制わいせつ、公然わいせつ等の風俗犯がそれぞれ増加したほか、近年の傾向として下記のような特徴がみられた。

○ 住宅対象侵入盗における無施錠率は依然として高い

25 年中の住宅対象侵入盗の認知件数は 5 万 7,891 件と、前年に比べ 3,047 件（5.0%）減少しており、侵入手段別の統計を取り始めた 16 年に比べると 11 万 3,100 件（66.1%）減少している。

侵入手段別にみると、防犯性能の高い建物部品の開発、特殊開錠用具の所持の禁止等に関する法律の施行等により、ピッキング、サムターン回しの減少が顕著で、施錠開けは大きく減少している。一方、無締りの認知件数は 16 年から半減しているが、他の侵入手段よりも減少率が小さく、無施錠率は、16 年の 33.1%から 25 年の 45.1%に上昇している（図表 1－4）。

図表 1－4 住宅対象侵入盗の侵入手段別認知件数の推移

区分	年次	平 16	平 17	平 18	平 19	平 20	平 21	平 22	平 23	平 24	平 25	増減（前年比）	
												件数	率(%)
認知件数（計）		170,991	142,945	120,023	103,490	91,082	81,436	74,558	66,872	60,938	57,891	-3,047	-5.0
施錠開け		16,902	13,640	10,516	8,018	6,071	4,157	3,591	3,549	3,287	3,038	-249	-7.6
うち)ピッキング		3,948	1,995	1,406	641	323	101	92	85	41	28	-13	-31.7
うち)サムターン		3,612	2,938	2,610	1,652	1,118	488	364	348	283	234	-49	-17.3
ガラス破り		74,388	63,537	52,178	41,784	37,961	33,314	31,087	24,854	22,496	21,483	-1,013	-4.5
無締り		56,533	47,192	42,065	39,291	35,393	33,836	31,120	30,558	27,890	26,136	-1,754	-6.3
その他・不明		23,168	18,576	15,264	14,397	11,657	10,129	8,760	7,911	7,265	7,234	-31	-0.4
無施錠率(%)		33.1	33.0	35.0	38.0	38.9	41.5	41.7	45.7	45.8	45.1	-0.7	ポイント

注：「住宅対象侵入盗」は、空き巣、忍込み及び居空きとした。

○ 万引き検挙人員に占める高齢者の割合の上昇

25 年中の万引き認知件数は 12 万 6,500 件と、前年に比べ 8,376 件（6.2%）減少しているが、刑法犯総数に占める割合は 9.6%と、16 年の 6.2%から上昇している（図表 2－3－(4)－1）。

検挙人員を犯行時の年齢層別にみると、高齢者（65 歳以上）が 2 万 7,953 人、成人（20～64 歳）が 4 万 751 人、少年（14～19 歳）が 1 万 6,760 人で、高齢者が少年を上回っている。また、検挙人員に占める高齢者の割合は 32.7%で、総人口に占める高齢者の割合 25.1%（平成 25 年 10 月 1 日現在の推計人口（総務省統計局））を上回っている（図表 1－5）。

図表 1－5 万引きの年齢層別検挙人員の推移

区分	年次	平 16	平 17	平 18	平 19	平 20	平 21	平 22	平 23	平 24	平 25	増減（前年比）	
												件数	率(%)
検挙人員(計)		112,783	113,953	107,123	102,504	101,504	105,228	104,804	101,340	93,079	85,464	-7,615	-8.2
少年		38,912	36,481	30,189	28,186	26,303	29,153	28,364	26,005	19,673	16,760	-2,913	-14.8
成人		53,204	54,220	51,874	48,464	48,186	49,056	49,078	47,269	44,733	40,751	-3,982	-8.9
高齢者		20,667	23,252	25,060	25,854	27,015	27,019	27,362	28,066	28,673	27,953	-720	-2.5
割合(%)		18.3	20.4	23.4	25.2	26.6	25.7	26.1	27.7	30.8	32.7	1.9	ポイント

注：年齢層の区分は、犯行時の年齢を基準とし、犯行時の年齢 14～19 歳を「少年」、20～64 歳を「成人」、65 歳以上を「高齢者」と区分した。

○ ぱちんこ営業所等における置引きの発生の増加

25 年中の置引きの認知件数は 4 万 3,182 件で、前年に比べ 700 件（1.6%）減少しており、16 年に比べると 2 万 8,636 件（39.9%）減少している。

発生場所別にみると、ぱちんこ営業所等が最も多く、他の場所が総じて減少している中、25 年は 9,121 件で、16 年から 33.2%増加し、置引きの認知件数全体に占める割合は、16 年の 9.5%から 25 年の 21.1%に上昇している（図表 1－6）。

図表 1－6 置引きの主な発生場所別認知件数の推移

区分	年次	平 16	平 17	平 18	平 19	平 20	平 21	平 22	平 23	平 24	平 25	増減（前年比）	
												件数	率（%）
認知件数（計）		71,818	67,328	65,377	58,727	54,109	50,212	46,208	43,238	43,882	43,182	-700	-1.6
ぱちんこ営業所等		6,846	7,789	8,627	8,092	8,199	8,080	8,137	8,322	9,070	9,121	51	0.6
スーパーマーケット		8,821	8,155	8,116	7,254	6,535	5,867	5,515	4,963	5,018	4,954	-64	-1.3
ゲームセンター		4,781	4,982	5,208	4,866	4,334	4,108	3,671	3,571	3,505	3,397	-108	-3.1
ぱちんこ営業所等の割合（%）		9.5	11.6	13.2	13.8	15.2	16.1	17.6	19.2	20.7	21.1	0.4	ポイント

注 ぱちんこ営業所等は「ぱちんこ屋・まあじゃん屋等」、スーパーマーケットは「総合スーパー」「その他のスーパーマーケット」、ゲームセンターは「ゲームセンター」を発生場所として計上した認知件数。

◎ 今後の犯罪抑止対策

我が国の刑法犯認知件数は 11 年連続で減少し、平成 15 年以来取り組んできた街頭犯罪・侵入犯罪抑止総合対策等を中心とした治安対策は相応の成果を上げたところであるが、子供・女性・高齢者が被害者となる犯罪や、特殊詐欺、サイバー犯罪等の被害が深刻化しており、国民はいまだ治安に対する不安感を抱いている。

こうした最近の治安情勢に的確に対応し、国民の安全・安心を確保し、治安水準の更なる向上を目指すため、平成 25 年 12 月に閣議決定された「「世界一安全な日本」創造戦略」に基づき、2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を視野に、地域住民や関係機関等と連携協働した犯罪対策を積極的に推進していく。

- 地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止対策の推進
- 子供・女性・高齢者が被害者となる犯罪対策の推進
- 防犯ネットワークによる主体的な自主防犯活動の促進
- 初動捜査の高度化と的確な捜査指揮による検挙活動の推進
- 捜査の科学化の推進

第2 主な刑法犯の現況

1 重要犯罪

(1) 重要犯罪の認知・検挙状況

重要犯罪（殺人、強盗、放火、強姦の凶悪犯に略取誘拐・人身売買、強制わいせつを加えたものをいう。以下同じ。）の認知件数は、平成16年以降減少していたが、平成24年に増加に転じ、平成25年も、前年に比べ211件（1.5%）増加している。

検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は232件（2.4%）、検挙人員は79人（1.1%）それぞれ減少している。

また、検挙率は63.3%と、前年に比べ、2.5ポイント低下している（図表2-1-(1)）。

図表2-1-(1) 重要犯罪の認知・検挙状況の推移

区分		年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
													件(人)数	率(%)
重要犯罪	認知件数		22,568	20,388	18,649	16,922	15,847	15,158	14,788	14,013	14,412	14,623	211	1.5
	検挙件数		11,812	11,419	11,084	10,181	9,925	9,776	9,291	8,969	9,487	9,255	-232	-2.4
	検挙人員		9,931	9,509	8,880	8,315	7,982	7,884	7,317	7,121	7,367	7,288	-79	-1.1
	検 挙 率		52.3	56.0	59.4	60.2	62.6	64.5	62.8	64.0	65.8	63.3	-2.5	ポイント
殺人	認知件数		1,419	1,392	1,309	1,199	1,297	1,094	1,067	1,051	1,030	938	-92	-8.9
	検挙件数		1,342	1,345	1,267	1,157	1,237	1,074	1,029	1,029	963	950	-13	-1.3
	検挙人員		1,391	1,338	1,241	1,161	1,211	1,036	999	971	899	906	7	0.8
	検 挙 率		94.6	96.6	96.8	96.5	95.4	98.2	96.4	97.9	93.5	101.3	7.8	ポイント
強盗	認知件数		7,295	5,988	5,108	4,567	4,278	4,512	4,029	3,673	3,658	3,328	-330	-9.0
	検挙件数		3,666	3,269	3,061	2,790	2,612	2,923	2,516	2,385	2,486	2,236	-250	-10.1
	検挙人員		4,154	3,844	3,335	2,985	2,813	3,069	2,568	2,431	2,430	2,255	-175	-7.2
	検 挙 率		50.3	54.6	59.9	61.1	61.1	64.8	62.4	64.9	68.0	67.2	-0.8	ポイント
放火	認知件数		2,174	1,904	1,759	1,519	1,424	1,306	1,191	1,087	1,033	1,090	57	5.5
	検挙件数		1,513	1,361	1,337	1,120	1,054	913	895	880	822	779	-43	-5.2
	検挙人員		867	791	825	764	659	631	651	616	592	549	-43	-7.3
	検 挙 率		69.6	71.5	76.0	73.7	74.0	69.9	75.1	81.0	79.6	71.5	-8.1	ポイント
強姦	認知件数		2,176	2,076	1,948	1,766	1,582	1,402	1,289	1,185	1,240	1,410	170	13.7
	検挙件数		1,403	1,443	1,460	1,394	1,326	1,163	1,063	993	1,097	1,163	66	6.0
	検挙人員		1,107	1,074	1,058	1,013	951	918	803	768	858	937	79	9.2
	検 挙 率		64.5	69.5	74.9	78.9	83.8	83.0	82.5	83.8	88.5	82.5	-6.0	ポイント
略取誘拐・ 人身売買	認知件数		320	277	199	207	155	156	185	147	188	185	-3	-1.6
	検挙件数		232	204	180	178	141	140	151	132	173	160	-13	-7.5
	検挙人員		187	176	167	152	129	101	107	118	137	154	17	12.4
	検 挙 率		72.5	73.6	90.5	86.0	91.0	89.7	81.6	89.8	92.0	86.5	-5.5	ポイント
強制 わいせつ	認知件数		9,184	8,751	8,326	7,664	7,111	6,688	7,027	6,870	7,263	7,672	409	5.6
	検挙件数		3,656	3,797	3,779	3,542	3,555	3,563	3,637	3,550	3,946	3,967	21	0.5
	検挙人員		2,225	2,286	2,254	2,240	2,219	2,129	2,189	2,217	2,451	2,487	36	1.5
	検 挙 率		39.8	43.4	45.4	46.2	50.0	53.3	51.8	51.7	54.3	51.7	-2.6	ポイント

(2) 殺人事件の状況

殺人事件の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は92件（8.9%）、検挙件数は13件（1.3%）それぞれ減少し、検挙人員は7人（0.8%）増加している。

また、検挙率は、前年に比べ、7.8ポイント上昇している（図表2-1-(2)-1）。

平成16年以降認知件数は減少傾向にあり、平成25年は、戦後初めて1,000件を下回っている。検挙件数、検挙人員も減少傾向にあるが、検挙率は高水準を維持しており、平成25年には101.3%を記録した。

図表2-1-(2)-1 殺人事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		1,419	1,392	1,309	1,199	1,297	1,094	1,067	1,051	1,030	938	-92	-8.9
検挙件数(件)		1,342	1,345	1,267	1,157	1,237	1,074	1,029	1,029	963	950	-13	-1.3
検挙人員(人)		1,391	1,338	1,241	1,161	1,211	1,036	999	971	899	906	7	0.8
検 挙 率(%)		94.6	96.6	96.8	96.5	95.4	98.2	96.4	97.9	93.5	101.3	7.8 ポイント	
被害(死亡)者数		699	643	619	574	646	506	465	442	428	370	-58	-13.6
	男性	366	324	295	292	309	253	228	208	189	179	-10	-5.3
	女性	333	319	324	282	337	253	237	234	239	191	-48	-20.1

図表２－１－(２)－２ 殺人事件の検挙件数における被疑者と被害者の関係

被害者		総 数	親族間計		親	子	配偶者 (内縁を 含む)	兄弟姉妹	その他の親族	知人友人	職場関係者	その他	面識なし	被害者なし
				割合										
総数	平成16年	1,224	557	45.5	121	135	206	57	38	300	65	147	154	1
	平成17年	1,224	541	44.2	133	111	218	50	29	273	74	144	189	3
	平成18年	1,155	542	46.9	154	143	179	38	28	290	71	114	132	6
	平成19年	1,052	506	48.1	133	102	192	42	37	251	61	92	137	5
	平成20年	1,120	558	49.8	143	130	200	36	49	283	63	86	123	7
	平成21年	971	467	48.1	121	116	152	48	30	254	61	75	111	3
	平成22年	944	494	52.3	121	101	184	43	45	227	55	58	108	2
	平成23年	941	489	52.0	153	104	158	46	28	206	44	83	114	5
	平成24年	884	473	53.5	137	114	153	42	27	178	51	71	103	8
	平成25年	858	459	53.5	144	98	155	36	26	206	39	60	88	6
	増減数	-26	-14	0.0	7	-16	2	-6	-1	28	-12	-11	-15	-2
	増減率	-2.9	-3.0	0.0%	5.1	-14.0	1.3	-14.3	-3.7	15.7	-23.5	-15.5	-14.6	-25.0
14－19歳	平成16年	38	19	50.0	9	4	1	4	1	10	0	4	5	0
	平成17年	52	30	57.7	17	5	1	4	3	7	1	4	10	0
	平成18年	56	25	44.6	15	7	0	3	0	16	0	3	11	1
	平成19年	45	21	46.7	8	4	0	3	6	10	0	5	8	1
	平成20年	40	16	40.0	9	1	2	1	3	10	1	4	8	1
	平成21年	45	23	51.1	13	3	1	5	1	16	0	1	5	0
	平成22年	39	23	59.0	9	3	0	7	4	11	1	1	3	0
	平成23年	46	21	45.7	11	5	1	3	1	13	1	4	7	0
	平成24年	38	23	60.5	13	3	1	5	1	4	0	1	10	0
	平成25年	40	15	37.5	7	1	0	2	5	15	0	2	7	1
	増減数	2	-8	-23.0	-6	-2	-1	-3	4	11	0	1	-3	1
	増減率	5.3	-34.8	-23.0%	-46.2	-66.7	-100.0	-60.0	400.0	275.0	-	100.0	-30.0	-
20－64歳	平成16年	1,024	452	44.1	106	113	154	48	31	253	59	125	134	1
	平成17年	1,031	437	42.4	111	91	172	39	24	234	66	122	169	3
	平成18年	949	432	45.5	138	112	130	31	21	239	65	94	114	5
	平成19年	879	411	46.8	122	85	148	32	24	215	58	70	123	2
	平成20年	900	423	47.0	126	104	126	32	35	243	58	68	104	4
	平成21年	783	347	44.3	104	84	100	36	23	215	55	64	99	3
	平成22年	730	351	48.1	110	66	113	30	32	185	49	46	98	1
	平成23年	744	373	50.1	136	68	110	37	22	170	41	60	95	5
	平成24年	695	350	50.4	123	82	94	31	20	150	50	51	86	8
	平成25年	661	338	51.1	131	73	91	28	15	163	38	45	72	5
	増減数	-34	-12	0.7	8	-9	-3	-3	-5	13	-12	-6	-14	-3
	増減率	-4.9	-3.4	0.7%	6.5	-11.0	-3.2	-9.7	-25.0	8.7	-24.0	-11.8	-16.3	-37.5
65歳以上	平成16年	162	86	53.1	6	18	51	5	6	37	6	18	15	0
	平成17年	141	74	52.5	5	15	45	7	2	32	7	18	10	0
	平成18年	150	85	56.7	1	24	49	4	7	35	6	17	7	0
	平成19年	128	74	57.8	3	13	44	7	7	26	3	17	6	2
	平成20年	180	119	66.1	8	25	72	3	11	30	4	14	11	2
	平成21年	143	97	67.8	4	29	51	7	6	23	6	10	7	0
	平成22年	175	120	68.6	2	32	71	6	9	31	5	11	7	1
	平成23年	151	95	62.9	6	31	47	6	5	23	2	19	12	0
	平成24年	151	100	66.2	1	29	58	6	6	24	1	19	7	0
	平成25年	157	106	67.5	6	24	64	6	6	28	1	13	9	0
	増減数	6	6	1.3	5	-5	6	0	0	4	0	-6	2	0
	増減率	4.0	6.0	1.3%	500.0	-17.2	10.3	0.0	0.0	16.7	0.0	-31.6	28.6	-

注１：解決事件を除く。

注２：犯罪統計上、「被害者なし」には、殺人予備のうち、被害者が特定できないものが計上されている。

図表 2-1-(2)-3 殺人事件の年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平16	1,391	60	299	322	216	240	90	164
平17	1,338	71	253	303	219	247	107	138
平18	1,241	73	215	268	209	226	98	152
平19	1,161	64	197	294	185	199	99	123
平20	1,211	51	200	279	224	199	79	179
平21	1,036	53	187	219	189	165	80	143
平22	999	46	170	192	181	144	92	174
平23	971	57	163	184	181	141	97	148
平24	899	47	142	174	182	125	81	148
平25	906	53	163	178	182	105	69	156
増減数	7	6	21	4	0	-20	-12	8
増減率	0.8	12.8	14.8	2.3	0.0	-16.0	-14.8	5.4

注：犯行時の年齢を計上している。

【事例 1】資産家夫婦殺人・死体遺棄事件（警視庁）

無職の男（43）は、平成 24 年 12 月 7 日から同月 10 日頃までの間、東京都中央区銀座から埼玉県久喜市佐間に至るまでの車両内及びその付近において、会社役員の男（51）他 1 名に対し、ロープを頸部に巻き付けて殺害した（1 月 29 日検挙）。

【事例 2】山口県周南市金峰地区における連続殺人・放火事件（山口）

無職の男（63）は、平成 25 年 7 月 21 日から同月 22 日までの間、山口県周南市金峰地区内において、無職の男（71）他 4 名に対し、所携の鈍器様のもので頭部等を複数回殴打して殺害した上、現住建造物に放火するなどした（7 月 26 日検挙）。

ア 捜査本部設置事件の状況

捜査第一課又は国際捜査担当課の主管する捜査本部設置事件（注）は55件である（図表2-1-(2)-4）。

注：「捜査本部設置事件」とは、殺人、強盗殺人等殺人の絡む事件のうち刑事部長（組織犯罪対策担当部長を含む。）を長とする捜査本部（警視庁については特別捜査本部）を設置した事件とした。

図表2-1-(2)-4 捜査本部設置・解決状況の推移

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減率 (%)
設置件数(件)	145	116	98	103	102	88	79	54	59	55	-6.8
	13	7	6	25	20	8	7	5	5	3	-40.0
解決事件数(件)	117	102	89	98	87	84	62	62	59	51	-13.6
	16	8	4	15	20	8	7	3	5	2	-60.0

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：解決事件数については、解決した年次に計上した。

注3：暴力団犯罪捜査担当課において設置したものについては、下段に外数で示した。

イ 通り魔殺人事件

通り魔殺人事件（注）の認知事件数、検挙事件数は、いずれも8件であった（図表2-1-(2)-5）。

平成16年以降の推移をみると、認知事件数、検挙事件数は平成20年の14件を除き8件以下で推移している。また、認知した事件については全て検挙している。

注：通り魔殺人事件とは、人の自由に出入りできる場所において、確たる動機がなく通りすがりに不特定の者に対し、凶器を使用するなどして、殺傷等の危害を加える事件をいう。

図表2-1-(2)-5 通り魔殺人事件の認知・検挙の推移

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25
認知事件数(件)	3	6	4	8	14	4	5	6	7	8
検挙事件数(件)	3	6	4	8	14	4	5	6	7	8

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：検挙事件数は、その年の認知事件数に対する事件数で、平成25年12月末までに検挙したものである。

注3：未遂を含む。

【事例】 東京都江東区東陽地内における殺人未遂事件（警視庁）

無職の男（49）は、平成25年3月19日、東京都江東区東陽地内の東陽町駅前交差点付近において、所携の刃物を振り回し、通行人4名に傷害を負わせた（3月19日検挙）。

ウ 保険金目的殺人事件

保険金目的殺人事件の検挙は2件で、平成16年以降の推移を見ると、平成16年は9件であるが、平成17年以降は3件前後で推移している（図表2-1-(2)-6）。

図表2-1-(2)-6 保険金目的殺人事件の検挙件数の推移

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25
検挙事件数(件)	9	2	4	3	2	0	2	2	1	2

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：未遂を含む。

【事例】熊本市における暴力団幹部らによる死亡ひき逃げ事故を偽装した保険金目的殺人事件（熊本）

無職の男（43）等3名は、平成24年10月20日、熊本県熊本市北区内の路上において、保険金を騙取する目的で死亡ひき逃げ事故を装い、被害者を車両により衝突轢過して殺害した（1月3日検挙）。

(3) 強盗事件の状況

強盗事件の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は330件（9.0%）、検挙件数は250件（10.1%）、検挙人員は175人（7.2%）それぞれ減少している。

また、検挙率は67.2%と、前年に比べ、0.8ポイント低下している（図表2-1-(3)-1）。

平成16年以降では、認知件数はおおむね減少傾向にあり、平成19年以降の検挙率は60%台で推移している。

図表2-1-(3)-1 強盗事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減率	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		7,295	5,988	5,108	4,567	4,278	4,512	4,029	3,673	3,658	3,328	-330	-9.0
検挙件数(件)		3,666	3,269	3,061	2,790	2,612	2,923	2,516	2,385	2,486	2,236	-250	-10.1
検挙人員(人)		4,154	3,844	3,335	2,985	2,813	3,069	2,568	2,431	2,430	2,255	-175	-7.2
検 挙 率(%)		50.3	54.6	59.9	61.1	61.1	64.8	62.4	64.9	68.0	67.2	-0.8	ポ イ ント

図表2-1-(3)-2 強盗事件の発生時の犯罪供用物の状況（平成25年）

犯罪供用物 強盗手口	総数	銃器				刀剣類		刃物類		犯罪供用物なし・該当なし	不明	その他
		うち拳銃等										
		認知件数	割合 (%)	認知件数	割合 (%)	認知件数	割合 (%)	認知件数	割合 (%)			
強盗	3,328	16	0.5	14	0.4	47	1.4	1,059	31.8	1,698	91	417
侵入強盗	1,254	14	1.1	13	1.0	26	2.1	815	65.0	232	27	140
住宅強盗	255	2	0.8	1	0.4	5	2.0	79	31.0	91	14	64
金融機関強盗	39	3	7.7	3	7.7	1	2.6	30	76.9	1	0	4
コンビニ強盗	590	3	0.5	3	0.5	13	2.2	482	81.7	44	9	39
その他の店舗強盗	298	4	1.3	4	1.3	7	2.3	200	67.1	60	3	24
その他	72	2	2.8	2	2.8	0	0.0	24	33.3	36	1	9
非侵入強盗	2,074	2	0.1	1	0.0	21	1.0	244	11.8	1,466	64	277
途中強盗	20	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	40.0	7	0	5
タクシー強盗	81	0	0.0	0	0.0	2	2.5	17	21.0	49	2	11
自動車強盗	45	0	0.0	0	0.0	0	0.0	9	20.0	24	3	9
路上強盗	1,025	2	0.2	1	0.1	11	1.1	104	10.1	744	44	120
その他	903	0	0.0	0	0.0	8	0.9	106	11.7	642	15	132

注1：本表の数値は犯罪統計による認知件数であり、実務統計である(3)ア 金融機関・郵便局対象強盗事件、(3)ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件、(3)キ タクシー対象強盗事件の認知事件数と異なるものである。

注2：「銃器」とは、拳銃、拳銃様のもの、その他の銃砲、その他の銃砲様のもの、「刀剣類」とは、日本刀、その他の刀剣類、「刃物類」とは、包丁類、その他の刃物類をいう。また、「拳銃等」には、拳銃様のものを含む。

図表 2-1-(3)-3 強盗事件に伴う身体犯の認知件数の推移

区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件数	率(%)
強盗		7,295	5,988	5,108	4,567	4,278	4,512	4,029	3,673	3,658	3,328	-330	-9.0
強盗に伴う身体犯		3,248	2,576	2,207	1,932	1,797	1,729	1,548	1,397	1,386	1,200	-186	-13.4
強盗殺人・致死		89	66	52	44	44	55	36	34	35	31	-4	-11.4
強盗傷人		2,958	2,351	2,018	1,752	1,649	1,564	1,415	1,307	1,290	1,099	-191	-14.8
強盗強姦		201	159	137	136	104	110	97	56	61	70	9	14.8

注：「強盗に伴う身体犯」とは、強盗殺人・致死、強盗傷人、強盗強姦とした。

図表 2-1-(3)-4 強盗事件の年齢別検挙人員

区分	年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平16		4,154	1,305	1,199	722	381	352	111	84
平17		3,844	1,159	1,146	625	413	309	97	95
平18		3,335	913	1,010	616	340	283	72	101
平19		2,985	786	848	541	341	271	88	110
平20		2,813	730	758	490	391	244	97	103
平21		3,069	722	859	531	443	292	106	116
平22		2,568	576	746	504	310	234	91	107
平23		2,431	607	693	414	336	184	90	107
平24		2,430	622	698	420	292	186	96	116
平25		2,255	556	592	427	316	152	94	118
増減数		-175	-66	-106	7	24	-34	-2	2
増減率		-7.2	-10.6	-15.2	1.7	8.2	-18.3	-2.1	1.7

注：犯行時の年齢を計上している。

【事例1】山口県宇部市所在の銀行駐車場における持凶器強盗傷人事件（山口）

無職の男（60）は、現金強取の目的で、2月25日、山口県宇部市内の銀行駐車場において、所持の刃物で被害者の右腹部を突き刺して反抗を抑圧し、被害者所有の現金及び手提げ鞆を強取した（3月15日検挙）。

【事例2】静岡県静岡市清水区地内の貸金業者に対する緊縛強盗致傷事件（静岡）

アルバイトの男（31）等4名は、現金強取の目的で、3月1日、静岡県静岡市清水区内の貸金業者事務所において、所持の催涙スプレーで反抗を抑圧した上、ガムテープで緊縛し、現金在中の金庫を強取した（7月7日検挙）。

ア 金融機関・郵便局対象強盗事件

金融機関（注）・郵便局対象強盗事件の認知事件数は 39 件（うち郵便局対象は 20 件、51.3%）で、前年に比べ 4 件（11.4%）増加している（図表 2-1-(3)-5、6）。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午前 10 時から午後 0 時までが 13 件（33.3%）と最も多い（図表 2-1-(3)-7）。

また、強盗事件発生時における各被害店舗の防犯設備の設置及び活用の状況をみると、非常通報装置及び防犯カメラの活用率は高いものの、非常ベル及びカラーボールの活用率は低い（図表 2-1-(3)-8）。

注：金融機関とは、銀行、信用金庫・組合、農（漁）業協同組合等をいう。郵便局は金融機関であるが、これまでの発生状況等を鑑み、銀行、信用金庫等の金融機関とは区別し、本文では個別に記載している。

図表 2-1-(3)-5 金融機関・郵便局対象強盗事件の認知状況の推移

区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件数	率(%)
認知事件数		129	128	146	144	83	80	70	63	35	39	4	11.4

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 2-1-(3)-6 金融機関・郵便局対象強盗事件の内訳

区分	年次	平24年		平25年		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知事件数		35	100.0	39	100.0	4	11.4
金融機関		9	25.7	19	48.7	10	111.1
銀行		5	14.3	14	35.9	9	180.0
信用金庫		4	11.4	5	12.8	1	25.0
信用組合		0	0.0	0	0.0	0	0.0
農（漁）業協同組合		0	0.0	0	0.0	0	0.0
郵便局		26	74.3	20	51.3	-6	-23.1

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 2-1-(3)-7 金融機関・郵便局対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成 25 年）

区分	時間	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	総数
認知事件数		0	0	0	0	4	13	10	5	6	0	1	0	39
割合(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	33.3	25.6	12.8	15.4	0.0	2.6	0.0	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 2-1-(3)-8 防犯設備の設置・活用状況（平成 25 年）

防犯設備		設置あり				設置なし
			活用あり	活用なし	活用不要	
非常通報装置	認知事件数 (割合%)	39 100.0	38 97.4	1 2.6	0 0.0	0 0.0
非常ベル	認知事件数 (割合%)	26 66.7	5 19.2	21 80.8	0 0.0	13 33.3
防犯カメラ	認知事件数 (割合%)	39 100.0	39 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
カラーボール	認知事件数 (割合%)	39 100.0	3 7.7	18 46.2	18 46.2	0 0.0
屋外赤色灯	認知事件数 (割合%)	27 69.2	15 55.6	12 44.4	0 0.0	12 30.8

注 1：本表は、実務統計による集計数値である。

注 2：「活用不要」とは、検挙等により活用する必要がなかったものをいう。

イ 消費者金融対象強盗事件

消費者金融対象強盗事件の認知事件は 1 件で、前年に比べ 1 件増加している（図表 2-1-(3)-9）。

認知した事件をみると、店舗兼住宅での被害であり、発生時間は 17 時台で防犯設備の設置はなかった（図表 2-1-(3)-10、11）。

図表 2-1-(3)-9 消費者金融対象強盗事件の認知状況の推移

区分	年次										増減	
	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	件数	率 (%)
認知事件数	42	26	24	10	8	3	0	0	0	1	1	-

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 2-1-(3)-10 消費者金融対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成 25 年）

区分	時間	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	総数
認知事件数		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
割合 (%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 2-1-(3)-11 防犯設備の設置・活用状況（平成 25 年）

防犯設備		設置あり				設置なし
			活用あり	活用なし	活用不要	
非常通報装置	認知事件数 (割合%)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
非常ベル	認知事件数 (割合%)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
防犯カメラ	認知事件数 (割合%)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
カラーボール	認知事件数 (割合%)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
屋外赤色灯	認知事件数 (割合%)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件

深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件（注）の認知事件数は504件で、前年に比べ32件（6.0%）減少している（図表2-1-(3)-12）。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午前3時から午前4時までが133件（26.4%）と最も多く、午前2時から午前5時までで全体の65.1%を占めている（図表2-1-(3)-13）。

また、強盗事件発生時における被害店舗の防犯設備の設置及び活用の状況をみると、防犯カメラ及び非常通報装置の活用率は高いものの、非常ベル、カラーボール及び屋外赤色灯の活用率は低い（図表2-1-(3)-14）。

注：「深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件」とは、午後10時から午前7時までの間に、営業しているコンビニエンスストアやスーパーマーケットの売上金等を目的として敢行された強盗事件をいう。

図表2-1-(3)-12 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件
の認知状況の推移

区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件数	率（%）
認知事件数		680	561	527	457	514	767	614	540	536	504	-32	-6.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表2-1-(3)-13 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件
の発生時間帯別認知事件数（平成25年）

区分	時間	22～ 23時	23～ 0時	0～ 1時	1～ 2時	2～ 3時	3～ 4時	4～ 5時	5～ 6時	6～ 7時	総数
認知事件数		18	23	31	60	100	133	95	28	16	504
割合（%）		3.6	4.6	6.2	11.9	19.8	26.4	18.8	5.6	3.2	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表2-1-(3)-14 防犯設備の設置・活用状況（平成25年）

防犯設備		区分	設置あり				設置なし
			活用あり		活用なし		
非常通報装置	認知事件数		389	181	208	0	115
	(割合%)		77.2	46.5	53.5	0.0	22.8
非常ベル	認知事件数		392	64	328	0	112
	(割合%)		77.8	16.3	83.7	0.0	22.2
防犯カメラ	認知事件数		504	498	6	0	0
	(割合%)		100.0	98.8	1.2	0.0	0.0
カラーボール	認知事件数		496	16	447	33	8
	(割合%)		98.4	3.2	90.1	6.7	1.6
屋外赤色灯	認知事件数		352	75	277	0	152
	(割合%)		69.8	21.3	78.7	0.0	30.2

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：「活用不要」とは、検挙等により活用する必要がなかったものをいう。

エ ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件

ぱちんこ屋・まあじゃん屋等（注）を発生場所とする強盗事件の認知件数は、前年に比べ7件（58.3%）増加している（図表2-1-(3)-15）。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午後8時から午後10時までが最も多い（図表2-1-(3)-16）。

注：「ぱちんこ屋・まあじゃん屋等」とは、ぱちんこ店やまあじゃん店のほか、パチスロ店やスマートボール店等のように設備を設けて客に射幸心をそそるおそれのある遊技をさせる場所をいう。

図表2-1-(3)-15 ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の認知状況の推移

年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件数	率 (%)
認知件数	44	51	36	48	33	33	26	20	12	19	7	58.3

注：強盗の認知件数の内、発生場所を「ぱちんこ屋・まあじゃん屋等」とするものとした。

図表2-1-(3)-16 ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の発生時間帯別認知件数
(平成25年)

時間 区分	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	不明	総数
認知件数	2	0	1	0	1	1	1	3	1	1	5	3	0	19
割合 (%)	10.5	0.0	5.3	0.0	5.3	5.3	5.3	15.8	5.3	5.3	26.3	15.8	0.0	100.0

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

オ ぱちんこ景品買取所対象強盗事件

ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の認知事件数は20件で、前年に比べ11件（122.2%）増加している（図表2-1-(3)-17）。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午後10時から午前0時までが10件（50.0%）と最も多い（図表2-1-(3)-18）。

図表2-1-(3)-17 ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の認知状況の推移

年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件数	率 (%)
認知事件数	42	32	37	31	20	21	11	18	9	20	11	122.2

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表2-1-(3)-18 ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成25年）

時間 区分	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	総数
認知事件数	1	0	0	0	2	1	1	3	0	1	1	10	20
割合 (%)	5.0	0.0	0.0	0.0	10.0	5.0	5.0	15.0	0.0	5.0	5.0	50.0	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

カ 現金輸送車対象強盗事件

現金輸送車対象強盗事件の認知事件数は0件で、前年に比べ1件減少している（図表2-1-(3)-19）。

図表2-1-(3)-19 現金輸送車対象強盗事件の認知状況の推移

年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件数	率(%)
認知事件数	3	3	6	1	1	1	0	2	1	0	-1	-100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

キ タクシー対象強盗事件

タクシー対象強盗事件の認知事件数は81件で、前年に比べ32件（30.5%）減少している（図表2-1-(3)-20）。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午前0時から午前2時までが19件（23.5%）と最も多い（図表2-1-(3)-21）。

また、防犯仕切板の設置状況をみると、被害車両の70.4%に設置されている（図表2-1-(3)-22）。

図表2-1-(3)-20 タクシー対象強盗事件の認知状況の推移

年次 区分	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
									件数	率(%)
認知事件数	178	184	196	155	105	119	113	81	-32	-30.5

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表2-1-(3)-21 タクシー対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成25年）

時間 区分	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
認知事件数	19	16	7	2	5	4	1	2	1	3	9	12	0	81
割合(%)	23.5	19.8	8.6	2.5	6.2	4.9	1.2	2.5	1.2	3.7	11.1	14.8	0.0	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表2-1-(3)-22 防犯仕切板の活用と負傷等の状況（平成25年）

設置状況 区分	被害件数	負傷等あり				負傷等 なし
		死亡	重体（傷）	軽傷		
タクシー対象強盗の総数（件）	81	26	0	3	23	55
防犯仕切板あり	58	10	0	1	9	48
（割合％）	100.0	17.2	0.0	1.7	15.5	82.8
防犯仕切板なし	23	16	0	2	14	7
（割合％）	100.0	69.6	0.0	8.7	60.9	30.4

注：本表は、実務統計による集計数値である。

ク 強盗の手口別認知・検挙状況

強盗の手口別認知状況は、前年に比べ、侵入強盗は 111 件（8.1%）、非侵入強盗は 219 件（9.6%）それぞれ減少している（図表 2-1-(3)-23）。

手口別の検挙状況は、侵入強盗は、前年と比べ、検挙件数は 94 件（10.1%）、検挙人員は 80 人（10.0%）それぞれ減少し、検挙率については 1.5 ポイント低下している。非侵入強盗は、前年と比べ、検挙件数は 156 件（10.0%）、検挙人員は 95 人（5.8%）それぞれ減少し、検挙率については 0.3 ポイント低下している（2-1-(3)-24、25）。

図表 2-1-(3)-23 強盗の手口別認知件数

	平 24	平 25	増減数	増減率
総数	3,658	3,328	-330	-9.0
侵入強盗計	1,365	1,254	-111	-8.1
住宅強盗	263	255	-8	-3.0
金融機関強盗	35	39	4	11.4
コンビニ強盗	626	590	-36	-5.8
その他の店舗強盗	347	298	-49	-14.1
侵入強盗その他	94	72	-22	-23.4
非侵入強盗計	2,293	2,074	-219	-9.6
途中強盗	20	20	0	0.0
タクシー強盗	115	81	-34	-29.6
自動車強盗	58	45	-13	-22.4
路上強盗	1,133	1,025	-108	-9.5
非侵入強盗その他	967	903	-64	-6.6

図表 2-1-(3)-24 強盗の手口別検挙件数・検挙率

	検挙件数				検挙率		
	平 24	平 25	増減数	増減率	平 24	平 25	増減(P)
総数	2,486	2,236	-250	-10.1	68.0	67.2	-0.8
侵入強盗計	933	839	-94	-10.1	68.4	66.9	-1.5
住宅強盗	199	182	-17	-8.5	75.7	71.4	-4.3
金融機関強盗	30	30	0	0.0	85.7	76.9	-8.8
コンビニ強盗	418	385	-33	-7.9	66.8	65.3	-1.5
その他の店舗強盗	223	176	-47	-21.1	64.3	59.1	-5.2
侵入強盗その他	63	66	3	4.8	67.0	91.7	24.7
非侵入強盗計	1,553	1,397	-156	-10.0	67.7	67.4	-0.3
途中強盗	12	12	0	0.0	60.0	60.0	0.0
タクシー強盗	100	72	-28	-28.0	87.0	88.9	1.9
自動車強盗	46	35	-11	-23.9	79.3	77.8	-1.5
路上強盗	559	505	-54	-9.7	49.3	49.3	0.0
非侵入強盗その他	836	773	-63	-7.5	86.5	85.6	-0.9

図表 2-1-(3)-25 強盗の手口別検挙人員

	総 数				うち) 少 年			
	平 24	平 25	増減数	増減率	平 24	平 25	増減数	増減率
総数	2,430	2,255	-175	-7.2	592	547	-45	-7.6
侵入強盗計	803	723	-80	-10.0	104	62	-42	-40.4
住宅強盗	198	174	-24	-12.1	18	7	-11	-61.1
金融機関強盗	31	26	-5	-16.1	1	0	-1	-100.0
コンビニ強盗	306	285	-21	-6.9	42	24	-18	-42.9
その他の店舗強盗	191	161	-30	-15.7	36	24	-12	-33.3
侵入強盗その他	77	77	0	0.0	7	7	0	0.0
非侵入強盗計	1,627	1,532	-95	-5.8	488	485	-3	-0.6
途中強盗	10	14	4	40.0	0	1	1	-
タクシー強盗	98	73	-25	-25.5	11	0	-11	-100.0
自動車強盗	44	45	1	2.3	1	5	4	400.0
路上強盗	626	636	10	1.6	302	324	22	7.3
非侵入強盗その他	849	764	-85	-10.0	174	155	-19	-10.9

(4) 主な性犯罪の状況

強姦の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は170件（13.7%）、検挙件数は66件（6.0%）、検挙人員は79人（9.2%）それぞれ増加している。

また、検挙率は、平成20年以降80%台で推移しており、平成25年は82.5%で、前年に比べ、6.0ポイント低下している（図表2-1-(4)-1）。

強制わいせつの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は409件（5.6%）、検挙件数は21件（0.5%）、検挙人員は36人（1.5%）それぞれ増加している。

また、検挙率は、平成20年以降は50%台で推移しており、平成25年は51.7%で、前年に比べ、2.6ポイント低下している（図表2-1-(4)-2）。

図表2-1-(4)-1 強姦の認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	2,176	2,076	1,948	1,766	1,582	1,402	1,289	1,185	1,240	1,410	170	13.7
検挙件数(件)	1,403	1,443	1,460	1,394	1,326	1,163	1,063	993	1,097	1,163	66	6.0
検挙人員(人)	1,107	1,074	1,058	1,013	951	918	803	768	858	937	79	9.2
検 挙 率(%)	64.5	69.5	74.9	78.9	83.8	83.0	82.5	83.8	88.5	82.5	-6.0	ポイント

図表2-1-(4)-2 強制わいせつの認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	9,184	8,751	8,326	7,664	7,111	6,688	7,027	6,870	7,263	7,672	409	5.6
検挙件数(件)	3,656	3,797	3,779	3,542	3,555	3,563	3,637	3,550	3,946	3,967	21	0.5
検挙人員(人)	2,225	2,286	2,254	2,240	2,219	2,129	2,189	2,217	2,451	2,487	36	1.5
検 挙 率(%)	39.8	43.4	45.4	46.2	50.0	53.3	51.8	51.7	54.3	51.7	-2.6	ポイント

図表 2-1-(4)-3 強姦の年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平16	1,107	159	438	274	116	83	16	21
平17	1,074	152	392	308	118	75	15	14
平18	1,058	120	384	310	123	81	23	17
平19	1,013	129	367	278	133	69	19	18
平20	951	132	324	275	120	56	24	20
平21	918	128	317	232	141	57	23	20
平22	803	123	275	231	81	55	23	15
平23	768	72	241	230	123	58	25	19
平24	858	136	264	251	118	50	18	21
平25	937	135	305	244	150	58	25	20
増減数	79	-1	41	-7	32	8	7	-1
増減率	9.2	-0.7	15.5	-2.8	27.1	16.0	38.9	-4.8

注：犯行時の年齢を計上している。

図表 2-1-(4)-4 強制わいせつの年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平16	2,225	260	554	605	327	277	82	120
平17	2,286	288	581	626	344	252	85	110
平18	2,254	246	593	581	342	272	85	135
平19	2,240	265	554	588	347	257	94	135
平20	2,219	279	570	564	327	251	98	130
平21	2,129	284	532	519	330	226	107	131
平22	2,189	322	545	548	331	196	100	147
平23	2,217	283	560	519	371	225	105	154
平24	2,451	342	601	600	372	242	110	184
平25	2,487	339	612	603	427	205	109	192
増減数	36	-3	11	3	55	-37	-1	8
増減率	1.5	-0.9	1.8	0.5	14.8	-15.3	-0.9	4.3

注：犯行時の年齢を計上している。

【事例】大阪市内等における連続強姦致傷等事件（大阪）

無職の男（42）は、平成24年2月24日、大阪市西成区内の路上において、被害者に対し、包丁を突き付けて脅迫し、ホテル内に監禁の上、姦淫した。男は、他にも大阪府内等において、同種の強姦事件を敢行していた（6月6日検挙）。

(5) 略取誘拐・人身売買事件の状況

略取誘拐・人身売買の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は3件（1.6%）、検挙件数は13件（7.5%）それぞれ減少しているが、検挙人員は17人（12.4%）増加している。

また、検挙率は86.5%で、前年に比べ、5.5ポイント低下している（図表2-1-(5)-1）。

認知した事件をみると、女性被害が138件で、全体の74.6%を占めている（図表2-1-(5)-2）。

また、身の代金目的略取・誘拐事件の認知事件数、検挙事件数はいずれも2件であった。

平成19年以降、認知件数は3件以下となっており、認知した事件については全て検挙している（図表2-1-(5)-3）。

図表2-1-(5)-1 略取誘拐・人身売買事件の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	320	277	199	207	155	156	185	147	188	185	-3	-1.6
検挙件数(件)	232	204	180	178	141	140	151	132	173	160	-13	-7.5
検挙人員(人)	187	176	167	152	129	101	107	118	137	154	17	12.4
検 挙 率(%)	72.5	73.6	90.5	86.0	91.0	89.7	81.6	89.8	92.0	86.5	-5.5	ポ イ ント

図表2-1-(5)-2 略取誘拐・人身売買の被害者の年齢・性別認知件数の状況（平成25年）

	総数	0～5歳	6～12歳	13～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	185	32	62	63	19	3	3	1	2
(割合%)	100.0	17.3	33.5	34.1	10.3	1.6	1.6	0.5	0.0
男性	47	18	15	6	3	1	2	0	2
(割合%)	25.4	9.7	8.1	3.2	1.6	0.5	1.1	0.0	1.1
女性	138	14	47	57	16	2	1	1	0
(割合%)	74.6	7.6	25.4	30.8	8.6	1.1	0.5	0.5	0.0

図表2-1-(5)-3 身の代金目的略取・誘拐事件の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25
認知事件数(件)	7	6	6	2	3	2	2	0	1	2
検挙事件数(件)	7	6	6	2	3	2	2	0	1	2
検挙人員(人)	24	21	21	7	13	7	5	0	1	4

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例１】大田区における身の代金目的拐取等事件（警視庁）

会社員の男（43）は、2名の無職の男（24、23）と共謀し、11月6日、大田区内において、帰宅途中の女子中学生を車両内に引きずり込んで監禁し、同女の母親に対して身の代金2,000万円を要求した（11月6日検挙）。

【事例２】武蔵野市における身の代金目的拐取未遂事件（警視庁）

無職の男（46）は、資産家子女を誘拐して身の代金を要求することを企て、12月19日、武蔵野市内において、帰宅した小学生女兒を車両内に引きずり込んで連れ去ろうとしたが、同女の父親に発見されたため、未遂に終わった（12月30日検挙）。

(6) 放火事件の状況

放火事件の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は57件（5.5%）増加している。検挙件数は43件（5.2%）、検挙人員は43人（7.3%）それぞれ減少している。

また、検挙率は71.5%で、前年に比べ、8.1ポイント低下している。

平成16年以降の推移をみると、認知件数はおおむね減少傾向にあり、検挙率は60%台後半から80%台前半で推移している（図表2-1-(6)）。

図表2-1-(6) 放火事件の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	2,174	1,904	1,759	1,519	1,424	1,306	1,191	1,087	1,033	1,090	57	5.5
検挙件数(件)	1,513	1,361	1,337	1,120	1,054	913	895	880	822	779	-43	-5.2
検挙人員(人)	867	791	825	764	659	631	651	616	592	549	-43	-7.3
検 挙 率(%)	69.6	71.5	76.0	73.7	74.0	69.9	75.1	81.0	79.6	71.5	-8.1	ポ イ ント

【事例】屋久島町永田における連続放火殺人容疑事件（鹿児島）

無職の男（75）は、1月21日、鹿児島県熊毛郡屋久島町永田地区内に所在の9軒の家屋に殺意を持って放火し、2名を殺害するなどした（1月26日検挙）。

2 重要窃盗犯

(1) 重要窃盗犯の認知・検挙状況

平成10年以降急増していた重要窃盗犯（窃盗犯のうち、侵入盗、自動車盗、ひったくり及びすりという。以下同じ。）の認知件数は、平成15年から減少に転じ、平成25年にあっても、前年に比べ、9,267件（6.1%）減少している。

検挙件数及び検挙人員は、平成16年以降減少しており、平成25年は、前年に比べ、検挙件数は8,358件（11.0%）、検挙人員は1,074人（8.2%）それぞれ減少している。

検挙率は47.4%で、前年に比べ、2.6ポイント低下している（図表2-2-(1)）。

侵入盗のうち、住宅を対象とした認知・検挙状況及び住宅対象以外の認知・検挙状況は、図表2-2-(2)-2、3のとおりである。

図表2-2-(1) 重要窃盗犯手口別認知・検挙状況の推移

区分		年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	H22	H23	H24	H25	増減	
													件(人)数	率(%)
重要窃盗犯	認知件数		407,929	338,967	282,047	241,425	210,103	200,572	181,134	168,996	151,762	142,495	-9,267	-6.1
	検挙件数		135,933	133,390	127,901	124,158	112,607	102,130	86,596	81,364	75,879	67,521	-8,358	-11.0
	検挙人員		20,600	18,719	18,098	16,857	15,455	15,159	14,717	14,386	13,126	12,052	-1,074	-8.2
	検 挙 率		33.3	39.4	45.3	51.4	53.6	50.9	47.8	48.1	50.0	47.4	-2.6ポイント	
侵入盗	認知件数		290,595	244,776	205,463	175,728	155,047	148,488	136,552	126,077	115,155	107,467	-7,688	-6.7
	検挙件数		104,816	104,454	100,824	96,266	87,047	81,545	70,307	65,270	62,298	53,914	-8,384	-13.5
	検挙人員		13,548	12,564	12,434	12,037	11,079	10,852	10,766	10,586	9,719	9,063	-656	-6.7
	検 挙 率		36.1	42.7	49.1	54.8	56.1	54.9	51.5	51.8	54.1	50.2	-3.9ポイント	
住宅対象	認知件数		170,991	142,945	120,023	103,490	91,082	81,436	74,558	66,872	60,938	57,891	-3,047	-5.0
	検挙件数		57,948	60,486	58,717	54,491	49,600	48,157	39,880	35,546	32,491	27,880	-4,611	-14.2
	検挙人員		5,209	4,875	4,830	4,462	4,182	4,170	4,072	3,930	3,671	3,381	-290	-7.9
	検 挙 率		33.9	42.3	48.9	52.7	54.5	59.1	53.5	53.2	53.3	48.2	-5.1ポイント	
自動車盗	認知件数		58,737	46,728	36,058	31,790	27,515	25,815	23,775	24,928	21,070	21,595	525	2.5
	検挙件数		13,765	14,898	13,288	13,507	12,569	9,557	8,433	8,377	7,556	7,857	301	4.0
	検挙人員		3,823	3,366	3,056	2,380	2,228	2,045	1,837	1,856	1,708	1,484	-224	-13.1
	検 挙 率		23.4	31.9	36.9	42.5	45.7	37.0	35.5	33.6	35.9	36.4	0.5ポイント	
ひったくり	認知件数		39,399	32,017	26,828	23,687	19,145	19,036	14,559	12,476	10,083	7,916	-2,167	-21.5
	検挙件数		13,561	10,406	10,090	11,321	11,229	9,051	6,323	6,327	4,647	4,186	-461	-9.9
	検挙人員		2,259	1,851	1,652	1,524	1,251	1,438	1,191	1,098	861	740	-121	-14.1
	検 挙 率		34.4	32.5	37.6	47.8	58.7	47.5	43.4	50.7	46.1	52.9	6.8ポイント	
すり	認知件数		19,198	15,446	13,698	10,220	8,396	7,233	6,248	5,515	5,454	5,517	63	1.2
	検挙件数		3,791	3,632	3,699	3,064	1,762	1,977	1,533	1,390	1,378	1,564	186	13.5
	検挙人員		970	938	956	916	897	824	923	846	838	765	-73	-8.7
	検 挙 率		19.7	23.5	27.0	30.0	21.0	27.3	24.5	25.2	25.3	28.3	3.0ポイント	

注：本表の住宅対象の侵入盗の数値は、空き巣、忍込み及び居空きの合計件数（人員）であり、図表2-2-(2)-1の住宅対象とは異なる。

(2) 侵入盗

侵入盗の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は7,688件（6.7%）、検挙件数は8,384件（13.5%）、検挙人員は656人（6.7%）それぞれ減少している。

うち住宅におけるものの認知件数及び検挙件数は、前年に比べ、認知件数は2,547件（3.9%）、検挙件数は4,223件（12.1%）それぞれ減少している。

また、来日外国人の検挙人員は、前年に比べ、13人（7.6%）減少しており、検挙率は50.2%で3.9ポイント低下している（図表2-2-(2)-1）。

年齢別の検挙人員を見ると、近年、65歳以上が増加傾向にあり、平成25年は、65歳以上を除くすべての年齢で減少している（図表2-2-(2)-4）。

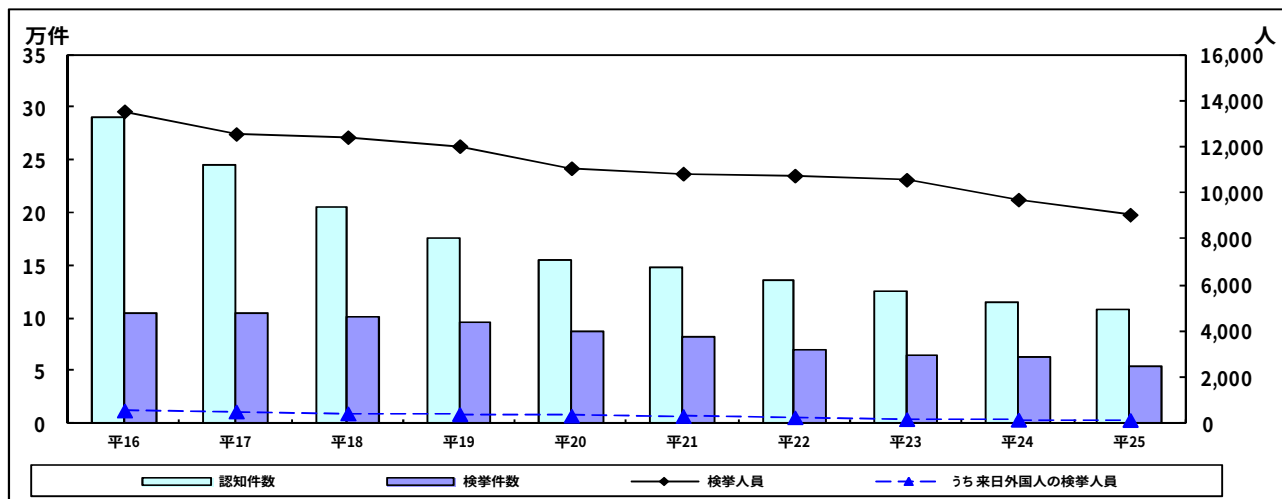
侵入口・侵入手段を発生場所別にみると、侵入口は、一戸建住宅及び3階建以下の共同住宅は窓、4階建以上の共同住宅、一般事務所、商店及び生活環境営業は表出入口が最も多い。

また、侵入手段は、一戸建住宅、4階建以上の共同住宅及び3階建以下の共同住宅は無締りが最も多いが、一般事務所、商店及び生活環境営業はガラス破りが最も多い（図表2-2-(2)-5）。

ピッキング用具を使用した侵入盗の認知件数は、前年に比べ、16件（23.2%）減少している。

ドリルを使用したサムターン回しによる侵入盗（ドリル等で出入口ドアに穴を開けた上、サムターン回しで開錠する手口）の認知件数は、前年に比べ53件（74.6%）減少している（図表2-2-(2)-6、7）。

図表2-2-(2)-1 侵入盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件 (人)	数 (%)
認知件数		290,595	244,776	205,463	175,728	155,047	148,488	136,552	126,077	115,155	107,467	-7,688	-6.7
うち住宅		174,519	146,243	123,403	106,700	94,548	85,228	78,592	71,296	65,603	63,056	-2,547	-3.9
検挙件数		104,816	104,454	100,824	96,266	87,047	81,545	70,307	65,270	62,298	53,914	-8,384	-13.5
うち住宅		58,667	61,414	59,776	55,677	50,973	49,600	41,690	37,687	34,906	30,683	-4,223	-12.1
検挙人員		13,548	12,564	12,434	12,037	11,079	10,852	10,766	10,586	9,719	9,063	-656	-6.7
うち来日外国人		565	524	441	408	342	329	271	194	171	158	-13	-7.6
(割合%)		4.2	4.2	3.5	3.4	3.1	3.0	2.5	1.8	1.8	1.7	-0.1	ポイント
検挙率		36.1	42.7	49.1	54.8	56.1	54.9	51.5	51.8	54.1	50.2	-3.9	ポイント

注：本表の住宅は、「一戸建住宅」「共同住宅（4階建以上）」「共同住宅（3階建以下）」が発生場所のものとした。

図表２－２－(２)－２ 侵入盗のうち住宅対象の認知・検挙状況

区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		170,991	142,945	120,023	103,490	91,082	81,436	74,558	66,872	60,938	57,891	-3,047	-5.0
検挙件数(件)		57,948	60,486	58,717	54,491	49,600	48,157	39,880	35,546	32,491	27,880	-4,611	-14.2
検挙人員(人)		5,209	4,875	4,830	4,462	4,182	4,170	4,072	3,930	3,671	3,381	-290	-7.9
検 挙 率(%)		33.9	42.3	48.9	52.7	54.5	59.1	53.5	53.2	53.3	48.2	-5.1ポイント	

注：本表の住宅対象の侵入盗の数値は、空き巣、忍込み及び居空きの合計件数（人員）であり、図表２－２－(２)－１の住宅対象とは異なる。

図表２－２－(２)－３ 侵入盗のうち住宅対象以外の認知・検挙状況

区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		119,604	101,831	85,440	72,238	63,965	67,052	61,994	59,205	54,217	49,576	-4,641	-8.6
検挙件数(件)		46,868	43,968	42,107	41,775	37,447	33,388	30,427	29,724	29,807	26,034	-3,773	-12.7
検挙人員(人)		8,339	7,689	7,604	7,575	6,897	6,682	6,694	6,656	6,048	5,682	-366	-6.1
検 挙 率(%)		39.2	43.2	49.3	57.8	58.5	49.8	49.1	50.2	55.0	52.5	-2.5ポイント	

注：本表の住宅対象以外の侵入盗の数値は、侵入盗のうち、空き巣、忍込み及び居空き以外の侵入盗の合計件数（人員）である。

図表２－２－(２)－４ 侵入盗の年齢別検挙人員

区分	年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平16		13,548	3,756	3,383	2,540	1,688	1,433	386	362
平17		12,564	3,044	3,209	2,425	1,686	1,428	396	376
平18		12,434	2,670	3,292	2,589	1,654	1,446	392	391
平19		12,037	2,464	3,148	2,490	1,612	1,460	405	458
平20		11,079	2,177	2,778	2,249	1,582	1,369	456	468
平21		10,852	2,302	2,751	2,168	1,524	1,231	446	430
平22		10,766	2,115	2,911	2,051	1,553	1,175	485	476
平23		10,586	2,116	2,782	2,024	1,504	1,162	495	503
平24		9,719	1,710	2,604	1,928	1,530	971	474	502
平25		9,063	1,560	2,445	1,746	1,424	898	422	568
増減数		-656	-150	-159	-182	-106	-73	-52	66
増減率		-6.7	-8.8	-6.1	-9.4	-6.9	-7.5	-11.0	13.1

注：犯行時の年齢を記載している

図表２－２－(２)－５ 侵入盗の発生場所別の侵入口・侵入手段（平成 25 年）

		総数	ピッキング	サムターン回し	合かぎ	その他の施錠開け	ドア錠破り	ガラス破り	戸外し	無締り	その他	不明
一戸建住宅	認知件数	43,916	9	118	706	742	1,210	17,249	295	19,152	2,353	2,082
	表出入口	7,095	2	34	578	115	523	417	18	5,048	212	148
	非常口	47	0	1	2	2	8	11	0	17	3	3
	その他の出入口	7,368	3	46	123	209	428	2,013	47	3,705	656	138
	窓	25,567	3	36	0	396	246	14,581	217	8,955	963	170
	その他	1,097	1	0	1	20	4	224	12	375	419	41
	不明	2,742	0	1	2	0	1	3	1	1,052	100	1,582
共同住宅（４階建以上）	認知件数	5,300	6	43	599	111	66	1,175	10	2,436	254	600
	表出入口	2,490	6	35	594	79	46	8	1	1,484	87	150
	非常口	5	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0
	その他の出入口	64	0	1	3	0	3	11	0	35	10	1
	窓	2,164	0	6	0	30	15	1,135	9	835	109	25
	その他	101	0	1	1	2	1	21	0	28	42	5
	不明	476	0	0	1	0	0	0	0	50	6	419
共同住宅（３階建以下）	認知件数	13,840	13	81	766	246	219	4,921	54	6,066	533	941
	表出入口	4,430	11	45	752	140	154	96	5	2,865	165	197
	非常口	13	0	0	0	0	2	3	0	8	0	0
	その他の出入口	490	0	3	10	13	25	131	6	226	48	28
	窓	7,855	1	32	0	88	34	4,641	42	2,769	195	53
	その他	231	1	0	1	5	4	50	1	62	98	9
	不明	821	0	1	3	0	0	0	0	136	27	654
一般事務所	認知件数	13,962	12	67	747	356	1,424	5,975	211	3,109	1,433	628
	表出入口	5,540	10	36	621	219	960	1,575	79	1,393	508	139
	非常口	129	1	0	4	4	25	47	1	32	14	1
	その他の出入口	2,569	1	17	118	64	403	844	26	716	316	64
	窓	4,574	0	11	0	60	27	3,357	94	770	222	33
	その他	659	0	3	3	9	8	151	11	106	352	16
	不明	491	0	0	1	0	1	1	0	92	21	375
商店	認知件数	8,967	6	40	294	199	1,113	3,461	176	1,853	1,510	315
	表出入口	3,413	5	25	184	108	511	1,082	42	698	687	71
	非常口	183	0	1	6	7	46	57	1	42	20	3
	その他の出入口	2,548	1	7	102	57	539	725	28	604	422	63
	窓	2,275	0	7	0	23	15	1,509	67	426	214	14
	その他	356	0	0	0	3	2	87	38	56	158	12
	不明	192	0	0	2	1	0	1	0	27	9	152
生活環境営業	認知件数	8,973	1	43	744	240	1,390	2,911	145	2,041	989	469
	表出入口	3,493	0	22	516	126	648	889	40	787	351	114
	非常口	219	0	2	11	8	58	55	2	56	21	6
	その他の出入口	2,794	1	14	213	79	649	810	28	545	377	78
	窓	1,949	0	3	1	23	25	1,098	70	556	152	21
	その他	217	0	1	0	4	10	59	5	50	82	6
	不明	301	0	1	3	0	0	0	0	47	6	244

図表２－２－(２)－６ ピッキング用具を使用した認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件数	率(%)
認知件数	4,355	2,171	1,529	708	373	149	128	116	69	53	-16	-23.2
検挙件数	2,418	1,095	705	819	689	418	114	92	18	2	-16	-88.9
検挙率	55.5	50.4	46.1	115.7	184.7	280.5	89.1	79.3	26.1	3.8	-22.3	ポイント

図表２－２－(２)－７ ドリルを使用したサムターン回しによる認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件数	率(%)
認知件数	1,763	735	868	169	40	59	62	100	71	18	-53	-74.6
検挙件数	999	869	353	326	105	64	5	99	54	3	-51	-94.4
検挙率	56.7	118.2	40.7	192.9	262.5	108.5	8.1	99.0	76.1	16.7	-59.4	ポイント

(3) 自動車盗

自動車盗の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は525件（2.5%）、検挙件数は301件（4.0%）それぞれ増加し、検挙人員は224人（13.1%）減少している。

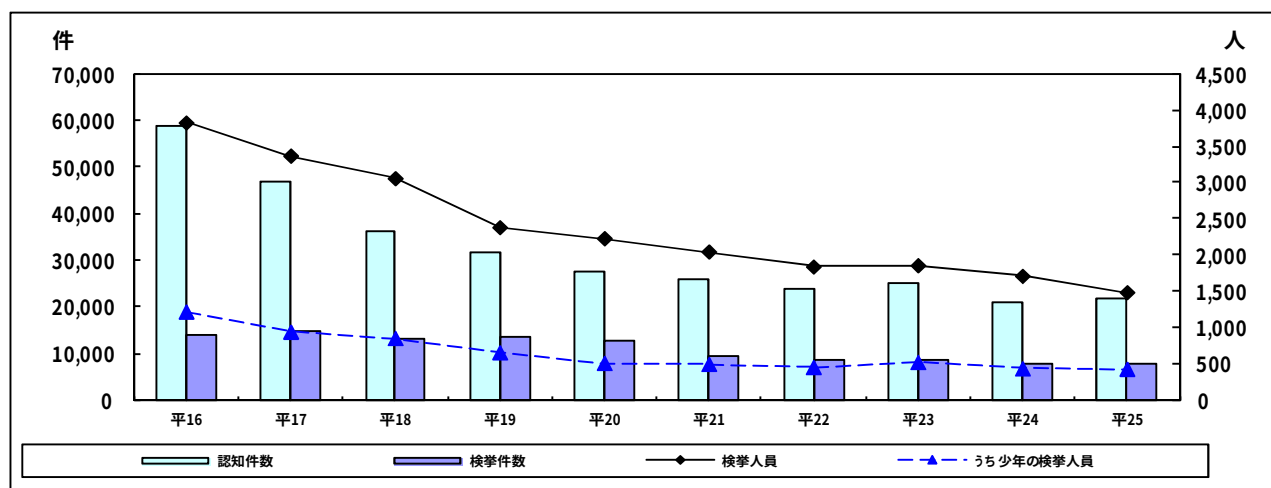
また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の28.8%と、前年に比べ3.4ポイント上昇しており、検挙率は36.4%で0.5ポイント上昇している（図表2-2-(3)-1）。

認知した事件をみると、被害時にエンジンキー（イグニッションキー）がメーンスイッチ（イグニッションスイッチ）に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていた状態で盗まれているものの割合は全体の23.9%で、前年に比べ2.1ポイント低下している（図表2-2-(3)-2）。

また、被害額別の認知件数では、200万円未満が56件（0.4%）、200万円以上300万円未満が110件（4.1%）それぞれ減少しているが、300万円以上が164件（6.7%）増加している（図表2-2-(3)-3）。

さらに、被害自動車の還付率は22.3%で、前年に比べ3.3ポイント低下している（図表2-2-(3)-4）。

図表2-2-(3)-1 自動車盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	件(人)数	率(%)
認知件数	58,737	46,728	36,058	31,790	27,515	25,815	23,775	24,928	21,070	21,595	525	2.5
検挙件数	13,765	14,898	13,288	13,507	12,569	9,557	8,433	8,377	7,556	7,857	301	4.0
検挙人員	3,823	3,366	3,056	2,380	2,228	2,045	1,837	1,856	1,708	1,484	-224	-13.1
うち少年 (割合%)	1,216 31.8	938 27.9	852 27.9	655 27.5	508 22.8	494 24.2	451 24.6	522 28.1	433 25.4	427 28.8	-6	-1.4
検挙率	23.4	31.9	36.9	42.5	45.7	37.0	35.5	33.6	35.9	36.4	0.5ポイント	

図表 2-2-(3)-2 自動車盗のキーの有無別認知件数の推移

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件数	率 (%)
認知件数	58,737	46,728	36,058	31,790	27,515	25,815	23,775	24,928	21,070	21,595	525	2.5
キーあり	15,999	13,186	10,355	8,695	7,628	7,038	6,355	6,295	5,486	5,158	-328	-6.0
(割合%)	27.2	28.2	28.7	27.4	27.7	27.3	26.7	25.3	26.0	23.9	-2.1	ポイント
キーなし	42,738	33,542	25,703	23,095	19,887	18,777	17,420	18,633	15,584	16,437	853	5.5

注：「キーあり」とは、エンジンキー（イグニッションキー）がメーンスイッチ（イグニッションスイッチ）に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていたものをいう。

図表 2-2-(3)-3 自動車盗の被害額別認知件数の推移

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件数	率 (%)
認知件数	58,737	46,728	36,058	31,790	27,515	25,815	23,775	24,928	21,070	21,595	525	2.5
200万円未満	41,484	33,972	26,873	23,756	21,381	19,369	16,984	17,755	14,705	14,649	-56	-0.4
(割合%)	70.6	72.7	74.5	74.7	77.7	75.0	71.4	71.2	69.8	67.8	-2.0	ポイント
200～300万円未満	8,535	5,982	3,957	3,631	2,519	2,656	2,786	3,105	2,687	2,577	-110	-4.1
(割合%)	14.5	12.8	11.0	11.4	9.2	10.3	11.7	12.5	12.8	11.9	-0.9	ポイント
300万円以上	6,195	4,696	3,551	3,011	2,363	2,539	2,675	2,701	2,434	2,598	164	6.7
(割合%)	10.5	10.0	9.8	9.5	8.6	9.8	11.3	10.8	11.6	12.0	0.4	ポイント
被害なし・被害額認定困難	2,523	2,078	1,677	1,392	1,252	1,251	1,330	1,367	1,244	1,771	527	42.4

図表 2-2-(3)-4 被害自動車の還付数・還付率の推移

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件数	率 (%)
認知件数	58,737	46,728	36,058	31,790	27,515	25,815	23,775	24,928	21,070	21,595	525	2.5
還付件数	17,806	14,081	11,794	9,793	8,414	7,429	6,108	5,834	5,394	4,823	-571	-10.6
還付率 (%)	30.3	30.1	32.7	30.8	30.6	28.8	25.7	23.4	25.6	22.3	-3.3	ポイント

注：還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

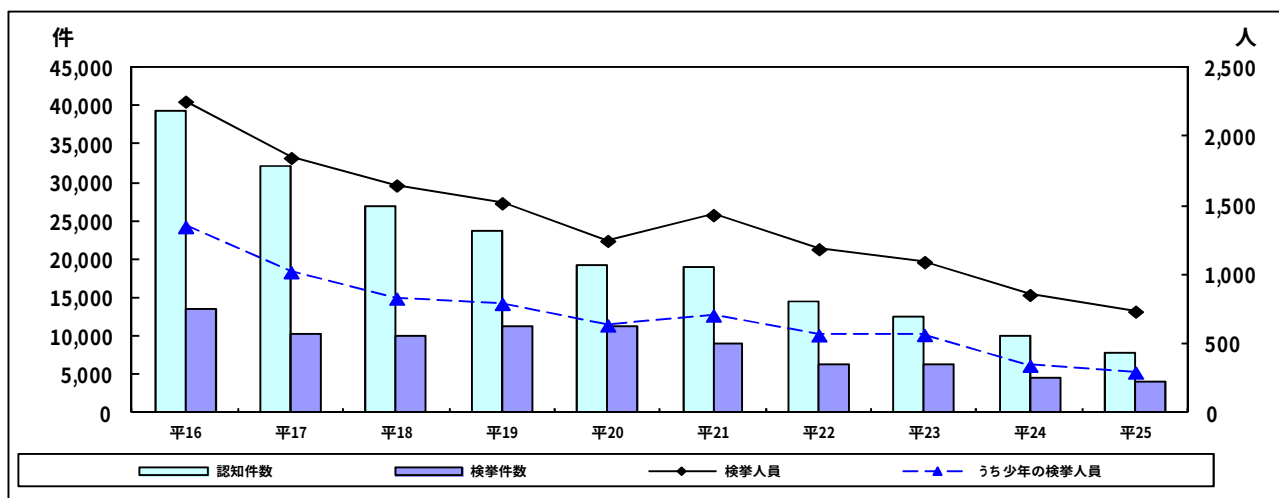
(4) ひったくり

ひったくりの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は2,167件（21.5%）、検挙件数は461件（9.9%）、検挙人員は121人（14.1%）それぞれ減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の40.4%と、前年に比べ0.1ポイント低下しており、検挙率は52.9%で6.8ポイント上昇している（図表2-2-(4)-1）。

認知した事件をみると、発生時間帯は午後8時から午後10時、被害者は60歳以上の女性が最も多い（図表2-2-(4)-2、3）。

図表2-2-(4)-1 ひったくりの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		39,399	32,017	26,828	23,687	19,145	19,036	14,559	12,476	10,083	7,916	-2,167	-21.5
うち未遂		2,489	1,903	1,665	1,416	1,271	1,263	903	753	727	680	-47	-6.5
検挙件数		13,561	10,406	10,090	11,321	11,229	9,051	6,323	6,327	4,647	4,186	-461	-9.9
検挙人員		2,259	1,851	1,652	1,524	1,251	1,438	1,191	1,098	861	740	-121	-14.1
うち少年		1,352	1,025	834	796	640	712	568	571	349	299	-50	-14.3
(割合%)		59.8	55.4	50.5	52.2	51.2	49.5	47.7	52.0	40.5	40.4	-0.1ポイント	
検挙率		34.4	32.5	37.6	47.8	58.7	47.5	43.4	50.7	46.1	52.9	6.8ポイント	

図表2-2-(4)-2 ひったくりの発生時間帯別認知件数

年次	時間	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
平成24年		828	357	224	235	393	623	674	827	941	1,585	1,894	1,499	3	10,083
平成25年		762	300	211	229	379	484	479	574	718	1,018	1,437	1,323	2	7,916
(割合%)		9.6	3.8	2.7	2.9	4.8	6.1	6.1	7.3	9.1	12.9	18.2	16.7	0.0	100.0
増減	件数	-66	-57	-13	-6	-14	-139	-195	-253	-223	-567	-457	-176	-1	-2,167
率(%)		-8.0	-16.0	-5.8	-2.6	-3.6	-22.3	-28.9	-30.6	-23.7	-35.8	-24.1	-11.7	-33.3	-21.5

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2-2-(4)-3 ひったくりの被害者の年齢・性別認知件数（平成 25 年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	7,908	528	1,672	903	972	958	2,875
男性	983	68	214	130	131	144	296
(割合%)	12.4	0.9	2.7	1.6	1.7	1.8	3.7
女性	6,925	460	1,458	773	841	814	2,579
(割合%)	87.6	5.8	18.4	9.8	10.6	10.3	32.6

注 1：被害者が団体・法人のものを除く。

注 2：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

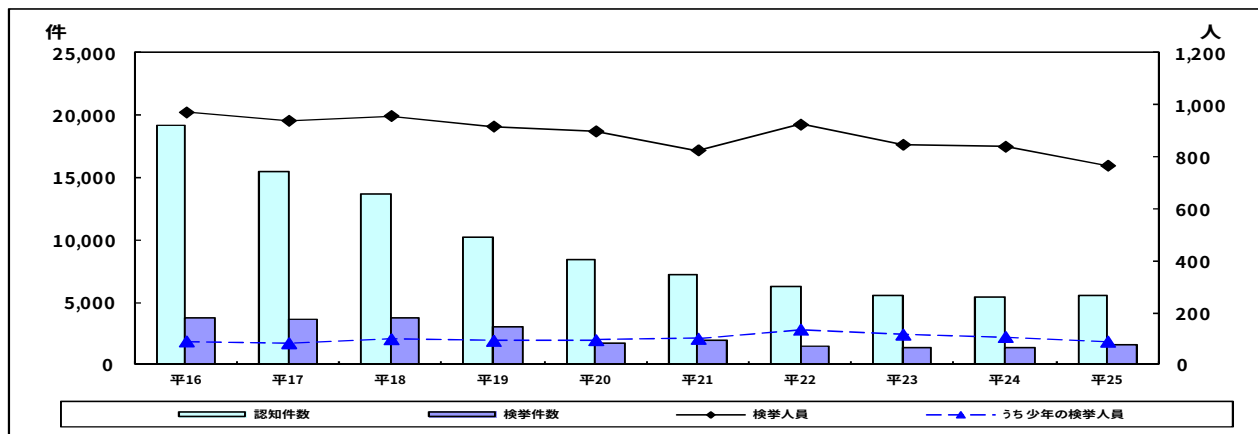
(5) すり

すりの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は63件（1.2%）、検挙件数は186件（13.5%）それぞれ増加しているが、検挙人員は73人（8.7%）減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の11.6%と前年に比べ1.2ポイント低下しており、検挙率は28.3%で3.0ポイント上昇している（図表2-2-(5)-1）。

認知した事件をみると、被害者は20歳代の女性が最も多い（図表2-2-(5)-2）。

図表2-2-(5)-1 すりの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件(人)	率(%)
認知件数		19,198	15,446	13,698	10,220	8,396	7,233	6,248	5,515	5,454	5,517	63	1.2
検挙件数		3,791	3,632	3,699	3,064	1,762	1,977	1,533	1,390	1,378	1,564	186	13.5
検挙人員		970	938	956	916	897	824	923	846	838	765	-73	-8.7
	うち少年	90	83	98	92	95	100	135	116	107	89	-18	-16.8
	(割合%)	9.3	8.8	10.3	10.0	10.6	12.1	14.6	13.7	12.8	11.6	-1.2	ポイント
検挙率		19.7	23.5	27.0	30.0	21.0	27.3	24.5	25.2	25.3	28.3	3.0	ポイント

図表2-2-(5)-2 すりの被害者の年齢・性別認知件数（平成25年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	5,515	650	1,721	886	679	500	1,079
男性	2,144	198	624	381	345	229	367
(割合%)	38.9	3.6	11.3	6.9	6.3	4.2	6.7
女性	3,371	452	1,097	505	334	271	712
(割合%)	61.1	8.2	19.9	9.2	6.1	4.9	12.9

注1：被害者が団体・法人のものを除く。

注2：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

3 重要窃盗犯以外の窃盗犯の状況

(1) 組織窃盗事件の状況

各都道府県警察が認定した組織窃盗事件（注1）は9件である。このうち、警察庁登録組織窃盗事件（注2）として登録した事件は2件である（図表2-3-(1)）。

これまでの警察庁登録組織窃盗事件の検挙事例をみると、窃盗組織は、いずれも来日外国人や暴力団組員等を主要なメンバーとして、数十人単位の多数の者で構成され、首魁の指揮の下、実行犯を入れ替えながら、連続して広域にわたる侵入盗や自動車盗等を敢行するとともに、実行犯以外のメンバーが、窃取した預貯金通帳を用いて不正に現金を引き下ろしたり、窃取した自動車を解体したり車台番号等を改ざんして不正に輸出するなどしている。

注1：「組織窃盗事件」とは、多数の被疑者が、首魁による指揮統制の下に、下見、窃取、盗品の運搬、処分などの各行為を分担又は共同して行う窃盗犯罪をいう。

注2：平成9年10月、警察庁では、組織窃盗事件登録要領を制定し、各都道府県警察が認定した組織窃盗事件のうち、特に重要な事件を「警察庁登録組織窃盗事件」として、全国警察に情報提供を求めるなど、組織の壊滅を主眼とする捜査を推進している。

図表2-3-(1) 組織窃盗事件（登録・認定）数の推移

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25
都道府県警察が認定した組織窃盗事件数(件)	58 (9)	49 (9)	45 (6)	30 (1)	30 (2)	21 (2)	29 (6)	11 (3)	14 (2)	9 (2)
終結事件数(件)	58 (9)	49 (9)	45 (6)	30 (1)	30 (2)	21 (2)	27 (6)	8 (3)	7 (1)	0 (0)
現在捜査中の事件数(件)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	3 (0)	7 (1)	9 (2)

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：（ ）内は、警察庁登録組織窃盗事件の登録事件数を内数で示した。

注3：組織窃盗事件数、終結事件数及び現在捜査中の事件数は、平成25年12月末現在のものである。

【事例】密入国中国人を首魁とする広域組織窃盗（空き巣等）事件（警察庁登録組織窃盗第103号事件）

（京都、広島、山形、滋賀、石川、神奈川、愛知、三重、奈良、千葉、群馬）

平成16年4月から24年5月までの間、密入国した福建省出身の中国人が首魁となり、日本国内に不法残留する同省出身の中国人や日本人配偶者等の有資格滞在者からなる組織窃盗グループを構成した上で、離合集散を繰り返しながら、東北から九州までの各地において、広域に渡り空き巣等の侵入盗を敢行していた。関係府県警察で合・共同捜査体制を構築して捜査を推進した結果、首魁を含む被疑者36名を検挙し、25年2月までに1都2府21県下における空き巣等1,014件（被害額約5億1,700万円相当）を解決するとともに、長期にわたり日本国内で活動していた同組織を壊滅した。

(2) 車上ねらい

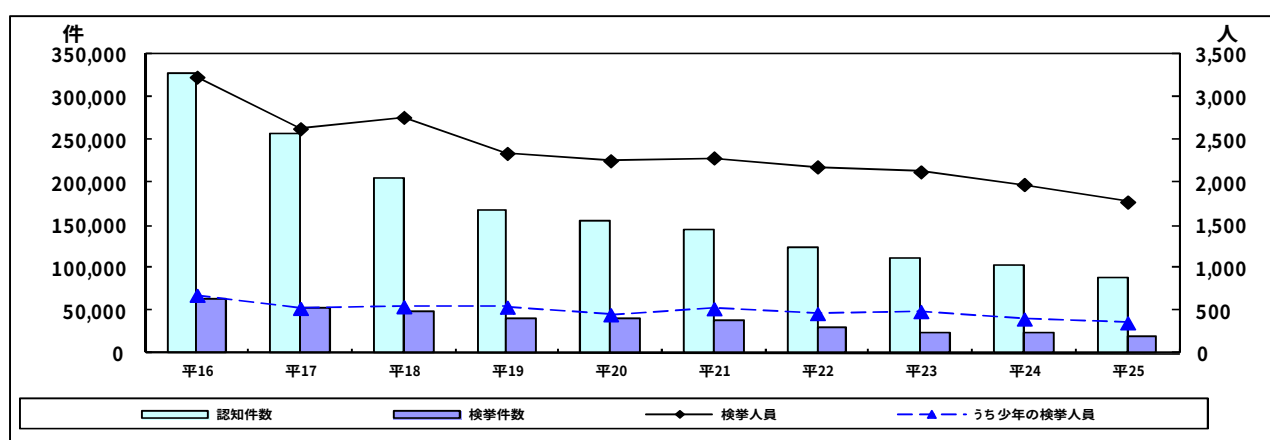
車上ねらいの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は1万3,759件（13.4%）、検挙件数は4,636件（18.9%）、検挙人員は204人（10.3%）それぞれ減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の20.2%と、前年に比べ0.1ポイント低下しており、検挙率は22.3%で1.5ポイント低下している（図表2-3-(2)-1）。

認知した事件をみると、被害時の状況は施錠なしで被害に遭っているものの割合は全体の45.0%で、前年に比べ3.9ポイント上昇している（図表2-3-(2)-2）。

検挙した事件をみると、被疑者の年齢別では65歳以上のみが上昇している（図表2-3-(2)-3）。

図表2-3-(2)-1 車上ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件数	率(%)
認知件数		328,921	256,594	205,744	168,129	154,836	143,863	123,512	111,771	102,798	89,039	-13,759	-13.4
検挙件数		63,171	53,465	49,592	41,116	40,146	38,706	29,780	23,658	24,506	19,870	-4,636	-18.9
検挙人員		3,238	2,634	2,766	2,344	2,258	2,290	2,186	2,128	1,979	1,775	-204	-10.3
うち少年		681	527	547	542	453	522	466	490	402	358	-44	-10.9
(割合%)		21.0	20.0	19.8	23.1	20.1	22.8	21.3	23.0	20.3	20.2	-0.1	ポイント
検挙率		19.2	20.8	24.1	24.5	25.9	26.9	24.1	21.2	23.8	22.3	-1.5	ポイント

図表2-3-(2)-2 車上ねらいの施錠の有無別認知件数の推移

区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件数	率(%)
認知件数		328,921	256,594	205,744	168,129	154,836	143,863	123,512	111,771	102,798	89,039	-13,759	-13.4
施錠あり		233,481	174,862	136,083	104,857	98,435	89,241	74,661	65,966	60,571	48,996	-11,575	-19.1
施錠なし		95,440	81,732	69,661	63,272	56,401	54,622	48,851	45,805	42,227	40,043	-2,184	-5.2
(割合%)		29.0	31.9	33.9	37.6	36.4	38.0	39.6	41.0	41.1	45.0	3.9	ポイント

注：「施錠あり」とは、施錠されている自動車の車室、トランク、荷物庫等から金品を窃取するものをいう。また、オートバイ（自動二輪車、原動機付自転車）及び自転車を対象とする「車上ねらい」については、施錠の有無にかかわらず、すべて「車上ねらい（施錠なし）」とする。

図表 2 - 3 - (2) - 3 車上ねらいの年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平16	3,238	692	837	565	411	442	138	153
平17	2,634	535	603	468	315	413	124	176
平18	2,766	554	605	515	366	410	153	163
平19	2,344	557	454	391	287	341	130	184
平20	2,258	464	400	365	355	343	146	185
平21	2,290	525	407	392	306	334	133	193
平22	2,186	475	403	379	324	280	127	198
平23	2,128	493	348	349	308	259	158	213
平24	1,979	412	360	333	324	226	151	173
平25	1,775	360	319	308	257	220	111	200
増減数	-204	-52	-41	-25	-67	-6	-40	27
増減率	-10.3	-12.6	-11.4	-7.5	-20.7	-2.7	-26.5	15.6

注：犯行時の年齢を計上している。

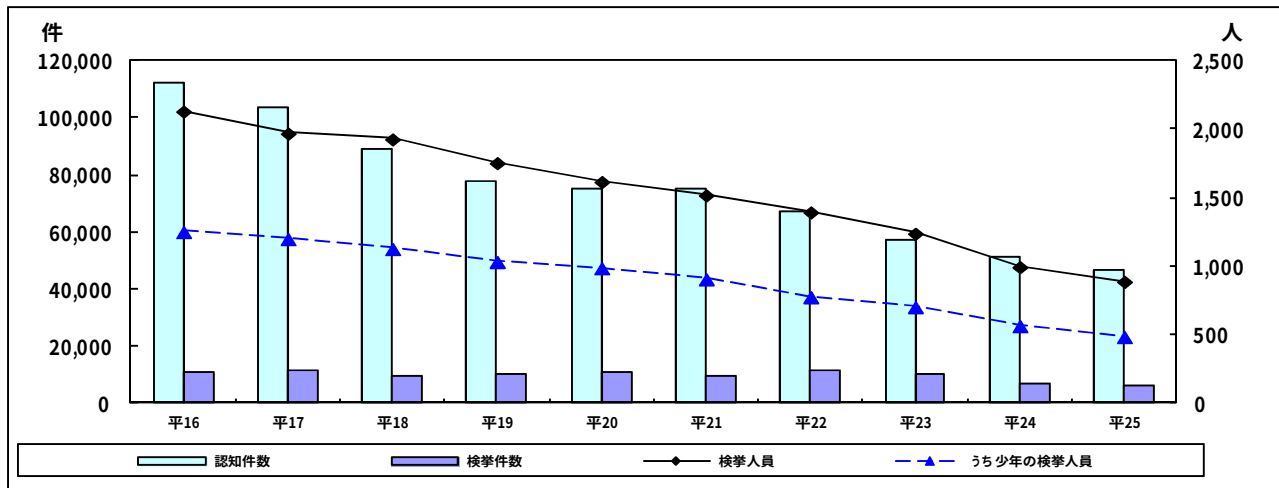
(3) 部品ねらい

部品ねらいの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は4,711件（9.2%）、検挙件数は653件（9.4%）、検挙人員は106人（10.6%）それぞれ減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の54.9%と、前年に比べ2.1ポイント低下しており、検挙率は13.6%で前年と同じである（図表2-3-(3)-1）。

検挙した事件をみると、被疑者の年齢別では60～64歳のみが増加している（図表2-3-(3)-2）。

図表2-3-(3)-1 部品ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	件(人)	率(%)
認知件数	112,161	103,772	88,739	78,016	75,423	75,361	67,307	57,014	51,197	46,486	-4,711	-9.2
検挙件数	10,668	11,786	9,840	10,382	10,591	9,359	11,783	10,022	6,959	6,306	-653	-9.4
検挙人員	2,134	1,973	1,931	1,758	1,621	1,523	1,399	1,244	999	893	-106	-10.6
うち少年	1,255	1,204	1,132	1,037	992	911	781	708	569	490	-79	-13.9
(割合%)	58.8	61.0	58.6	59.0	61.2	59.8	55.8	56.9	57.0	54.9	-2.1	ポイント
検挙率	9.5	11.4	11.1	13.3	14.0	12.4	17.5	17.6	13.6	13.6	0.0	ポイント

図表2-3-(3)-2 部品ねらいの年齢別検挙人員

区分	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
年次								
平16	2,134	1,270	404	176	86	91	40	67
平17	1,973	1,216	321	157	73	89	41	76
平18	1,931	1,146	317	176	76	100	50	66
平19	1,758	1,044	316	124	73	83	39	79
平20	1,621	998	228	117	67	76	47	88
平21	1,523	919	264	114	77	58	37	54
平22	1,399	787	222	105	88	70	30	97
平23	1,244	719	171	109	75	62	40	68
平24	999	573	134	70	72	52	30	68
平25	893	503	130	62	59	35	37	67
増減数	-106	-70	-4	-8	-13	-17	7	-1
増減率	-10.6	-12.2	-3.0	-11.4	-18.1	-32.7	23.3	-1.5

注：犯行時の年齢を計上している。

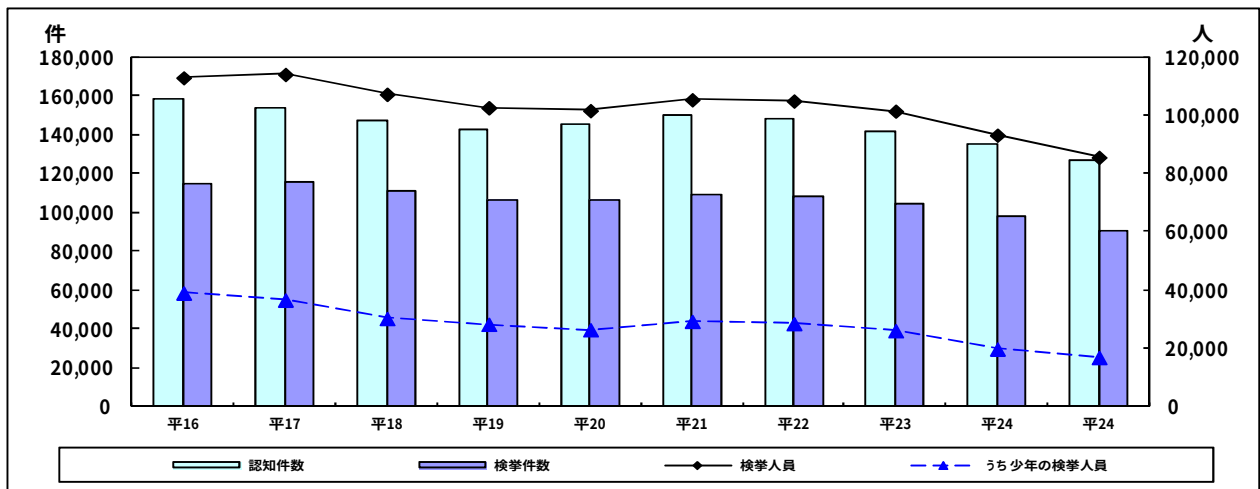
(4) 万引き

万引きの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は8,376件（6.2%）、検挙件数は7,931件（8.1%）、検挙人員は7,615人（8.2%）それぞれ減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の19.6%と、前年に比べ1.5ポイント低下しており、検挙率は71.1%で1.4ポイント低下している（図表2-3-(4)-1）。

検挙した事件をみると、被疑者の年齢別では、いずれの年齢層においても減少している（図表2-3-(4)-2）。

図表2-3-(4)-1 万引きの認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	件数	率(%)
認知件数	158,020	153,972	147,113	141,915	145,429	149,892	148,371	141,564	134,876	126,500	-8,376	-6.2
検挙件数	114,465	115,636	110,723	105,774	105,986	108,802	107,684	104,516	97,841	89,910	-7,931	-8.1
検挙人員	112,783	113,953	107,123	102,504	101,504	105,228	104,804	101,340	93,079	85,464	-7,615	-8.2
うち少年	38,865	36,450	30,161	28,161	26,277	29,119	28,348	25,961	19,645	16,741	-2,904	-14.8
(割合%)	34.5	32.0	28.2	27.5	25.9	27.7	27.0	25.6	21.1	19.6	-1.5ポイント	
検挙率	72.4	75.1	75.3	74.5	72.9	72.6	72.6	73.8	72.5	71.1	-1.4ポイント	

図表2-3-(4)-2 万引きの年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平16	112,783	38,912	12,214	9,796	9,219	14,353	7,622	20,667
平17	113,953	36,481	11,859	10,146	9,508	14,662	8,045	23,252
平18	107,123	30,189	10,837	9,850	9,233	14,442	7,512	25,060
平19	102,504	28,186	9,949	9,194	8,819	13,317	7,185	25,854
平20	101,504	26,303	9,442	9,430	9,076	12,652	7,586	27,015
平21	105,228	29,153	9,850	9,625	9,538	12,279	7,764	27,019
平22	104,804	28,364	9,685	9,635	10,000	11,782	7,976	27,362
平23	101,340	26,005	9,145	9,159	9,621	10,941	8,403	28,066
平24	93,079	19,673	8,326	8,590	9,745	10,323	7,749	28,673
平25	85,464	16,760	7,399	7,744	9,302	9,444	6,862	27,953
増減数	-7,615	-2,913	-927	-846	-443	-879	-887	-720
増減率	-8.2	-14.8	-11.1	-9.8	-4.5	-8.5	-11.4	-2.5

注：犯行時の年齢を計上している。

(5) オートバイ盗

オートバイ盗の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年同期に比べ、認知件数は7,881件（13.3%）、検挙件数は1,056件（15.8%）、検挙人員は497人（10.9%）それぞれ減少している。

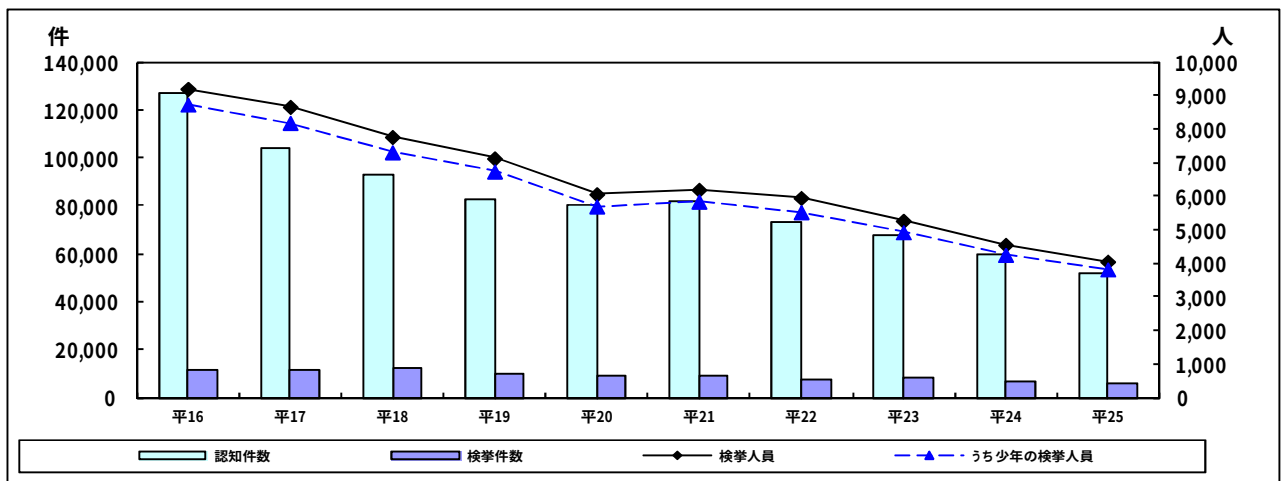
また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の94.3%と、前年に比べ0.8ポイント上昇しており、検挙率は10.9%で0.3ポイント低下している（図表2-3-(5)-1）。

認知した事件をみると、被害時にエンジンキー（イグニッションキー）がメーンスイッチ（イグニッションスイッチ）に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていた状態で盗まれているものの割合は全体の25.7%で、前年に比べ1.2ポイント上昇している（図表2-3-(5)-2）。

また、被害オートバイの還付率は45.0%で、前年に比べ1.7ポイント上昇している（図表2-3-(5)-3）。

検挙した事件をみると、被疑者の年齢別では、30歳代以下の年齢層において減少している（図表2-3-(5)-4）。

図表2-3-(5)-1 オートバイ盗の認知・検挙状況の推移



年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件(人)	数(率)(%)
認知件数	126,717	104,155	93,294	83,028	80,354	82,116	73,491	67,776	59,469	51,588	-7,881	-13.3
検挙件数	11,715	11,621	12,426	10,161	8,930	9,437	7,811	8,037	6,674	5,618	-1,056	-15.8
検挙人員	9,203	8,665	7,766	7,131	6,062	6,194	5,954	5,270	4,554	4,057	-497	-10.9
うち少年 (割合%)	8,735 94.9	8,188 94.5	7,311 94.1	6,740 94.5	5,702 94.1	5,842 94.3	5,530 92.9	4,932 93.6	4,258 93.5	3,826 94.3	-432 0.8ポイント	-10.1
検挙率	9.2	11.2	13.3	12.2	11.1	11.5	10.6	11.9	11.2	10.9	-0.3ポイント	

図表 2-3-(5)-2 オートバイ盗のキーの有無別認知件数の推移

年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件数	率 (%)
認知件数	126,717	104,155	93,294	83,028	80,354	82,116	73,491	67,776	59,469	51,588	-7,881	-13.3
キーあり	28,574	23,758	21,145	19,686	18,496	18,458	17,349	16,364	14,547	13,265	-1,282	-8.8
(割合%)	22.5	22.8	22.7	23.7	23.0	22.5	23.6	24.1	24.5	25.7	1.2	ポイント
キーなし	98,143	80,397	72,149	63,342	61,858	63,658	56,142	51,412	44,922	38,323	-6,599	-14.7

注：「キーあり」とは、エンジンキー（イグニッションキー）がメーンスイッチ（イグニッションスイッチ）に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていたものをいう。

図表 2-3-(5)-3 被害オートバイの還付数・還付率の推移

年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件数	率 (%)
認知件数	126,717	104,155	93,294	83,028	80,354	82,116	73,491	67,776	59,469	51,588	-7,881	-13.3
還付件数	47,796	40,421	37,521	34,640	32,062	31,421	28,506	27,841	25,764	23,239	-2,525	-9.8
還付率 (%)	37.7	38.8	40.2	41.7	39.9	38.3	38.8	41.1	43.3	45.0	1.7	ポイント

注：還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2-3-(5)-4 オートバイ盗の年齢別検挙人員

年次 区分	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平16	9,203	8,744	346	65	23	22	1	2
平17	8,665	8,211	333	75	17	22	3	4
平18	7,766	7,333	312	63	27	20	5	6
平19	7,131	6,753	267	54	26	22	4	5
平20	6,062	5,715	236	48	30	23	5	5
平21	6,194	5,852	219	59	29	19	5	11
平22	5,954	5,546	257	67	41	17	17	9
平23	5,270	4,943	205	58	30	18	8	8
平24	4,554	4,282	177	42	28	17	3	5
平25	4,057	3,832	140	26	31	19	4	5
増減数	-497	-450	-37	-16	3	2	1	0
増減率	-10.9	-10.5	-20.9	-38.1	10.7	11.8	33.3	0.0

注：犯行時の年齢を計上している。

(6) 自転車盗

自転車盗の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は1,258件(0.4%)増加しているが、検挙件数は2,691件(14.0%)、検挙人員は2,215人(15.2%)それぞれ減少している。

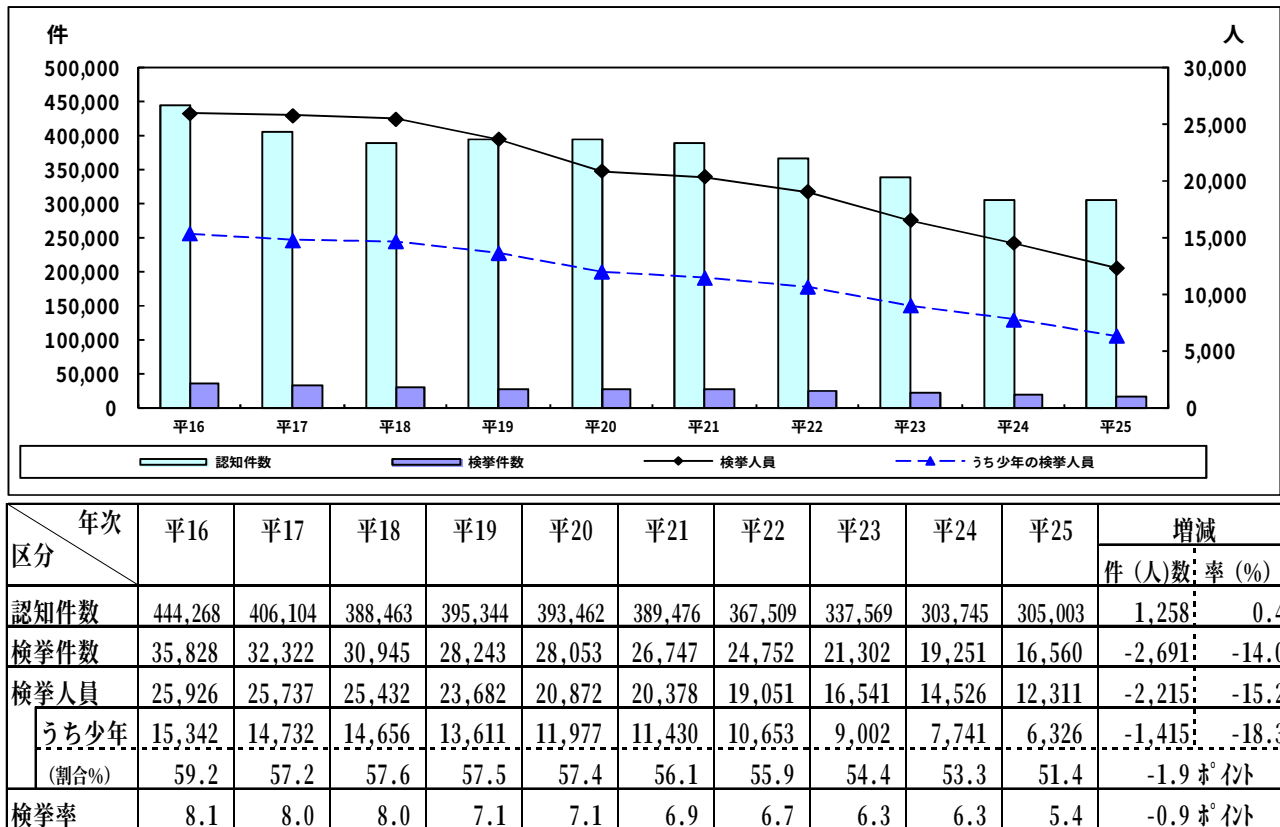
また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の51.4%と、前年に比べ1.9ポイント低下しており、検挙率は5.4%で、前年に比べ0.9ポイント低下している(図表2-3-(6)-1)。

認知した事件をみると、被害時の状況は盗難防止のための施錠がなされていなかったものの割合は全体の59.5%で、前年に比べ1.6ポイント上昇している(図表2-3-(6)-2)。

また、被害自転車の還付率は43.9%で、前年に比べ0.3ポイント上昇している(図表2-3-(6)-3)。

検挙した事件をみると、被疑者の年齢別では、いずれの年齢層においても減少している(図表2-3-(6)-4)。

図表2-3-(6)-1 自転車盗の認知・検挙状況の推移



図表 2-3-(6)-2 自転車盗の施錠の有無別認知件数の推移

年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件数	率(%)
認知件数	444,268	406,104	388,463	395,344	393,462	389,476	367,509	337,569	303,745	305,003	1,258	0.4
施錠あり	249,951	220,210	206,182	209,312	200,035	194,595	173,888	149,024	127,798	123,639	-4,159	-3.3
施錠なし	194,317	185,894	182,281	186,032	193,427	194,881	193,621	188,545	175,947	181,364	5,417	3.1
(割合%)	43.7	45.8	46.9	47.1	49.2	50.0	52.7	55.9	57.9	59.5	1.6	ポイント

注：「施錠あり」とは、被害時に盗難防止のため施錠されていたものをいう。

図表 2-3-(6)-3 被害自転車の還付数・還付率の推移

年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件数	率(%)
認知件数	444,268	406,104	388,463	395,344	393,462	389,476	367,509	337,569	303,745	305,003	1,258	0.4
還付件数	169,792	159,849	157,711	165,540	162,077	163,233	157,216	144,282	132,555	133,798	1,243	0.9
還付率(%)	38.2	39.4	40.6	41.9	41.2	41.9	42.8	42.7	43.6	43.9	0.3	ポイント

注：還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2-3-(6)-4 自転車盗の年齢別検挙人員

年次 区分	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平16	25,926	15,392	4,864	1,557	1,085	1,463	612	953
平17	25,737	14,797	4,960	1,613	1,125	1,498	672	1,072
平18	25,432	14,727	4,771	1,586	1,031	1,505	636	1,176
平19	23,682	13,658	4,403	1,399	1,006	1,394	613	1,209
平20	20,872	12,014	3,819	1,319	923	1,136	580	1,081
平21	20,378	11,466	3,850	1,425	986	1,042	517	1,092
平22	19,051	10,698	3,681	1,296	869	938	534	1,035
平23	16,541	9,033	3,359	1,173	768	782	524	902
平24	14,526	7,774	3,063	1,061	730	650	402	846
平25	12,311	6,347	2,745	999	652	524	350	694
増減数	-2,215	-1,427	-318	-62	-78	-126	-52	-152
増減率	-15.2	-18.4	-10.4	-5.8	-10.7	-19.4	-12.9	-18.0

注：犯行時の年齢を計上している。

4 詐欺の状況

詐欺の認知件数は、平成 14 年以降増加していたが、平成 18 年に減少に転じ、以降減少し続けていたところ、平成 24 年に増加に転じ、平成 25 年も前年に比べ 3,648 件（10.5%）増加している。

検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は 1,730 件（8.5%）、検挙人員は 170 人（1.5%）それぞれ減少している（図表 2－4）。

また、検挙率は 48.4%で、前年に比べ 10.0 ポイント低下している。

図表 2－4 詐欺の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数	83,015	85,596	74,632	67,787	64,427	45,162	37,516	34,599	34,678	38,326	3,648	10.5
検挙件数	26,617	29,384	30,127	27,963	30,277	28,753	24,897	22,169	20,264	18,534	-1,730	-8.5
検挙人員	11,238	11,648	12,406	12,113	12,036	12,542	11,306	10,569	10,997	10,827	-170	-1.5
検 挙 率	32.1%	34.3%	40.4%	41.3%	47.0%	63.7%	66.4%	64.1%	58.4%	48.4%	-10.0ポイント	

5 振り込み詐欺を始めとする特殊詐欺等の状況

特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく欺もうし、指定した預貯金口座への振り込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪（現金等を脅し取る恐喝も含む。）の総称であり、その代表的なものが振り込み詐欺（オレオレ詐欺(注1)、架空請求詐欺(注2)、融資保証金詐欺(注3)及び還付金等詐欺(注4)）である。

平成25年中の特殊詐欺の認知状況については、認知件数が11,998件、被害総額が約489億円と、いずれも前年と比べ増加した（図表2-5-1）。

振り込み詐欺については、認知件数が9,204件と増加し、現金受取型の手口が増加したこと等から、被害総額が約259億円に増加した（図表2-5-(1)-1）。

振り込み詐欺以外の特殊詐欺については、未公開株・社債や外国通貨等の売買勧誘をめぐる金融商品等取引名目の詐欺が多発したこと等から、認知件数が2,794件、被害総額が約231億円といずれも増加した（図表2-5-(2)-1）。

そこで、警察では、これら特殊詐欺の撲滅に向けた取組を一層強化しているところである。

注1：親族を装うなどして電話をかけ、会社における横領金の補填金等の様々な名目で現金が至急必要であるかのように信じ込ませ、動転した被害者に、指定した預貯金口座に現金を振り込ませるなどの手口による詐欺

注2：架空の事実を口実に金品を請求する文書を送付して、指定した預貯金口座に現金を振り込ませるなどの手口による詐欺

注3：融資を受けるための保証金の名目で、指定した預貯金口座に現金を振り込ませるなどの手口による詐欺

注4：市区町村の職員等を装い、医療費の還付等に必要の手続きを装って現金自動預払機（ＡＴＭ）を操作させて口座間送金により振り込ませる手口による電子計算機使用詐欺（平成18年6月に初めて認知された。）

図表2-5-1 特殊詐欺の認知・検挙状況

年次 区分		平22	平23	平24	平25	増 減
認知件数		6,888	7,216	8,693	11,998	3,305
	うち既遂	6,718	6,939	8,132	11,161	3,029
被害総額		11,247,278,665	20,404,305,829	36,436,112,888	48,949,490,349	12,513,377,461
既遂1件当たりの被害額		1,674,200	2,940,525	4,480,584	4,385,762	-94,822
検挙件数		5,189	2,556	2,990	3,419	429
検挙人員		686	923	1,523	1,774	251

注1：振り込み詐欺以外の特殊詐欺の認知件数・被害総額については、平成22年2月から集計を開始した。

注2：振り込み詐欺以外の特殊詐欺の検挙件数・人員については、平成23年1月から集計を開始した。

図表2-5-2 特殊詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成25年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男（％）	29	1	1	2	2	5	17
女（％）	71	1	1	2	4	15	48

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載している。

(1) 振り込み詐欺

平成 25 年における振り込み詐欺の認知件数は 9,204 件と、前年に比べ 2,856 件(45.0%)増加し、被害総額も約 258 億 6,665 万円(注)と、前年に比べ約 98 億 2,554 万円増加している。

検挙件数は 2,519 件と、前年に比べ 206 件(8.9%)増加し、検挙人員も 1,213 人と、前年に比べ 185 人(18.0%)増加している(図表 2-5-(1)-1)。

注：親族、警察官等を装ってキャッシュカードを直接受け取る手口のオレオレ詐欺における A T Mからの引出（窃取）額を含む。

図表 2-5-(1)-1 振り込み詐欺の認知・検挙状況

区分	年次	平22	平23	平24	平25	増 減
認知件数		6,637	6,233	6,348	9,204	2,856
	うち既遂	6,469	5,964	5,902	8,473	2,571
被害総額		10,088,048,014	12,719,000,363	16,041,104,000	25,866,648,203	9,825,544,203
既遂 1 件当たりの被害額		1,559,445	2,132,629	2,717,910	3,052,832	334,922
検挙件数		5,189	2,419	2,313	2,519	206
検挙人員		686	775	1,028	1,213	185

注 1：平成 22 年以前の数値は、実務統計による集計数値、平成 23 年以降の数値は、犯罪統計による集計数値である。

注 2：実質的な被害総額とは、親族、警察官等を装ってキャッシュカードを直接受け取る手口のオレオレ詐欺における A T Mからの引出（窃取）額を加えたものであり、実務統計による集計数値である。

図表 2-5-(1)-2 振り込み詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成 25 年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男（%）	26	1	1	1	2	4	16
女（%）	74	2	2	2	3	15	51

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているので、数値の合計が一致しない。

ア オレオレ詐欺

オレオレ詐欺の認知件数は 5,396 件と、前年に比べ 1,762 件(48.5%)増加し、被害総額も約 171 億 3,276 万円(注)と、前年に比べ約 59 億 3,285 万円増加している。

検挙件数は 1,749 件と、前年に比べ 53 件(2.9%)減少したが、検挙人員は 1,017 人と、前年に比べ 177 人(21.1%)増加している(図表 2-5-(1)-3)。

注：親族、警察官等を装ってキャッシュカードを直接受け取る手口のオレオレ詐欺における A T Mからの引出（窃取）額を含む。

図表 2-5-(1)-3 オレオレ詐欺の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平22	平23	平24	平25	増 減
認知件数	4,418	4,656	3,634	5,396	1,762
うち既遂	4,267	4,411	3,261	4,745	1,484
被害総額	7,918,270,373	10,705,026,363	11,199,903,000	17,132,755,203	5,932,852,203
既遂1件当たりの被害額	1,855,700	2,426,893	3,434,500	3,610,697	176,197
検挙件数	1,742	1,668	1,802	1,749	-53
検挙人員	388	580	840	1,017	177

注1：平成22年以前の数値は、実務統計による集計数値、平成23年以降の数値は、犯罪統計による集計数値である。

注2：実質的な被害総額とは、親族、警察官等を装ってキャッシュカードを直接受け取る手口のオレオレ詐欺におけるATMからの引出（窃取）額を加えたものであり、実務統計による集計数値である。

図表 2-5-(1)-4 オレオレ詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成25年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男（%）	21	0	0	0	0	3	17
女（%）	79	0	0	0	3	17	60

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているので、数値の合計が一致しない。

【事例1】暴力団組員等による官公庁職員をかたる返金手数料名下のオレオレ詐欺事件（北海道・京都）

暴力団組員の男（31）を首魁とする犯行グループが、警察官及び弁護士を装い、過去に高額布団を購入して損害を受けたことのある被害者に対し、警察官を装った者が「布団業者が詐欺で捕まった。犯人が持っていた名簿に名前がある。」等と電話をした後、弁護士を装った者が被害者が過去に購入した布団代金について、「被害者にお金を返しているが、裁判費用として返還する布団代金の20%が必要となる。」等と嘘を言い、被害者をして、要求された裁判費用を支払えば、布団代金の返還を受けられるものと誤信させ、東京都内及び札幌市内の私設私書箱に、現金在中のレターパックを郵送させて、現金約2,400万円をだまし取った（1月9日検挙）。

【事例2】暴力団幹部らによる損失補填金名下のオレオレ詐欺事件（警視庁）

暴力団幹部の男（30）らは、平成24年8月下旬頃、被害者方に同人の息子及びその上司を装って電話をかけ、「俺だよ。電車の中に鞆を置き忘れちゃってさ。」「なくした鞆の中に3,000万円の小切手が入っていたんだ。」「何とかしなければならなくて、今上司の奥さんが半分立て替えているんだよ。うちも半分の1,500万円を工面してくれないかな。」等と嘘を言い、現金約1,500万円をだまし取った（1月30日検挙）。

イ 架空請求詐欺

架空請求詐欺の認知件数は1,522件と、前年に比べ345件(29.3%)増加し、被害総額も約63億3,902万円と、前年に比べ約33億2,854万円増加している。

検挙件数は354件と、前年に比べ16件(4.3%)減少し、検挙人員も156人と、前年に比べ9人(5.5%)減少している(図表2-5-(1)-5)。

図表2-5-(1)-5 架空請求詐欺の認知・検挙状況

区分	年次	平22	平23	平24	平25	増 減
認知件数		1,774	756	1,177	1,522	345
	うち既遂	1,759	735	1,115	1,463	348
被害総額		1,752,071,081	1,038,157,000	3,010,488,000	6,339,024,000	3,328,536,000
既遂1件当たりの被害額		996,061	1,412,459	2,699,989	4,332,894	1,632,905
検挙件数		1,607	706	370	354	-16
検挙人員		224	178	165	156	-9

注：平成22年以前の数値は、実務統計による集計数値、平成23年以降の数値は、犯罪統計による集計数値である。

図表2-5-(1)-6 架空請求詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成25年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男(%)	37	6	4	5	6	6	10
女(%)	63	8	7	7	5	9	27

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているので、数値の合計が一致しない。

【事例】出会い系サイト退会費用等名下の架空請求詐欺事件（大阪）

会社役員の男（39）らは、架空の出会い系サイトを開設し、不特定多数のメールアドレスに対して、出会い系サイトの会員に登録されている旨のメールを大量に発信し、誤って登録したと誤信し退会を希望すると返信してきた者に対し、退会料・コード送信代行手数料・保証料等の費用が必要である旨の虚偽の電子メールを頻繁に送信して、これを信じた被害者から、現金合計約1,000万円をだまし取った（4月24日検挙）。

ウ 融資保証金詐欺

融資保証金詐欺の認知件数は 469 件と、前年に比べ 65 件(16.1%)増加し、被害総額は約 7 億 688 万円と、前年に比べ約 384 万円増加している。

検挙件数は 270 件と、前年に比べ 245 件(980.0%)増加し、検挙人員も 20 人と、前年に比べ 9 人(81.8%)増加している(図表 2-5-(1)-7)。

図表 2-5-(1)-7 融資保証金詐欺の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平22	平23	平24	平25	増 減
認知件数	362	525	404	469	65
うち既遂	361	524	403	468	65
被害総額	344,004,997	721,845,000	703,040,000	706,882,000	3,842,000
既遂 1 件当たりの被害額	952,922	1,377,567	1,744,516	1,510,432	-234,085
検挙件数	1,600	43	25	270	245
検挙人員	60	12	11	20	9

注：平成 22 年以前の数値は、実務統計による集計数値、平成 23 年以降の数値は、犯罪統計による集計数値である。

図表 2-5-(1)-8 融資保証金詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成 25 年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男（％）	72	8	10	13	14	18	10
女（％）	28	5	7	5	5	3	2

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載している。

【事例】貸金業者を装った融資保証金詐欺事件（警視庁）

無職の男（28）らは、貸金業者を装い、融資する旨の虚偽の広告を掲載したダイレクトメールを無作為に抽出した不特定多数人の自宅に発送した上、これに応じて電話をかけてきた被害者に対し、「50 万円融資できますよ。」「50 万円を融資するに当たり、前金として 3 万円を私どもの口座に振り込んでもらえますか。」「金融機関のセンターでトラブルがあり 50 万円の融資ができない。トラブル解決のための人件費 5 万円が必要だ。」等と申し向けるなどして、現金約 38 万円をだまし取った（2 月 13 日検挙）。

エ 還付金等詐欺

還付金等詐欺の認知件数は 1,817 件と、前年に比べ 684 件(60.3%)増加し、被害総額も約 16 億 8,799 万円と、前年に比べ約 5 億 6,031 万円増加している。

検挙件数は 146 件と、前年に比べ 30 件(25.9%)増加し、検挙人員も 20 人と、前年に比べ 8 人(66.7%)増加している。(図表 2-5-(1)-9)。

図表 2-5-(1)-9 還付金等詐欺の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平22	平23	平24	平25	増 減
認知件数	83	296	1,133	1,817	684
うち既遂	82	294	1,123	1,797	674
被害総額	73,701,563	253,972,000	1,127,673,000	1,687,987,000	560,314,000
既遂1件当たりの被害額	898,800	863,850	1,004,161	939,336	-64,825
検挙件数	240	2	116	146	30
検挙人員	14	5	12	20	8

注：平成 22 年以前の数値は、実務統計による集計数値、平成 23 年以降の数値は、犯罪統計による集計数値である。

図表 2-5-(1)-10 還付金等詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成 25 年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男 (%)	23	0	0	0	0	3	19
女 (%)	77	0	0	1	2	19	55

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているので、数値の合計が一致しない。

【事例】市役所職員を装った医療費還付名下の還付金等詐欺事件（警視庁・福井）

無職の男（30）らは、被害者方に市役所職員を装って電話をかけ、「医療費の還付金が受け取れる。」等と嘘を言い、自らの指示どおりに、コンビニエンスストア設置の A T M 機を操作させて、被害者名義の口座から被疑者が管理する口座に現金約 30 万円を振込送金させ、財産上不法の利益を得た（6 月 5 日検挙）。

(2) 振り込み詐欺以外の特殊詐欺

特殊詐欺のうち、従来の振り込み詐欺の類型には該当しないものとして、金融商品等取引名目の詐欺(注1)、ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺(注2)、異性との交際あっせん名目の詐欺(注3)等がある。

平成25年の認知件数は2,794件と、前年に比べ449件(19.1%)増加し、被害総額も約230億8,284万円と、前年と比べ約26億8,783万円増加している。

検挙件数は900件と、前年に比べ223件(32.9%)増加し、検挙人員も561人と、前年に比べ66人(13.3%)増加している(図表2-5-(2)-1)。

注1：架空又は価値の乏しい未公開株、社債等の有価証券、外国通貨等について、電話やダイレクトメール等により虚偽の情報を提供し、購入すれば利益が得られるものと誤信させ、購入を申し込んできた被害者に有価証券等の購入名目で現金を口座に振り込ませるなどの手口による詐欺

注2：不特定多数の者が購読する雑誌に「パチンコ打ち子募集」等と記載したり、不特定多数の者に対して同内容のメールを送信したりするなどし、これに応じて会員登録等を申し込んできた被害者に対して、パチンコ攻略法等の虚偽の情報を提供するなどした上で、会員登録料や情報料等の名目で現金を口座に振り込ませるなどの手口による詐欺

注3：不特定多数の者が購読する雑誌に「女性紹介」等と記載したり、不特定多数の者に対して同内容のメールを送信したりするなどし、これに応じて女性の紹介等を求めてきた被害者に対して、女性に関する虚偽の情報を提供するなどした上で、会員登録料や保証金等の名目で現金を口座に振り込ませるなどの手口による詐欺

図表2-5-(2)-1 振り込み詐欺以外の特殊詐欺の認知・検挙状況

年次		平22	平23	平24	平25	増 減
区分	認知件数	251	983	2,345	2,794	449
	うち既遂	249	975	2,230	2,688	458
被害総額		1,159,230,651	7,685,305,466	20,395,008,888	23,082,842,146	2,687,833,258
既遂1件当たりの被害額		4,655,545	7,882,365	9,145,744	8,587,367	-558,377
検挙件数		—	137	677	900	223
検挙人員		—	148	495	561	66

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：認知件数・被害総額については、平成22年2月から集計を開始した。

注3：検挙件数・人員については、平成23年1月から集計を開始した。

図表2-5-(2)-2 振り込み詐欺以外の特殊詐欺の被害者性別・年齢別構成(平成25年)

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男(%)	36	2	1	2	4	8	19
女(%)	64	1	1	2	5	14	41

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているので、数値の合計が一致しない。

ア 金融商品等取引名目の詐欺

金融商品等取引名目の詐欺の認知件数は1,875件と、前年に比べ111件(5.6%)減少し、被害総額も約178億7,986万円と、前年に比べ約7億3,355万円減少している。

検挙件数は797件と、前年に比べ150件(23.1%)増加し、検挙人員も479人と前年に比べ5人(1.1%)増加している(図表2-5-(2)-3)。

図表 2-5-(2)-3 金融商品等取引名目の詐欺の認知・検挙状況

区分	年次	平22	平23	平24	平25	増 減
認知件数		112	773	1,986	1,875	-111
	うち既遂	110	765	1,874	1,782	-92
被害総額		701,235,822	6,944,741,229	18,613,416,073	17,879,863,124	-733,552,949
既遂1件当たりの被害額		6,374,871	9,078,093	9,932,453	10,033,593	101,141
検挙件数		—	73	647	797	150
検挙人員		—	128	474	479	5

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：認知件数・被害総額については、平成22年2月から集計を開始した。

注3：検挙件数・人員については、平成23年1月から集計を開始した。

図表 2-5-(2)-4 金融商品等取引名目の詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成25年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男（％）	31	0	0	0	2	7	21
女（％）	69	0	0	1	4	15	49

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載している。

【事例1】社債購入等名下の詐欺事件（千葉・鹿児島・栃木）

会社役員の男（27）らは、平成24年4月上旬頃から同年5月下旬頃までの間、被害者方に証券会社A名義でB社の社債購入を勧誘する内容の書面等を郵送した上、証券会社Aの従業員を装って電話をかけ、「B社の社債の購入を仲介しています。あなたの名前で社債を購入していただき、社債権を当社に渡してもらえれば、当社の顧客が社債を購入することができます。社債の購入口数に応じて報酬をお支払いします。」等と嘘を言い、さらにB社の従業員を名乗って電話をかけ、「あなたの名前で社債の購入の申し込みがされていて、入金されましたが、その口座は凍結されました。口座の凍結を解除する費用が必要です。」等と嘘を言い、社債購入手続に必要な口座凍結解除費用等名下に現金合計2,400万円をだまし取った（2月18日検挙）。

【事例2】合同会社社員権購入名下の詐欺事件（静岡）

会社役員の男（42）らは、平成24年1月下旬頃から同年3月下旬頃までの間、被害者に対してコンサルタント会社従業員等を装って電話をかけ、「A社は将来有望な会社です。合同会社Bが現在社員権の販売をしているのですが、誰でも買えるというものではないのです。社員権を購入したがついている人がいます。」等と申し向け、さらにCと称する架空の人物を装い、「A社の社員権を欲しいと思っているのです。私の代わりにあなたの名義で社員権を申し込んでくれば、社員権代金のほかに謝礼も支払います。あとで、社員権代金と謝礼金を持っていきます。」等と申し向けた上、さらにA社の従業員を装って「手付け金がすぐにでも必要です。」等と嘘を言い、社員権購入の手付金名下に現金合計2,200万円をだまし取った（3月27日検挙）。

イ ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺

ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺の認知件数は 587 件と、前年に比べ 326 件(124.9%)増加し、被害総額も約 31 億 3,966 万円と、前年に比べ約 19 億 6,016 万円増加している。

検挙件数は27件と、前年に比べ13件(92.9%)増加し、検挙人員も42人と、前年に比べ25人(147.1%)増加している(図表 2-5-(2)-5)。

図表 2-5-(2)-5 ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺の認知・検挙状況

区分	年次	平22	平23	平24	平25	増 減
認知件数		115	172	261	587	326
	うち既遂	115	172	260	583	323
被害総額		342,238,829	556,780,047	1,179,496,565	3,139,657,409	1,960,160,844
既遂 1 件当たりの被害額		2,975,990	3,237,093	4,536,525	5,385,347	848,822
検挙件数		—	63	14	27	13
検挙人員		—	18	17	42	25

注 1：本表は、実務統計による集計数値である。

注 2：認知件数・被害総額については、平成 22 年 2 月から集計を開始した。

注 3：検挙件数・人員については、平成 23 年 1 月から集計を開始した。

図表 2-5-(2)-6 ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成 25 年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男 (%)	52	5	3	6	12	14	12
女 (%)	48	2	2	7	10	14	12

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているので、数値の合計が一致しない。

ウ 異性との交際あっせん名目の詐欺

異性との交際あっせん名目の詐欺の認知件数は 53 件と、前年に比べ 10 件(23.3%)増加したが、被害総額は 1 億 362 万円と、前年に比べ約 7,842 万円減少している。

検挙件数は 21 件と、前年に比べ 12 件(133.3%)増加し、検挙人員も 2 人と、前年に比べ 1 人(100.0%)増加している(図表 2-5-(2)-7)。

図表 2-5-(2)-7 異性との交際あっせん名目の詐欺の認知・検挙状況

区分	年次	平22	平23	平24	平25	増 減
認知件数		17	25	43	53	10
	うち既遂	17	25	43	53	10
被害総額		108,210,000	144,265,000	182,040,150	103,618,247	-78,421,903
既遂 1 件当たりの被害額		6,365,294	5,770,600	4,233,492	1,955,061	-2,278,431
検挙件数		—	1	9	21	12
検挙人員		—	2	1	2	1

注 1：本表は、実務統計による集計数値である。

注 2：認知件数・被害総額については、平成 22 年 2 月から集計を開始した。

注 3：検挙件数・人員については、平成 23 年 1 月から集計を開始した。

図表 2-5-(2)-8 異性との交際あっせん名目の詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成 25 年）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
男（％）	85	21	13	21	25	6	0
女（％）	15	2	6	4	4	0	0

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているため、数値の合計が一致しない。

(3) 特殊詐欺を助長する犯罪

特殊詐欺を撲滅させるためには、特殊詐欺の本犯を検挙するだけでなく、匿名性の高い犯行ツールである架空・他人名義の預貯金口座や携帯電話の不正な供給・流通を遮断する必要がある。

警察では、平成 20 年 3 月 1 日に施行された「犯罪による収益の移転防止に関する法律」（いわゆる犯罪収益移転防止法）及び「携帯音声通信事業者による契約者等の本人確認等及び携帯音声通信役務の不正な利用の防止に関する法律」（いわゆる携帯電話不正利用防止法）等を積極的に活用するなどして、特殊詐欺を助長する犯罪の取締りを推進している。

ア 預貯金口座の不正な取得・流通

金融機関から通帳・キャッシュカードをだまし取る詐欺及びだまし取られた通帳等であることを知りながら譲り受ける盗品譲受け等の検挙件数は 2,031 件と、前年に比べ 39 件(1.9%)減少し、検挙人員も 1,115 人と、前年に比べ 3 人(0.3%)減少している(図表 2-5-(3)-1)。

また、犯罪収益移転防止法違反等の検挙件数は 1,729 件と、前年に比べ 148 件(9.4%)増加し、検挙人員も 1,200 人と、前年に比べ 33 人(2.8%)増加している(図表 2-5-(3)-2)。

図表 2-5-(3)-1 口座詐欺等の検挙状況

年次		平22	平23	平24	平25	増 減
区分	検挙件数	2,288	2,097	2,049	2,016	-33
	検挙人員	925	1,053	1,102	1,103	1
盗品譲受け等	検挙件数	40	41	21	15	-6
	検挙人員	36	32	16	12	-4
合計	検挙件数	2,328	2,138	2,070	2,031	-39
	検挙人員	961	1,085	1,118	1,115	-3

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 2-5-(3)-2 犯罪収益移転防止法違反等の検挙状況

年次		平22	平23	平24	平25	増 減
区分	検挙件数	748	1,288	1,581	1,729	148
	検挙人員	550	981	1,167	1,200	33

注 1：本表は、実務統計による集計数値である。

注 2：本表は、特殊詐欺に係る犯罪収益移転防止法違反等の検挙を抽出した数値である。

【事例１】偽造国民健康保険被保険者証を使用した通帳詐欺事件（福島）

無職の男（28）は、偽造の国民健康保険被保険者証を使用して他人になりすまし、虚偽の内容の口座利用申込書を作成して、郵便局員に口座開設を申し込み、通帳１通をだまし取った（５月８日検挙）。

【事例２】犯罪収益移転防止法（譲渡）違反事件（茨城）

会社役員の男（65）は、知人である無職の男が、詐欺等の犯罪に利用する目的を有していることを知りながら、自分名義のキャッシュカードを譲り渡した（10月28日検挙）。

イ 携帯電話の不正な取得・流通

携帯電話販売店から携帯電話端末をだまし取る詐欺の検挙件数は432件と、前年に比べ21件(5.1%)増加し、検挙人員も275人と、前年と比べ50人(22.2%)増加している(図表２－５－(3)－３)。

また、携帯電話不正利用防止法違反の検挙件数は85件と、前年に比べ44件(107.3%)増加し、検挙人員も57人と、前年と比べ27人(90.0%)増加している。

図表２－５－(3)－３ 携帯電話端末詐欺、携帯電話不正利用防止法違反の検挙状況

区分 \ 年次		平22	平23	平24	平25	増 減
携帯電話端末詐欺	検挙件数	554	392	411	432	21
	検挙人員	277	277	225	275	50
携帯電話不正利用防止法	検挙件数	44	33	41	85	44
	検挙人員	37	28	30	57	27

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】転売目的を秘した携帯電話詐欺事件（京都）

無職の男（25）と介護福祉士の男（21）は、分割で代金を支払うことなく、直ちに転売する意図であるのにこれを秘し、携帯電話販売店において店員に対し、「会社で使うスマートフォンを購入したい」と携帯電話４台の購入を申し込み、だまし取った（１月21日検挙）。

6 構造的な不正事案等

(1) 政治・行政をめぐる不正事案

政治・行政をめぐる不正事案(公職選挙法違反事件を除く。)の検挙事件数は38件で、前年に比べ7件減少している(図表2-6-(1)-1)。

図表2-6-(1)-1 政治・行政をめぐる不正事案の検挙事件数

区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件数	率(%)
贈収賄		72	65	74	47	50	38	41	36	31	25	-6	-19.4
公契約関係競売入札妨害・談合		11	17	42	26	27	14	12	15	13	11	-2	-15.4
あっせん利得処罰法違反		0	1	2	0	0	0	0	1	1	1	0	0.0
政治資金規正法違反		0	1	1	0	0	0	2	4	0	1	1	-
合 計		83	84	119	73	77	52	55	56	45	38	-7	-15.6

注1：本表は、実務統計による集計数値である。統計中に、公職選挙法違反事件は含まない。

注2：公契約関係競売入札妨害には、偽計入札妨害を含む。

ア 贈収賄事件

贈収賄事件の検挙事件数は25件、検挙人員は65人で、愛知郡広域行政組合水道事務所職員らによる上水道工事発注をめぐる贈収賄事件、大町町企画課長らによる小中一貫校校舎改築工事設計業務委託をめぐる贈収賄事件、中国鎮政府幹部に対する不正競争防止法違反（外国公務員贈賄）事件等社会的反響の大きい事件を検挙している。

【事例1】愛知郡広域行政組合水道事務所職員らによる上水道工事発注をめぐる贈収賄事件（加重）（滋賀）

愛知郡広域行政組合水道事務所工務課主任（38）は、平成22年11月初旬頃、土木建築会社社員から、配水管布設工事の条件付一般競争入札に係る最低制限価格の近似金額を教示する職務上不正な行為をしたことに対する謝礼等の趣旨の下、大型自動二輪車1台（時価85万円相当）を収受した（3月18日検挙）。

【事例2】大町町小中一貫校校舎改築工事に伴う設計業務委託をめぐる贈収賄事件（加重）（佐賀）

大町町企画課長（56）は、平成23年11月下旬頃、建築設計会社の委託を受け、同社が大町町小中一貫校校舎改築工事の設計業務受託者となるための営業活動を行っていた者から、同設計業務に係る簡易公募型プロポーザル方式による受託者選定に関し、第一次審査の評価項目等を教示した上、同社が作成した第二次審査評価項目を採用するよう提案するなど、同社が有利となるよう職務上不正な行為をしたことに対する謝礼等として、ゴルフクラブ等十数点（時価合計約36万円相当）を収受した（4月19日検挙）。

【事例3】中国鎮政府幹部に対する不正競争防止法違反（外国公務員贈賄罪）事件（愛知）

国内に本社を置く自動車部品等製造・販売会社が出資して中華人民共和国内に設立した同製造・販売等を業とする有限公司等の経営責任者（68）は、平成19年12月中旬頃、同国鎮人民政府の外国公務員に対

し、輸入取引等に関して同国の法令に違反した上、同国当局が実施していた調査で同違反行為の一部が発覚したことに関し、同違反行為に対する不利益処分を免れ、加工貿易業務の継続に必要な認可書類の審査等において有利な取り計らいを受けたいなどの意図の下、現金3万香港ドル（当時の円換算額42万6千円相当）及び女性用バッグ1個（時価約14万5千円相当）を供与した（9月11日検挙）。

イ あっせん利得処罰法違反事件

あっせん利得処罰法違反事件の検挙事件数は1件で、2人を検挙している。

ウ 公契約関係競売入札妨害・談合事件

公契約関係競売入札妨害・談合の検挙事件数は11事件で、43人を検挙している。

【事例】上板町長らによる上板中学校体育館新築工事をめぐる官製談合防止法違反事件（徳島）

上板町長（64）及びその知人は、同町が平成21年5月22日に入札を予定していた上板中学校屋内運動場改築・新增築等工事ほか1工事の指名競争入札に関し、特定の建設会社に同工事を落札させようとし、共謀の上、同町長が、適正に入札等の職務を行う義務があるのに、その職務に反し、同知人に対し、同工事の最低制限価格を教示し、同人が同建設会社代表取締役に対して同価格を教示し、当該入札の公正を害すべき行為を行った（8月28日検挙）。

エ 公職選挙法違反事件

（7） 第23回参議院議員通常選挙違反取締り

第23回参議院議員通常選挙における期日後90日（平成25年10月19日）現在の検挙事件数は80事件、133件、検挙人員は170人（うち逮捕者52人）で、前回の第22回参議院議員通常選挙における期日後90日（平成22年10月9日）現在に比べ、検挙事件数が13事件、87件、検挙人員が169人、逮捕者が18人それぞれ減少している。（図2-6-(1)-2）。

【事例1】選挙運動者による現金買収事件（大阪）

会社役員の選挙運動者(48)らは、立候補予定者に当選を得しめる目的を持って、平成25年5月頃から6月頃、選挙運動者に対し、選挙運動用文書を頒布する等の選挙運動の報酬として、現金合計約200万円を供与した（7月22日検挙）。

【事例2】選挙運動者による現金買収事件（山形）

嘱託社員の選挙運動者(59)は、候補者に当選を得しめる目的を持って、平成25年7月中旬頃、運動員10名に対し、候補者への投票及び選挙運動することの報酬として、それぞれ現金数千円を供与した（7月30日検挙）。

【事例3】候補者による現金買収事件（福岡）

候補者(50)は、自己の当選を得る目的で、平成25年6月頃、選挙運動者数名に対し、選挙運動をすることの報酬として、1時間につき800円又は1日につき1万円の割合で計算した金銭を供与する約束をした（8月6日検挙）。

図表2-6-(1)-2 公職選挙法違反事件の検挙件数・人員

	今回（第23回） H25.10.19				前回（第22回） H22.10.9				前回比			
	事件数	件数	人員	うち逮捕	事件数	件数	人員	うち逮捕	事件数	件数	人員	うち逮捕
買収	12	61	85	19	20	119	235	35	-8	-58	-150	-16
自由妨害	19	19	19	15	23	47	25	16	-4	-28	-6	-1
投票干渉	7	10	14	6	10	12	14	5	-3	-2	0	1
詐偽投票等	16	16	19	4	8	8	8	1	8	8	11	3
投票偽造	3	3	8	4	5	5	16	9	-2	-2	-8	-5
地位利用	0	0	0	0	1	1	1	0	-1	-1	-1	0
戸別訪問	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0
文書違反	13	14	15	1	20	21	34	1	-7	-7	-19	0
その他	9	9	9	3	6	7	6	3	3	2	3	0
合計	80	133	170	52	93	220	339	70	-13	-87	-169	-18

注：いずれも選挙期日後90日現在

(イ) 一般地方選挙違反取締り

一般地方選挙において、北九州市議会議員選挙における投票偽造事件、東京都議会議員選挙における詐偽登録・詐偽投票事件等を検挙している。

【事例1】北九州市議会議員選挙における投票偽造事件（福岡）

不在者投票を行う施設として指定された特別養護老人ホームの施設長(37)らは、平成25年1月頃、同施設の入所者数名がいずれも投票に関する意思表示が不能であるにもかかわらず、同人らの投票用紙に候補者の氏名を記入した上、選挙管理委員会に送付して投票を偽造した（2月15日検挙）。

【事例2】東京都議会議員選挙における詐偽登録・詐偽投票事件（警視庁）

会社役員(57)は、平成25年2月頃、真実は、社員数名が東京都A区内に転居した事実がないのに、同人らをして、同区内に転居した旨の虚偽の住民異動届を提出し、同区選挙人名簿に登録させた上、同年6月頃、同区内の期日前投票所において、同人らをして、不正な手続きにより資格を偽って交付を受けた投票所入場整理券を使用して投票した（7月1日検挙）。

オ 公務員犯罪

主な公務員犯罪としては、中間市職員らによる生活保護費不正受給に絡む詐欺事件等を検挙している。

(2) 経済をめぐる不正事案

ア 企業犯罪

企業犯罪については、東証一部上場会社役員らによる業務上横領事件、畜産会社役員らによる特定商品等の預託等取引契約に関する法律違反事件等、社会的反響の大きい事件を検挙している。

【事例1】東証一部上場会社役員らによる業務上横領事件（愛知）

東証一部上場の自動車部品製造会社の常務取締役(64)らは、同社取締役会においてA社向けの金融支援を行わない方針が決定されていたにもかかわらず、A社に対する不正な手形保証の事実を隠蔽するために、B社を介してA社に送金し、同手形保証に係る約束手形を回収する目的で、平成20年3月頃から同年4月頃までの間、金融機関において、同社代表取締役名義で振り出した小切手を呈示して、合計約15億円をB社名義の口座に振込入金させ、もって横領した（2月6日検挙）。

【事例2】畜産会社役員らによる特定商品等の預託等取引契約に関する法律違反事件（警視庁）

和牛の預託等取引業を行う畜産会社の代表取締役（69）らは、繁殖牛の売買・飼養委託契約の締結について勧誘するに当たり、同社が保有する繁殖牛の頭数が大幅に不足して、約定どおり顧客に割り当てる繁殖牛が存在しないにもかかわらず、平成22年9月頃から平成23年7月頃までの間、実在しない繁殖牛の耳番号を記載した契約書等を顧客に送付するなどし、繁殖牛の保有の状況につき不実のことを告げた（6月18日検挙）。

イ 金融関連犯罪

金融・不良債権関連事犯の検挙事件数は68件で、前年同期に比べ8件減少している。

検挙事件数の内訳をみると、前年に比べ「融資過程における事件」は6件増加、「債権回収過程における事件」は9件減少、「その他金融機関の役職員による事件」は5件減少している(図表2-6-2)。

図表2-6-2) 金融・不良債権関連事犯検挙事件数の推移

区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件数	率(%)
融 資 過 程		20	20	32	19	18	50	41	53	40	46	6	15.0
		(11)	(12)	(14)	(15)	(12)	(39)	(33)	(45)	(28)	(34)	(6)	21.4
債 権 回 収 過 程		52	47	27	13	10	6	4	10	11	2	-9	-81.8
		(43)	(38)	(21)	(10)	(5)	(6)	(2)	(9)	(11)	(2)	(-9)	-81.8
そ の 他 金 融 機 関 役 職 員		72	49	68	47	44	50	39	30	25	20	-5	-20.0
		(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	-
合 計		144	116	127	79	72	108	84	93	76	68	-8	-10.5
		(55)	(51)	(36)	(25)	(17)	(45)	(35)	(54)	(39)	(36)	(-3)	-7.7

注：本表は、実務統計による集計数値である。（ ）内は、「暴力団等に係る金融・不良債権関連事犯」を示す。

(7) 融資過程における金融・不良債権関連事犯

金融・不良債権関連事犯のうち、融資過程における詐欺事件等を 46 件検挙している。

【事例 1】大手都市銀行に対する医療機器仕入資金借入名下多額詐欺事件（警視庁）

医療用機械器具製造販売会社の代表取締役(79)は、融資金名目で金融機関から現金をだまし取ろうと企て、真実は、返済原資とした売掛債権を有しておらず、融資金を返済する確実な当てがないのに、これがあるように装い、金融機関に対して、同売掛債権を根担保として同金融機関に譲渡する旨の内容虚偽の債権譲渡担保差入証を提出するなどして、医療用機械器具仕入資金の融資を申込み、融資金が確実に返済を受けられるものと誤信させ、平成 20 年 3 月頃、融資金として 40 億円をだまし取った（2 月 1 日検挙）。

【事例 2】大手都市銀行等に対する住宅ローン融資金名下詐欺事件（警視庁）

被疑者(50)らは、住宅ローンの融資金名目で金融機関から現金をだまし取ろうと企て、複数の金融機関に対して、他人になりすまし、かつ、勤務先等を偽って、偽造したローン借入申込書を真正に成立したもののよう装って提出して、それぞれ融資を申込み、確実に融資金の返済が受けられるものと誤信させ、平成 18 年 12 月頃から平成 21 年 6 月頃までの間、融資金として合計約 2 億 2,400 万円をだまし取った（7 月 16 日検挙）。

(4) 債権回収過程における金融・不良債権関連事犯

金融・不良債権関連事犯のうち、金融機関の債権回収過程における競売入札妨害事件等を 2 件検挙している。

(5) その他金融機関役職員による金融・不良債権関連事犯

金融・不良債権関連事犯のうち、金融機関役職員による詐欺、業務上横領等((7)及び(4)で挙げた事例を除く。)を 20 件検挙している。

ウ 財政侵害犯罪等

財政侵害犯罪等については、大手産廃処理業者らによる広島県産業廃棄物排出抑制・リサイクル施設整備費補助金の不正受給詐欺事件等、社会的反響の大きい事件を検挙している。

【事例】大手産廃処理業者らによる広島県産業廃棄物排出抑制・リサイクル施設整備費補助金の不正受給詐欺事件（広島県）

大手産廃処理業者の役員（51）らは、広島県産業廃棄物排出抑制・リサイクル施設整備費補助金の受給名目で現金を騙し取ろうと企て、補助対象経費額となるリサイクル装置の購入額を水増した内容虚偽の補助事業実績報告書等を広島県担当者に提出して、同補助金名目に総額約 1 億 4,700 万円を詐取した（5 月 25 日検挙）。

(3) 通貨偽造犯罪

通貨偽造罪等の検挙事件数は 41 件である。また、届出等により警察が押収した偽造日本銀行券の枚数(発見枚数)は、966 枚である(図表 2-6-(3))。

図表 2-6-(3) 偽造日本銀行券の発見枚数の推移

区分 \ 年次	平 20	平 21	平 22	平 23	平 24	平 25	増減 (同期比)
一 万 円 券	1,975	1,966	2,427	1,157	1,457	587	-870
五 千 円 券	105	278	474	85	109	74	-35
二 千 円 券	6	9	327	3	4	2	-2
千 円 券	454	1,180	381	291	380	303	-77
合 計	2,540	3,433	3,609	1,536	1,950	966	-984
5 百 円 貨 幣	476	515	2,690	3,625	1,872	1,358	-514

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：数値は、警察が届出等により押収したとして、警察庁に報告のあった枚数。

【事例1】継ぎはぎによるE千円券の偽造・同行使事件（熊本）

無職の男性（23）等は、平成 25 年 4 月頃、真正な E 千円券を切り貼りして 偽造し、ジュース等の購入代金として自動販売機に行使した（6 月 28 日検挙）。

【事例2】真正ホログラム貼り付けによるE一万円券偽造・同行使事件（警視庁・山梨）

土木作業員の男性（25）は、カラーコピー機により E 一万円券をコピーし、その上に切り取った真正券のホログラムを貼り付けて偽造し、タクシー乗車代金等として行使した（8 月 27 日検挙）。

7 風俗犯の認知・検挙状況

(1) 強制わいせつの認知・検挙状況

強制わいせつの認知・検挙状況については、前記図表 2-1-(4)-2 のとおりである。

(2) 公然わいせつの認知・検挙状況

公然わいせつの認知件数は、前年に比べ 204 件（6.9%）増加している。

検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は 143 件（6.9%）、検挙人員は 83 人（4.8%）それぞれ減少している（図表 2-7-(2)）。

図表 2-7-(2) 公然わいせつの認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	2,391	2,420	2,602	2,286	2,361	2,357	2,651	2,636	2,975	3,179	204	6.9
うちショーによるもの	11	10	14	8	15	5	4	4	5	5	0	0.0
検挙件数(件)	1,669	1,741	1,999	1,718	1,782	1,810	1,953	1,926	2,064	1,921	-143	-6.9
うちショーによるもの	8	7	14	7	12	4	4	3	5	4	-1	-20.0
検挙人員(人)	1,451	1,502	1,715	1,618	1,613	1,626	1,727	1,700	1,745	1,662	-83	-4.8
うちショーによるもの	21	14	56	78	58	26	21	31	50	17	-33	-66.0

(3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況

わいせつ物頒布等の認知件数は、前年に比べ 231 件（17.5%）減少している。

検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は 260 件（20.5%）、検挙人員は 236 人（20.8%）それぞれ減少している（図表 2-7-(3)）。

図表 2-7-(3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	522	693	795	810	816	797	837	1,186	1,320	1,089	-231	-17.5
検挙件数(件)	502	671	770	787	787	768	783	1,158	1,270	1,010	-260	-20.5
検挙人員(人)	590	814	913	892	857	820	805	1,061	1,132	896	-236	-20.8

(4) 賭博の認知・検挙状況

賭博の認知件数は、前年に比べ、242 件（66.1%）減少している。

検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は 230 件（64.8%）、検挙人員は 151 人（17.2%）それぞれ減少している（図表 2－7－(4)）。

図表 2－7－(4) 賭博の認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	249	221	209	424	271	340	378	213	366	124	-242	-66.1
うち遊技機使用賭博	133	117	91	121	126	94	125	77	83	68	-15	-18.1
検挙件数(件)	243	213	204	415	252	337	369	208	355	125	-230	-64.8
うち遊技機使用賭博	127	111	90	117	120	93	118	71	82	66	-16	-19.5
検挙人員(人)	1,422	1,771	1,379	1,529	1,359	1,376	1,312	903	876	725	-151	-17.2
うち遊技機使用賭博	709	816	564	699	711	742	777	453	453	306	-147	-32.5

8 特殊事件・事故

(1) 人質立てこもり事件

人質立てこもり事件の認知件数、検挙件数は1件、検挙人員は1人であった（図表2-8-(1)）。

図表2-8-(1) 人質立てこもり事件の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25
認知事件数(件)	17	7	3	6	4	2	4	10	2	1
検挙事件数(件)	17	7	3	6	4	2	4	10	2	1
検挙人員(人)	17	7	3	6	4	2	4	10	2	1

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】横浜市区におけるバスジャック事件（神奈川）

無職の男（73）は、10月15日、横浜市旭区内のバス停で停車中のバスに乗り込み、乗客に刃物を示して降車させ、運転手に指示してバスを走らせて、バス内に立てこもった（10月15日検挙）。

(2) 業務上過失致死傷事件・事故

【事例1】福知山市内の花火大会における負傷者多数を伴う爆発火災事故（京都）

8月15日、福知山市内の花火大会会場において爆発火災事故が発生し、見物客3名が死亡、57名が負傷した（10月2日検挙）。

【事例2】福岡市内の整形外科における死傷者多数を伴う火災事故（福岡）

10月11日、福岡市内の整形外科において火災事故が発生し、入院患者等10名が死亡、5名が負傷した（捜査中）。

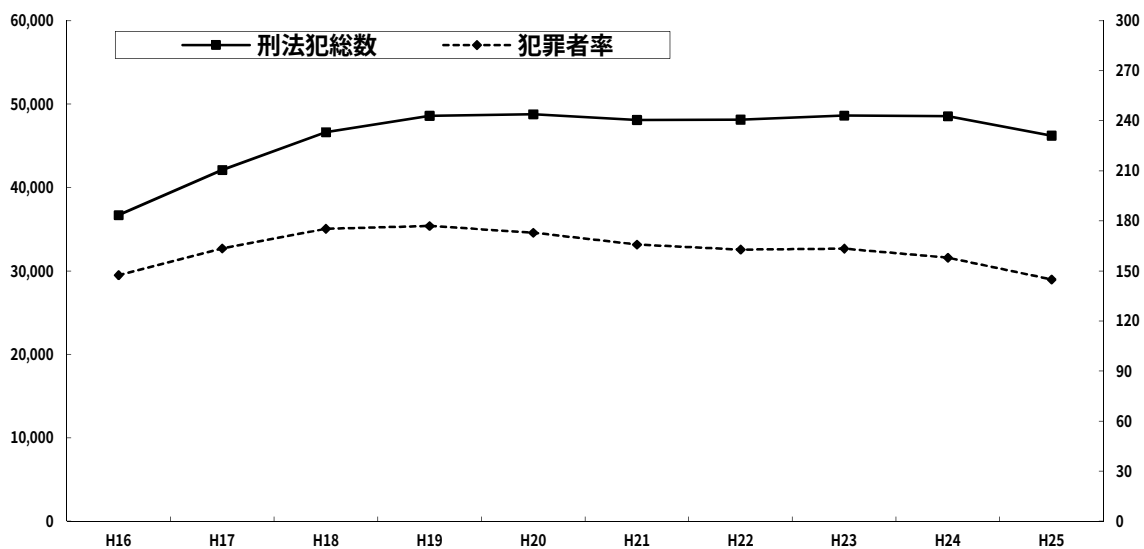
9 その他の特徴的な犯罪

(1) 高齢者による犯罪

高齢者に係る刑法犯の検挙人員は、増加傾向にあったが、平成 24 年に減少に転じ、平成 25 年も、前年に比べ 2,318 人（4.8%）減少している。

包括罪種別にみると、窃盗犯、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯で減少し、凶悪犯、粗暴犯が増加している。特に窃盗犯、その他の刑法犯の減少が顕著で、窃盗の検挙人員は、前年に比べ 1,599 人（4.5%）、その他の刑法犯の検挙人員は、前年に比べ 814 人（13.3%）、それぞれ減少している（図表 2-9-(1)-1、2）。

図表 2-9-(1)-1 高齢者の刑法犯検挙人員の推移



図表 2-9-(1)-2 高齢者の包括罪種別検挙人員の推移

年次 区分		平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
													人員(人)
刑法犯総数		36,696	42,108	46,637	48,597	48,786	48,102	48,145	48,621	48,544	46,226	-2,318	-4.8
凶	悪犯	321	308	338	317	367	328	373	357	359	361	2	0.6
	うち)殺人	164	138	152	123	179	143	174	148	148	156	8	5.4
	うち)強盗	84	95	101	110	103	116	107	107	116	118	2	1.7
粗	暴犯	1,714	2,142	2,781	3,213	3,404	3,744	3,795	4,144	4,874	5,042	168	3.4
	うち)暴行	598	881	1,472	1,822	2,021	2,262	2,337	2,574	3,017	3,048	31	1.0
	うち)傷害	965	1,074	1,086	1,124	1,112	1,185	1,174	1,251	1,479	1,546	67	4.5
窃	盗犯	24,204	27,333	29,953	31,573	33,276	33,055	34,355	35,429	35,659	34,060	-1,599	-4.5
	うち)万引き	20,667	23,252	25,060	25,854	27,015	27,019	27,362	28,066	28,673	27,953	-720	-2.5
知	能犯	826	921	1,089	1,056	1,088	1,127	1,036	988	1,114	1,065	-49	-4.4
	うち)詐欺	640	705	878	855	912	925	846	798	911	857	-54	-5.9
風	俗犯	258	313	321	337	358	306	368	384	409	383	-26	-6.4
その他の刑法犯		9,373	11,091	12,155	12,101	10,293	9,542	8,218	7,319	6,129	5,315	-814	-13.3
	うち)占有離脱物横領	8,215	9,730	10,739	10,596	8,875	8,200	6,903	5,986	4,648	3,796	-852	-18.3
	うち)器物損壊等	260	315	325	386	381	408	388	448	514	577	63	12.3
犯罪者率		147.5	157.0	175.3	176.9	172.9	165.8	162.8	163.4	157.7	144.9	-12.8	

注：犯罪者率とは、人口 10 万人当たりの検挙人員をいう。

(2) 薬物常用者による犯罪

薬物常用者（覚醒剤常用者、麻薬常用者、大麻常用者、その他の薬物常用者及び有機溶剤等乱用者をいう。以下同じ。）による刑法犯の検挙人員は、前年に比べ、35人（4.2%）減少している（図表2-9-(2)-1）。

凶悪犯及び粗暴犯で検挙された者のうち、薬物常用者によるものは、前年に比べ、凶悪犯で検挙された者は3人（5.6%）減少し、粗暴犯で検挙された者は25人（12.7%）増加している（図表2-9-(2)-2）。

図表2-9-(2)-1 薬物常用者による刑法犯検挙人員の推移

区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												人数	率 (%)
薬物常用者		971	1,103	934	770	808	858	805	831	842	807	-35	-4.2
覚醒剤等常用者		823	973	817	699	738	779	747	789	802	788	-14	-1.7
有機溶剤等乱用者		148	130	117	71	70	79	58	42	40	19	-21	-52.5

注1：覚醒剤等常用者とは、覚醒剤、麻薬、大麻又はあへん及び向精神薬を常用している者をいい、中毒症状にあるか否かを問わない。

注2：有機溶剤等乱用者とは、トルエン等の有機溶剤又はこれらを含有するシンナー、接着剤等を常習的に乱用している者をいい、中毒症状にあるか否かを問わない。

図表2-9-(2)-2 薬物常用者による刑法犯罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												人数	率 (%)
検挙人員		971	1103	934	770	808	858	805	831	842	807	-35	-4.2
凶悪犯		84	90	75	68	68	72	59	64	54	51	-3	-5.6
殺人		16	19	11	19	17	10	17	13	13	15	2	15.4
強盗		45	51	53	42	39	57	35	42	32	32	0	0.0
放火		5	8	4	2	6	4	2	1	2	2	0	0.0
強姦		18	12	7	5	6	1	5	8	7	2	-5	-71.4
粗暴犯		184	205	172	162	146	184	174	185	197	222	25	12.7
暴行		24	32	32	22	23	28	33	34	32	28	-4	-12.5
傷害		94	102	98	90	80	99	84	102	119	151	32	26.9
脅迫		8	6	4	9	5	14	15	16	13	14	1	7.7
恐喝		58	65	36	41	38	43	42	33	33	29	-4	-12.1
凶器準備集合		0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	-
窃盗犯		466	526	472	349	404	373	372	415	384	344	-40	-10.4
その他		237	282	215	191	190	229	200	167	207	190	-17	-8.2

(3) 銃砲刀剣類等を使用した犯罪

銃器使用事件（注）の認知件数は、前年に比べ、25 件（16.3%）減少している。このうち、拳銃使用事件にあっても、前年に比べ、18 件（19.8%）減少している（図表 2－9－(3)－1）。

刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数は、前年に比べ、252 件（4.5%）減少している（図表 2－9－(3)－2）。

また、殺人及び強盗事件で銃器、刀剣類・刃物類を使用した事件の割合は、殺人事件では銃器使用が 1.4%、刀剣類・刃物類使用が 51.0%、強盗事件では銃器使用が 0.5%、刀剣類・刃物類使用が 33.2% となっている（図表 2－9－(3)－3）。

猟銃等（散弾銃、ライフル銃及び空気銃）を使用した事件は、前年に比べ 3 件増加した（図表 2－9－(3)－4）。

図表 2－9－(3)－1 銃器使用事件の認知件数の推移

区分		年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
													件数	率 (%)
認知件数			517	412	366	324	275	253	205	180	153	128	-25	-16.3
	うち拳銃使用		289	207	189	183	139	162	126	100	91	73	-18	-19.8
殺人			42	24	23	34	19	14	19	19	17	13	-4	-23.5
	うち拳銃使用		36	21	21	27	19	12	16	17	15	11	-4	-26.7
強盗			134	111	111	94	75	100	60	44	44	16	-28	-63.6
	うち拳銃使用		126	91	96	79	67	95	57	37	40	14	-26	-65.0
強姦			7	3	2	4	2	2	2	1	0	0	0	-
	うち拳銃使用		6	3	2	3	1	2	2	1	0	0	0	-
暴行			44	42	36	17	21	8	10	6	20	12	-8	-40.0
	うち拳銃使用		12	6	4	5	6	2	5	2	5	4	-1	-20.0
傷害			33	20	13	14	8	8	5	12	6	9	3	50.0
	うち拳銃使用		7	4	3	2	1	4	0	4	1	2	1	100.0
脅迫			26	24	11	27	19	20	15	8	14	15	1	7.1
	うち拳銃使用		19	18	9	19	13	14	11	6	13	12	-1	-7.7
恐喝			21	14	12	14	6	6	6	6	8	1	-7	-87.5
	うち拳銃使用		15	9	10	11	6	5	4	6	7	1	-6	-85.7
強制わいせつ			3	4	4	1	4	6	3	2	2	2	0	0.0
	うち拳銃使用		2	4	1	0	3	3	2	1	0	2	2	-
器物損壊			141	121	96	79	85	53	59	51	23	37	14	60.9
	うち拳銃使用		35	23	20	15	13	15	16	15	5	18	13	260.0
その他			66	49	58	40	36	36	26	31	19	23	4	21.1
	うち拳銃使用		31	28	23	22	10	10	13	11	5	9	4	80.0

注：「銃器」とは、拳銃、拳銃様のもの、その他の銃砲、その他の銃砲様のものをいう。なお、銃器使用事件のうち、「拳銃使用」とは、拳銃及び拳銃様のものを使用した事件をいい、また、拳銃様のものとは、拳銃らしきものを突き付け、見せるなどして犯行に及ぶ事件において、被害者、参考人等の供述により銃器と推定されるものをいう

図表２－９－(３)－２ 刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数の推移

罪種	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件数	率(%)
認知件数		9,111	7,596	6,604	6,004	5,836	6,312	5,730	5,516	5,557	5,305	-252	-4.5
殺人		712	718	713	653	675	567	552	557	557	478	-79	-14.2
強盗		2,366	1,992	1,625	1,445	1,500	1,685	1,462	1,298	1,218	1,106	-112	-9.2
強姦		249	237	179	152	122	121	110	89	83	84	1	1.2
暴行		405	362	321	300	292	219	190	187	195	221	26	13.3
傷害		1,048	967	823	806	649	672	639	677	685	641	-44	-6.4
脅迫		534	613	607	582	622	615	559	610	773	762	-11	-1.4
恐喝		318	210	159	124	101	87	87	66	60	60	0	0.0
強制わいせつ		330	261	210	173	160	155	144	125	134	113	-21	-15.7
器物損壊		2,736	1,866	1,676	1,489	1,429	1,923	1,680	1,594	1,492	1,584	92	6.2
その他		413	370	291	280	286	268	307	313	360	256	-104	-28.9

注：刀剣類・刃物類を使用した事件とは、「日本刀」、「その他の刀剣類」、「包丁類」及び「その他の刃物類」を使用したものをいう。

図表２－９－(３)－３ 殺人及び強盗における銃砲刀剣類等を使用した事件の認知件数

区分	年次	平24		平25		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
殺人		1,030	100.0	938	100.0	-92	-8.9
銃器使用		17	1.7	13	1.4	-4	-23.5
刀剣類・刃物類使用		557	54.1	478	51.0	-79	-14.2
その他・不明		456	44.3	447	47.7	-9	-2.0
強盗		3,658	100.0	3,328	100.0	-330	-9.0
銃器使用		44	1.2	16	0.5	-28	-63.6
刀剣類・刃物類使用		1,218	33.3	1,106	33.2	-112	-9.2
その他・不明		2,396	65.5	2,206	66.3	-190	-7.9

注：「その他・不明」には、犯罪供用物が銃器、刀剣類・刃物類以外のもの、不明のもの及び犯罪供用物なしが含まれる。

図表２－９－(３)－４ 猟銃等使用事件の発生状況

区分	年次	平成24年	平成25年	増減	
				件数	率(%)
発生件数(件数)		0	3	3	-
殺人(未遂を含む。)		0	1	1	-
強盗(未遂を含む。)		0	0	0	-
その他		0	2	2	-

注１：事件の発生件数については、警察庁に報告のあったもの。

注２：数値は、刑法犯(暴力行為等処罰ニ関スル法律違反を含む。)のみを計上している。

(4) カードの窃盗被害の状況等とカード使用犯罪

ア カードの窃盗被害の状況

窃盗事件で被害品にキャッシュカードが含まれているものの認知件数は5万4,693件、同じくクレジットカードは3万6,367件であり、手口別にみると、キャッシュカードは車上ねらいが1万3,485件（24.7%）、置引きが1万3,405件（24.5%）、ひったくりが3,023件（5.5%）となっており、クレジットカードは車上ねらいが9,308件（25.6%）、置引きが7,942件（21.8%）、ひったくりが2,297件（6.3%）となっている（図表2-9-(4)-1）。

図表2-9-(4)-1 カードの窃盗被害の状況（平成25年）

犯罪類型	区分	キャッシュカード		クレジットカード		消費者金融カード		プリペイドカード	
		件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合
窃盗	窃盗	54,693	100.0	36,367	100.0	455	100.0	4,000	100.0
	侵入盗	5,690	10.4	3,714	10.2	34	7.5	296	7.4
	住宅対象侵入盗	4,702	8.6	3,190	8.8	27	5.9	199	5.0
	その他	988	1.8	524	1.4	7	1.5	97	2.4
	非侵入窃盗	48,690	89.0	32,208	88.6	416	91.4	3,667	91.7
	ひったくり	3,023	5.5	2,297	6.3	9	2.0	64	1.6
	すり	2,713	5.0	2,194	6.0	15	3.3	100	2.5
	置引き	13,405	24.5	7,942	21.8	98	21.5	1,223	30.6
	車上ねらい	13,485	24.7	9,308	25.6	124	27.3	688	17.2
	仮睡者ねらい	2,943	5.4	2,358	6.5	22	4.8	42	1.1
	脱衣場ねらい	1,315	2.4	979	2.7	8	1.8	62	1.6
	その他	11,806	21.6	7,130	19.6	140	30.8	1,488	37.2
	乗り物盗	313	0.6	445	1.2	5	1.1	37	0.9

注1：「住宅対象侵入盗」は、空き巣、忍込み及び居空きとした。

注2：「乗り物盗」とは、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗をいう。

注3：統計上、1件の被害に対し、3品まで被害品を計上できる。

イ カード偽造犯罪の認知・検挙状況

カード偽造犯罪（刑法に規定する支払用カード電磁的記録に関する罪）の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は28件（22.0%）、検挙件数は74件（43.8%）、検挙人員は2人（28.6%）それぞれ減少している（図表2-9-(4)-2）。

図表2-9-(4)-2 カード偽造犯罪の認知・検挙状況

区分	年次	平24	平25	増減	
				件(人)数	率(%)
総計	認知件数	127	99	-28	-22.0
	検挙件数	169	95	-74	-43.8
	検挙人員	7	5	-2	-28.6
支払用カード電磁的記録不正作出 (第163条の2第1項)	認知件数	4	8	4	100.0
	検挙件数	6	1	-5	-83.3
	検挙人員	3	0	-3	-100.0
不正作出支払用カード電磁的記録供用 (第163条の2第2項)	認知件数	114	75	-39	-34.2
	検挙件数	151	83	-68	-45.0
	検挙人員	3	2	-1	-33.3
不正電磁的記録カードの譲り渡し、貸 渡し、輸入(第163条の2第3項)	認知件数	0	0	0	-
	検挙件数	0	0	0	-
	検挙人員	0	0	0	-
不正電磁的記録カード所持 (第163条の3)	認知件数	4	8	4	100.0
	検挙件数	5	6	1	20.0
	検挙人員	1	1	0	0.0
支払用カード電磁的記録不正取得 (第163条の4第1項前段)	認知件数	1	3	2	200.0
	検挙件数	1	3	2	200.0
	検挙人員	0	2	2	-
支払用カード電磁的記録不正提供 (第163条の4第1項後段)	認知件数	0	0	0	-
	検挙件数	0	0	0	-
	検挙人員	0	0	0	-
支払用カード不正記録情報保管 (第163条の4第2項)	認知件数	2	3	1	50.0
	検挙件数	3	2	-1	-33.3
	検挙人員	0	0	0	-
支払用カード不正作出器械、原料準備 (第163条の4第3項)	認知件数	2	2	0	0.0
	検挙件数	3	0	-3	-100.0
	検挙人員	0	0	0	-

注：刑法に規定する支払用カード電磁的記録に関する罪の保護対象となるカードとは、クレジットカードその他の代金又は料金の支払用のカード及び預貯金の引出用のカードである。代金又は料金の支払用カードとは、クレジットカード（代金後払い）、プリペイドカード（前払い）、デビットカード（預貯金の即時振替払い）等、商品の購入等の取引の対価を現金で支払うのに代え、所定のシステムにより代金を支払うために用いるカードをいう。

ウ カードを使用した窃盗及び詐欺の状況

不正に取得し、又は不正に作成したキャッシュカード、クレジットカード、消費者金融カードを利用して、現金自動預払機（ＡＴＭ（ＣＤ含む。））から現金を窃取する犯罪（払出盗）の認知件数は1,585件で、現金被害総額は6億9,830万5,000円となっている（図表２－９－(4)－３）。

また、キャッシュカードやクレジットカード等のカードを使用した詐欺事件の認知件数は914件で、被害金総額は9,101万1,000円となっている（図表２－９－(4)－４）。

図表２－９－(4)－３ カードを使用した窃盗（払出盗）の状況（平成25年）

区分 \ 種別	計			
		キャッシュカード	クレジットカード	消費者金融カード
認知件数	1,585	1,446	109	30
現金被害総額（千円）	698,305	634,788	47,271	16,246

図表２－９－(4)－４ カードを使用した詐欺の状況（平成25年）

区分 \ 種別	計				
		キャッシュカード	クレジットカード	消費者金融カード	プリペイドカード
認知件数	914	10	877	8	19
被害金総額（千円）	91,011	19,991	69,049	800	1,171

(5) その他

ア 暴行・傷害の認知・検挙状況

暴行の認知件数は、平成 20 年以降減少する中、平成 24 年は増加に転じたものの、平成 25 年は、前年に比べ、205 件（0.6%）減少している。検挙件数、検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は 480 件（2.1%）、検挙人員は 866 人（3.7%）それぞれ減少している。検挙率は 72.3%で、前年と比べ 1.0 ポイント低下している（図表 2－9－(5)－1）。

傷害の認知件数は、平成 16 年以降減少傾向にある中、平成 24 年は増加に転じたものの、平成 25 年は、前年に比べ、54 件（0.2%）減少している。検挙件数、検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は 166 件（0.8%）、検挙人員は 225 人（0.9%）それぞれ減少している。検挙率は 74.1%で、前年と比べ、0.4 ポイント低下している（図表 2－9－(5)－2）。

また、傷害致死については、認知件数は近年減少傾向にあり、検挙率もおおむね 90%台の高水準を維持していたが、平成 25 年は、前年に比べ、認知件数が 7 件（6.7%）増加し、検挙率は 89.2%で、検挙件数は 3 件（2.9%）、検挙人員は 32 人（20.1%）それぞれ減少し、検挙率も 89.2%で、前年に比べ 8.9 ポイント低下している（図表 2－9－(5)－3）。

年齢別検挙人員をみると、平成 25 年は、暴行は、65 歳以上で増加したのみであったが、傷害は、20～29 歳、40～49 歳、50～59 歳、65 歳以上で増加している（図表 2－9－(5)－5、6）。

図表 2－9－(5)－1 暴行の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増 減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	23,691	25,815	31,002	31,966	31,641	29,638	29,593	29,237	31,802	31,597	-205	-0.6
検挙件数(件)	10,666	13,703	19,405	21,463	21,925	21,238	21,667	21,666	23,317	22,837	-480	-2.1
検挙人員(人)	11,002	13,970	19,802	21,808	22,379	21,376	22,076	21,999	23,610	22,744	-866	-3.7
検挙率(%)	45.0	53.1	62.6	67.1	69.3	71.7	73.2	74.1	73.3	72.3	-1.0	ポイント

図表 2－9－(5)－2 傷害の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増 減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	35,937	34,484	33,987	30,986	28,291	26,464	26,547	25,832	27,962	27,908	-54	-0.2
検挙件数(件)	22,938	23,304	23,331	22,062	20,180	19,388	19,350	18,870	20,833	20,667	-166	-0.8
検挙人員(人)	27,069	27,130	27,075	25,458	23,164	22,253	22,030	21,572	23,752	23,527	-225	-0.9
検挙率(%)	63.8	67.6	68.6	71.2	71.3	73.3	72.9	73.0	74.5	74.1	-0.4	ポイント

図表 2-9-(5)-3 傷害致死の認知・検挙状況

区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増 減	
												件 (人) 数	率 (%)
認知件数 (件)		145	146	144	111	136	128	115	131	104	111	7	6.7
検挙件数 (件)		136	139	141	105	129	114	110	119	102	99	-3	-2.9
検挙人員 (人)		186	199	163	161	197	138	135	153	159	127	-32	-20.1
検挙率 (%)		93.8	95.2	97.9	94.6	94.9	89.1	95.7	90.8	98.1	89.2	-8.9ポイント	

図表 2-9-(5)-4 暴行の検挙件数における犯罪供用物の有無

区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増 減	
												件数	率 (%)
総 数		10,525	13,519	19,175	21,203	21,660	21,006	21,529	21,541	23,167	22,717	-450	-1.9
犯罪供用物なし		9,812	12,901	18,476	20,515	21,004	20,168	20,721	20,670	22,221	21,666	-555	-2.5
割合		93.2	95.4	96.4	96.8	97.0	96.0	96.2	96.0	95.9	95.4	-0.5ポイント	
犯罪供用物あり		713	618	699	688	656	838	808	871	946	1,051	105	11.1

注：解決事件を除く。

図表 2-9-(5)-5 暴行の年齢別検挙人員

区分	年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平16		11,002	1,627	2,049	2,470	1,771	1,918	569	598
平17		13,970	1,545	2,648	3,336	2,273	2,487	800	881
平18		19,802	1,513	3,727	4,843	3,455	3,620	1,172	1,472
平19		21,808	1,593	4,018	5,281	3,881	3,885	1,328	1,822
平20		22,379	1,548	3,880	5,289	4,212	3,822	1,607	2,021
平21		21,376	1,333	3,688	4,846	4,244	3,318	1,685	2,262
平22		22,076	1,288	3,693	5,084	4,516	3,313	1,845	2,337
平23		21,999	1,213	3,487	4,897	4,595	3,208	2,025	2,574
平24		23,610	1,496	3,546	5,115	5,140	3,324	1,972	3,017
平25		22,744	1,492	3,494	4,637	5,057	3,243	1,773	3,048
増減数		-866	-4	-52	-478	-83	-81	-199	31
増減率		-3.7	-0.3	-1.5	-9.3	-1.6	-2.4	-10.1	1.0

注：犯行時の年齢を計上している。

図表 2-9-(5)-6 傷害の年齢別検挙人員

区分	年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平16		27,069	6,482	6,257	5,704	3,284	3,407	970	965
平17		27,130	6,161	6,058	5,855	3,587	3,399	996	1,074
平18		27,075	5,972	5,821	6,085	3,729	3,385	997	1,086
平19		25,458	5,639	5,196	5,926	3,572	2,994	1,007	1,124
平20		23,164	5,247	4,638	5,208	3,455	2,567	937	1,112
平21		22,253	4,844	4,497	4,904	3,479	2,324	1,020	1,185
平22		22,030	4,939	4,102	4,860	3,594	2,257	1,104	1,174
平23		21,572	4,753	4,056	4,562	3,700	2,075	1,175	1,251
平24		23,752	4,983	4,332	5,168	4,277	2,270	1,243	1,479
平25		23,527	4,672	4,426	5,033	4,391	2,304	1,155	1,546
増減数		-225	-311	94	-135	114	34	-88	67
増減率		-0.9	-6.2	2.2	-2.6	2.7	1.5	-7.1	4.5

注：犯行時の年齢を計上している。

イ 公務執行妨害の認知・検挙状況

公務執行妨害の認知件数は、近年減少傾向にある中、平成 23 年、24 年と増加したものの、平成 25 年は、前年に比べ、145 件（4.7%）減少している。検挙件数は、前年に比べ、62 件（2.1%）減少し、検挙人員は 39 人（1.6%）増加している。

また、検挙率は 96.6%で、前年に比べ 2.5 ポイント上昇している（図表 2－9－(5)－7）。

図表 2－9－(5)－7 公務執行妨害の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増 減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	3,129	3,327	3,576	3,569	3,239	3,071	2,969	3,029	3,117	2,972	-145	-4.7
検挙件数(件)	2,957	3,188	3,402	3,459	3,071	2,952	2,881	2,863	2,932	2,870	-62	-2.1
検挙人員(人)	2,705	2,868	3,118	3,181	2,945	2,698	2,547	2,476	2,501	2,540	39	1.6
検挙率(%)	94.5	95.8	95.1	96.9	94.8	96.1	97.0	94.5	94.1	96.6	2.5ポイント	

ウ 器物損壊等の認知・検挙状況

器物損壊の認知件数は、近年減少しており、平成 25 年は、前年に比べ、2,216 件（1.5%）減少している。検挙件数は、前年に比べ、493 件（4.4%）減少し、検挙人員は 67 人（1.1%）増加している。

また、検挙率は 7.5%で、前年に比べ 0.3 ポイント低下している（図表 2－9－(5)－8）。

図表 2－9－(5)－8 器物損壊等の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増 減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	226,059	205,312	194,824	185,472	178,191	169,292	156,717	147,537	144,129	141,913	-2,216	-1.5
検挙件数(件)	12,332	12,884	13,816	13,617	13,129	12,062	11,554	10,948	11,204	10,711	-493	-4.4
検挙人員(人)	5,522	6,362	6,551	6,575	6,480	6,160	5,864	5,839	5,975	6,042	67	1.1
検挙率(%)	5.5	6.3	7.1	7.3	7.4	7.1	7.4	7.4	7.8	7.5	-0.3ポイント	

10 少年による犯罪

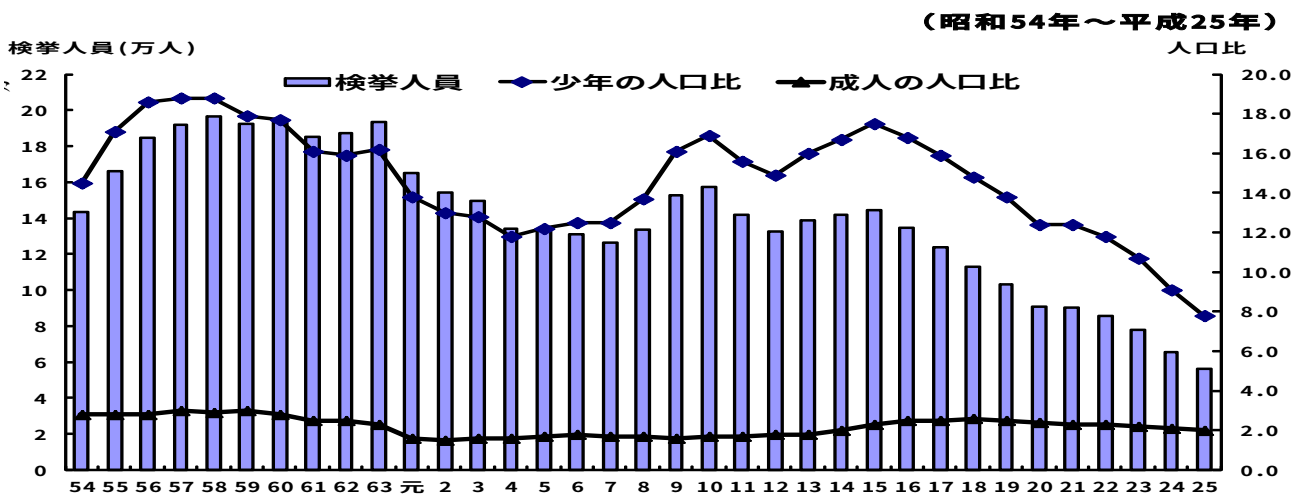
(1) 少年による刑法犯の検挙状況

過去 10 年間の少年による刑法犯の検挙人員、人口比は図表 2-10-(1)のとおりである。

平成 25 年中における少年の刑法犯検挙人員は 5 万 6,469 人（前年比 13.7%減）で、人口比も低下して 7.8 となったが、成人（2.0）の約 4 倍と引き続き高水準で推移している。

罪種別に過去 10 年間の推移を見ると、凶悪犯及び粗暴犯については最近横ばいに傾向にある。また、平成 25 年中の性犯罪（強姦及び強制わいせつ）検挙人員は、456 人（前年比 0.2%増）となり、平成 16 年以降で最多となった。

図表 2-10-(1) 少年による刑法犯検挙人員の推移



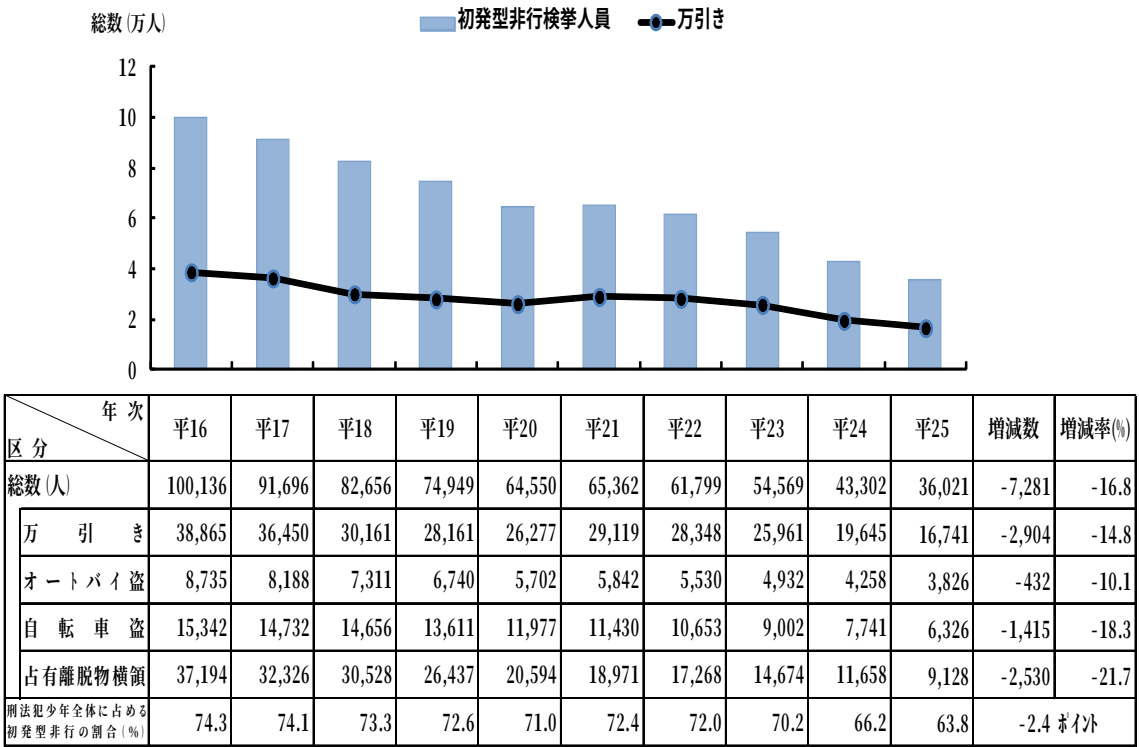
区 分	年 次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減数	増減率
総数(人)		134,847	123,715	112,817	103,224	90,966	90,282	85,846	77,696	65,448	56,469	-8,979	-13.7
凶悪犯		1,584	1,441	1,170	1,042	956	949	783	785	836	786	-50	-6.0
殺人		57	67	69	62	50	50	43	56	46	52	6	13.0
強盗		1,273	1,146	892	757	713	696	565	593	592	547	-45	-7.6
放火		103	86	103	102	66	83	65	67	76	63	-13	-17.1
強姦		151	142	106	121	127	120	110	69	122	124	2	1.6
粗暴犯		11,439	10,458	9,817	9,248	8,645	7,653	7,729	7,276	7,695	7,210	-485	-6.3
凶器準備集合		239	68	127	136	74	70	42	17	17	51	34	200.0
暴行		1,608	1,532	1,505	1,584	1,547	1,322	1,279	1,209	1,490	1,477	-13	-0.9
傷害		6,408	6,103	5,919	5,583	5,212	4,795	4,895	4,718	4,945	4,627	-318	-6.4
脅迫		111	139	149	117	151	111	141	123	138	174	36	26.1
恐喝		3,073	2,616	2,117	1,828	1,661	1,355	1,372	1,209	1,105	881	-224	-20.3
窃盗犯		76,637	71,147	62,637	58,150	52,557	54,784	52,435	47,776	38,370	33,134	-5,236	-13.6
ひったくり		1,352	1,025	834	796	640	712	568	571	349	299	-50	-14.3
万引き		38,865	36,450	30,161	28,161	26,277	29,119	28,348	25,961	19,645	16,741	-2,904	-14.8
知能犯		1,240	1,160	1,294	1,142	1,135	1,144	978	971	962	878	-84	-8.7
詐欺		1,077	1,030	1,186	1,053	1,019	1,038	880	860	841	762	-79	-9.4
風俗犯		344	383	346	341	389	399	437	466	566	523	-43	-7.6
強制わいせつ		253	282	242	262	275	281	318	277	333	332	-1	-0.3
その他の刑法犯		43,603	39,126	37,553	33,301	27,284	25,353	23,484	20,422	17,019	13,938	-3,081	-18.1
占有離脱物横領		37,194	32,326	30,528	26,437	20,594	18,971	17,268	14,674	11,658	9,128	-2,530	-21.7
性 犯 罪		404	424	348	383	402	401	428	346	455	456	1	0.2
人 口 比 (少 年)		16.8	15.9	14.8	13.8	12.4	12.4	11.8	10.7	9.1	7.8	-1.3	—
人 口 比 (成 人)		2.5	2.5	2.6	2.5	2.4	2.3	2.3	2.2	2.1	2.0	-0.1	—

注 人口比は、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口に基づく同年齢層人口 1,000 人当たりの検挙人員をいう。

(2) 少年による初発型非行の検挙状況

少年の初発型非行（万引き、オートバイ盗、自転車盗及び占有離脱物横領をいう。）の検挙人員は依然として少年の刑法犯検挙人員の６割以上を占めているが、過去１０年間でみると総じて減少傾向にあり、平成２５年中は３万６,０２１人（前年比１６.８％減）となった。

図表２－１０－(２) 少年による初発型非行検挙人員の推移

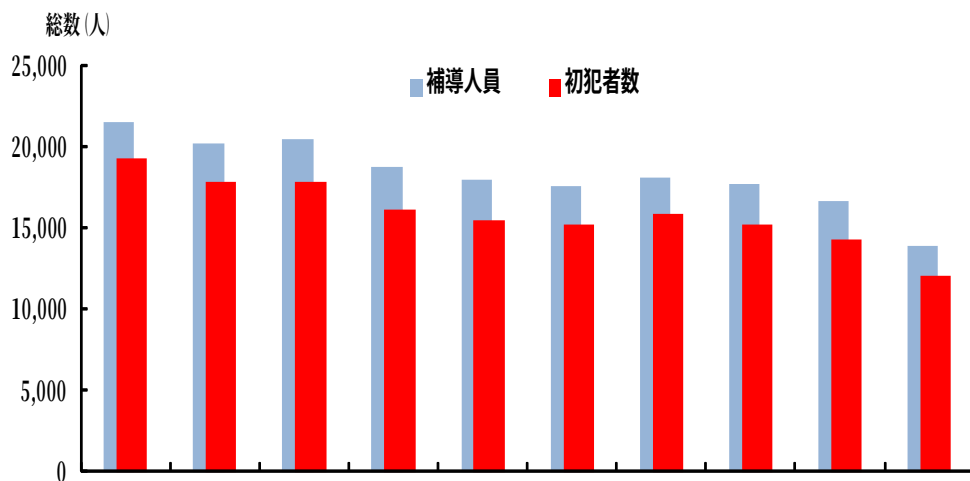


(3) 触法少年（刑法）の補導状況

過去 10 年間の触法少年（刑法）の補導人員の推移は図表 2－10－(3)のとおりである。

平成 25 年中の触法少年（刑法）の補導人員は 12,592 人（前年比 9.7%減）で、4 年連続で減少した。

図表 2－10－(3) 触法少年（刑法）の補導人員の推移



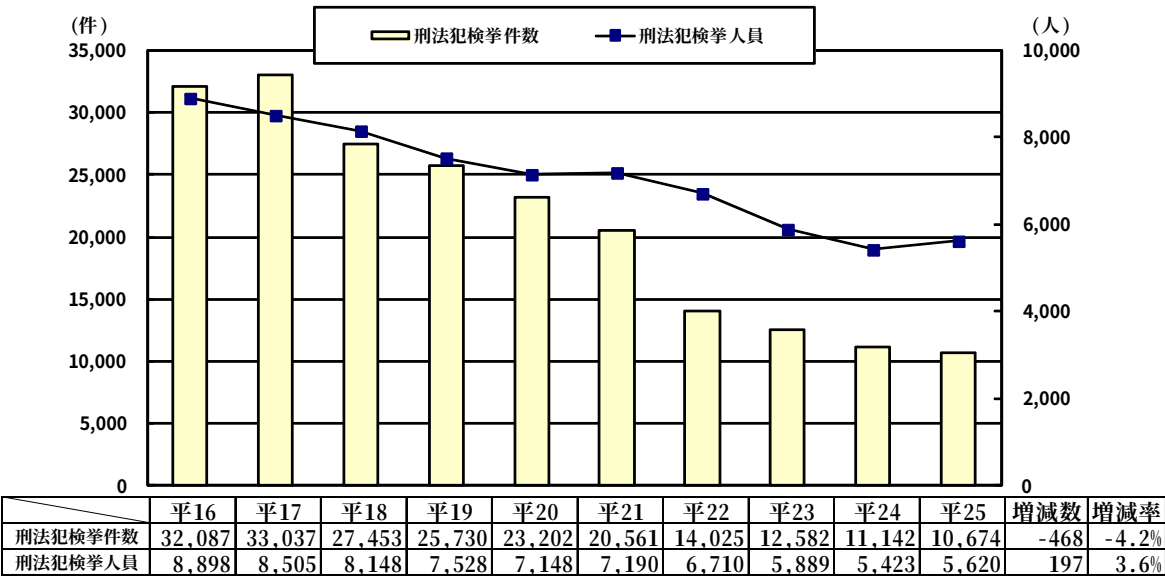
年次 区分	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減数	増減率
総数(人)	20,191	20,519	18,787	17,904	17,568	18,029	17,727	16,616	13,945	12,592	-1,353	-9.7
凶悪犯	219	202	225	171	110	143	103	104	130	106	-24	-18.5
殺人	5	6	4	3	5	2	1	3	1	3	2	200.0
強盗	28	26	20	28	22	17	15	18	21	17	-4	-19.0
放火	179	159	194	130	75	109	68	73	97	74	-23	-23.7
強姦	7	11	7	10	8	15	19	10	11	12	1	9.1
粗暴犯	1,301	1,624	1,467	1,425	1,347	1,336	1,497	1,438	1,469	1,494	25	1.7
凶器準備集合	1	2	18	4	2	5	8	0	1	1	0	0.0
暴行	354	437	382	384	427	395	482	433	550	636	86	15.6
傷害	588	799	764	733	655	707	732	800	731	671	-60	-8.2
脅迫	30	26	27	74	38	33	33	27	39	62	23	59.0
恐喝	328	360	276	230	225	196	242	178	148	124	-24	-16.2
窃盗犯	13,710	13,336	11,945	11,193	11,356	12,026	12,077	11,383	9,138	8,069	-1,069	-11.7
ひったくり	110	93	79	57	51	84	62	43	23	14	-9	-39.1
万引き	8,353	7,961	6,743	6,489	6,803	7,855	7,810	7,498	5,976	5,058	-918	-15.4
知能犯	46	57	63	55	65	68	60	68	61	64	3	4.9
詐欺	29	32	38	38	52	46	44	48	43	49	6	14.0
風俗犯	116	116	117	138	137	166	175	185	202	253	51	25.2
強制わいせつ	108	109	112	129	123	154	168	172	182	218	36	19.8
その他の刑法犯	4,799	5,184	4,970	4,922	4,553	4,290	3,815	3,438	2,945	2,606	-339	-11.5
占有離脱物横領	3,184	3,403	3,107	2,968	2,637	2,304	1,984	1,601	1,397	1,083	-314	-22.5
初犯者数	17,868	17,847	16,161	15,471	15,235	15,856	15,264	14,328	12,047	10,984	-1,063	-8.8

11 来日外国人による犯罪

(1) 刑法犯の検挙状況

来日外国人に係る刑法犯の検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は468件（4.2％）減少しているが、検挙人員は197人（3.6％）増加している（図表2-11-（1））。

図表2-11-（1） 来日外国人の刑法犯検挙状況の推移



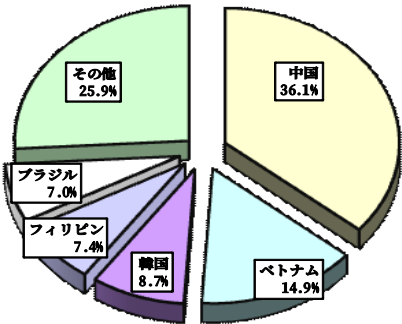
(2) 国籍・地域別刑法犯検挙状況

刑法犯の国籍・地域別検挙状況をみると、検挙件数では中国（台湾、香港等を除く。以下同じ。）が3,709件（構成比34.7％）、次いでブラジルが2,270件（同21.3％）、ベトナムが1,197件（同11.2％）となっており、検挙人員では中国が2,028人（同36.1％）、次いでベトナムが839人（同14.9％）、韓国が488人（同8.7％）となっている（図表2-11-（2）-1、2）。

図表2-11-（2）-1 国籍・地域別検挙状況

	刑法犯検挙件数			刑法犯検挙人員	
	件数	構成比		人員	構成比
総数	10,674	100%	総数	5,620	100%
中国	3,709	34.7%	中国	2,028	36.1%
ブラジル	2,270	21.3%	ベトナム	839	14.9%
ベトナム	1,197	11.2%	韓国	488	8.7%
フィリピン	620	5.8%	フィリピン	415	7.4%
韓国	494	4.6%	ブラジル	393	7.0%
その他	2,384	22.3%	その他	1,457	25.9%

図表2-11-（2）-2 検挙人員構成比



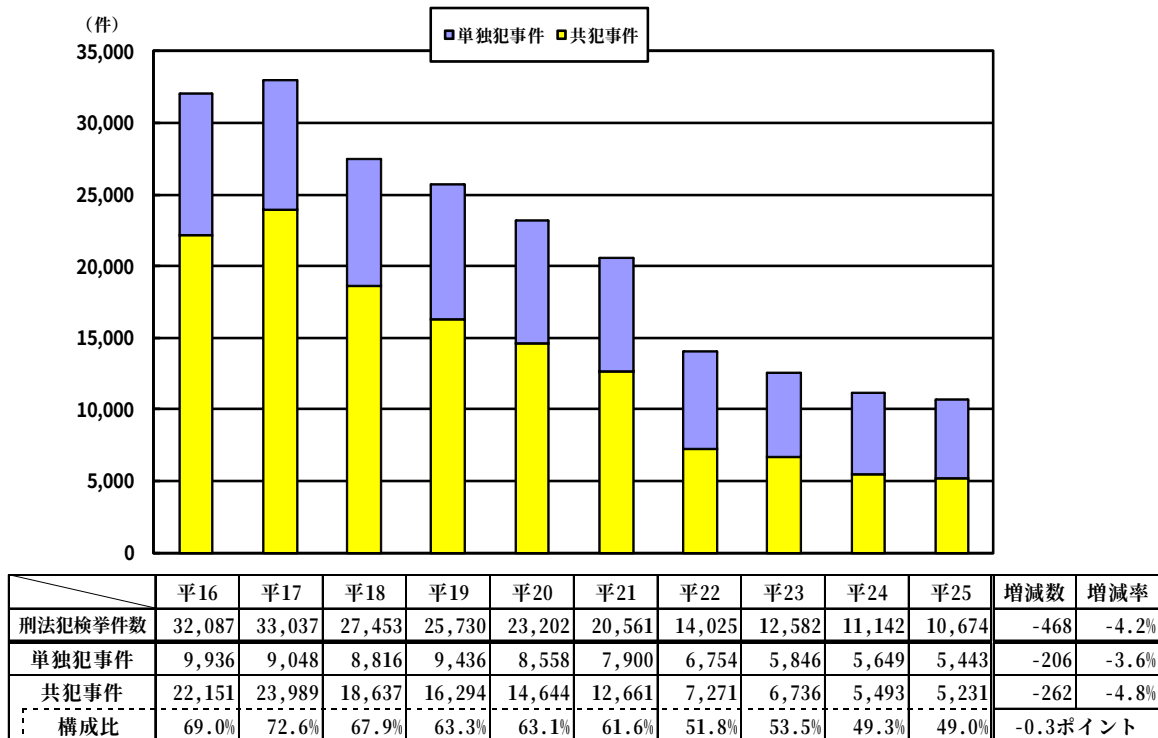
注：「中国」に「台湾」、「香港等」は含まない。

(3) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況

刑法犯検挙件数に占める共犯事件の割合は49.0%で、日本人の検挙件数に占める共犯事件の割合(13.2%)と比べ約3.7倍と、依然として共犯率が高い。

罪種別にみると、窃盗犯(59.7%)での共犯率が高く、特に住宅対象の侵入盗(96.3%)の共犯率が高い(図表2-11-(3)-1、2)。

図表2-11-(3)-1 来日外国人の刑法犯検挙件数に占める共犯事件の推移



図表2-11-(3)-2 刑法犯検挙件数の罪種等別・共犯形態(来日外国人・日本人)

	合計	来日外国人					合計	日本人				
		単独犯	共犯	2人組	3人組	4人組以上		単独犯	共犯	2人組	3人組	4人組以上
刑法犯	10,674	5,443	5,231	2,492	1,919	820	365,483	317,321	48,162	31,126	9,714	7,322
	構成比	51.0%	49.0%	23.3%	18.0%	7.7%	構成比	86.8%	13.2%	8.5%	2.7%	2.0%
凶悪犯	128	91	37	22	10	5	4,631	4,042	589	294	143	152
	構成比	71.1%	28.9%	17.2%	7.8%	3.9%	構成比	87.3%	12.7%	6.3%	3.1%	3.3%
うち強盗	87	52	35	20	10	5	2,044	1,594	450	209	117	124
	構成比	59.8%	40.2%	23.0%	11.5%	5.7%	構成比	78.0%	22.0%	10.2%	5.7%	6.1%
窃盗犯	7,744	3,121	4,623	2,144	1,767	712	234,829	200,723	34,106	23,088	7,188	3,830
	構成比	40.3%	59.7%	27.7%	22.8%	9.2%	構成比	85.5%	14.5%	9.8%	3.1%	1.6%
うち侵入盗	2,240	153	2,087	491	1,249	347	49,976	40,991	8,985	5,934	1,870	1,181
	構成比	6.8%	93.2%	21.9%	55.8%	15.5%	構成比	82.0%	18.0%	11.9%	3.7%	2.4%
うち住宅対象	1,881	70	1,811	439	1,097	275	24,762	20,858	3,904	2,566	833	505
	構成比	3.7%	96.3%	23.3%	58.3%	14.6%	構成比	84.2%	15.8%	10.4%	3.4%	2.0%
その他	2,802	2,231	571	326	142	103	126,023	112,556	13,467	7,744	2,383	3,340
	構成比	79.6%	20.4%	11.6%	5.1%	3.7%	構成比	89.3%	10.7%	6.1%	1.9%	2.7%

注：来日外国人と日本人との共犯事件は、主たる被疑者の国籍等によりそれぞれ計上。

(4) 不法滞在者・正規滞在者の検挙状況

刑法犯検挙人員に占める正規滞在者の割合は 94.5%で、前年同期に比べ、0.4 ポイント上昇している。
包括罪種別では、風俗犯が正規滞在者の割合が最も多い状況となっている（図表 2－11－(4)）。

図表 2－11－(4) 来日外国人の包括罪種等別・在留資格別検挙人員の比較

		刑 法 犯												
			凶悪犯	殺人	強盗	うち 侵入強盗	放火	強姦	粗暴犯	窃盗犯	うち 侵入窃盗	知能犯	風俗犯	その他
平成25年	検挙人員	5,620	120	17	86	20	4	13	1,033	2,812	158	539	81	1,035
	正規滞在	5,313	104	16	72	12	4	12	990	2,661	124	477	79	1,002
	構成比	94.5%	86.7%	94.1%	83.7%	60.0%	100.0%	92.3%	95.8%	94.6%	78.5%	88.5%	97.5%	96.8%
	日本人の配偶者等	1,008	17	4	9	0	2	2	279	397	14	175	16	124
	興行	14	0	0	0	0	0	0	6	3	0	1	0	4
	短期滞在	321	12	0	11	1	0	1	54	168	10	19	6	62
	留学	1,062	9	1	7	1	0	1	125	538	23	98	9	283
	研修	155	0	0	0	0	0	0	15	116	2	9	1	14
	技能実習	384	13	5	5	0	0	3	22	269	7	26	4	50
	定住者	1,227	30	1	23	10	2	4	287	587	46	87	14	222
	その他	1,142	23	5	17	0	0	1	202	583	22	62	29	243
	不法滞在	307	16	1	14	8	0	1	43	151	34	62	2	33
	構成比	5.5%	13.3%	5.9%	16.3%	40.0%	0.0%	7.7%	4.2%	5.4%	21.5%	11.5%	2.5%	3.2%
平成24年	刑 法 犯													
	検挙人員	5,423	133	27	84	27	4	18	978	2,721	171	470	83	1,038
	正規滞在	5,102	118	26	71	25	3	18	958	2,542	128	397	79	1,008
	構成比	94.1%	88.7%	96.3%	84.5%	92.6%	75.0%	100.0%	98.0%	93.4%	74.9%	84.5%	95.2%	97.1%
	日本人の配偶者等	1,088	18	5	10	6	0	3	283	469	25	176	8	134
	興行	11	2	1	0	0	0	1	3	2	0	0	0	4
	短期滞在	317	4	0	4	3	0	0	62	166	13	16	9	60
	留学	853	9	2	5	0	1	1	82	408	20	73	10	271
	研修	203	6	1	5	0	0	0	11	161	6	4	0	21
	技能実習	218	7	4	3	1	0	0	14	172	4	4	0	21
	定住者	1,252	46	4	34	15	2	6	289	618	48	63	17	219
	その他	1,160	26	9	10	0	0	7	214	546	12	61	35	278
	不法滞在	321	15	1	13	2	1	0	20	179	43	73	4	30
	構成比	5.9%	11.3%	3.7%	15.5%	7.4%	25.0%	0.0%	2.0%	6.6%	25.1%	15.5%	4.8%	2.9%

12 暴力団による犯罪

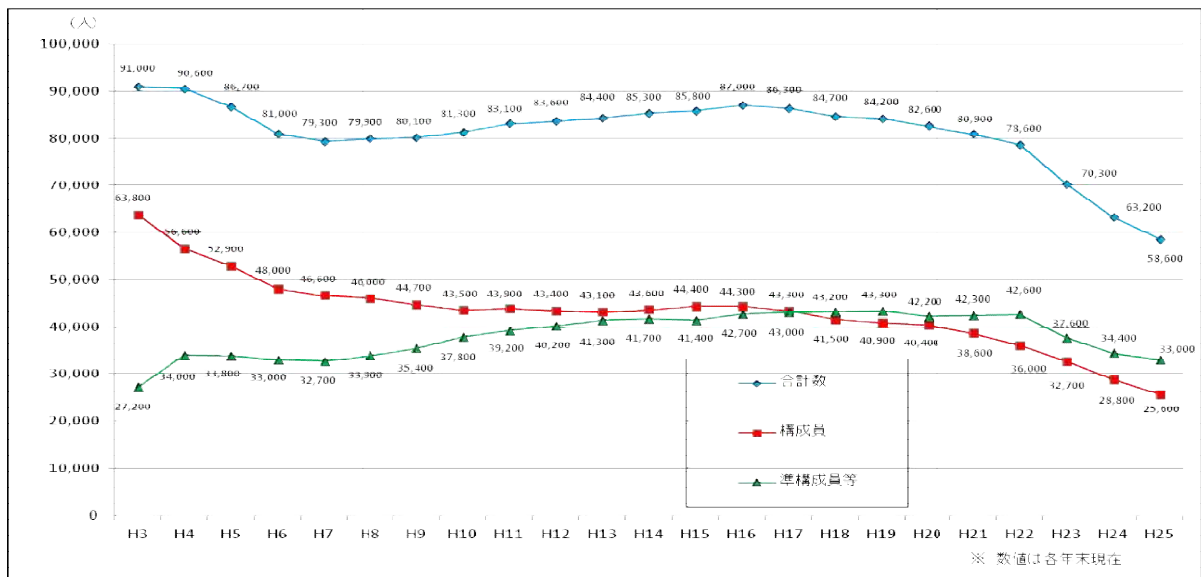
(1) 暴力団構成員等の状況

暴力団構成員及び準構成員等（以下、この項において「暴力団構成員等」という。）の数は、平成25年末現在約5万8,600人で、前年と比べ、約4,600人減少した。うち、暴力団構成員の数は約2万5,600人で、前年に比べ約3,200人減少し、準構成員等の数も約3万3,000人で、前年に比べ約1,400人減少した（図表2-12-(1)-1）。

また、主要3団体（六代目山口組、住吉会、稲川会）の暴力団構成員等の数は約4万2,300人（全暴力団構成員等の72.2%）で、このうち暴力団構成員の数は約1万9,100人（全暴力団構成員の74.6%）であり、主要3団体による寡占状態が続いている。

中でも山口組は、前年に比べ暴力団構成員等の数は減少しているものの、全暴力団構成員等の数の約43.9%（うち構成員については全暴力団構成員の45.3%）を占めており、依然として一極集中の状態が顕著である（図表2-12-(1)-2）。

図表2-12-(1)-1 暴力団構成員等の推移



図表2-12-(1)-2 主要3団体の暴力団構成員等の比較

			24年末	25年末	増減(概数)	全 体 の 構 成 比
主 要 3 団 体	六代目山口組	構 成 員	13,100	11,600	-1,500	43.9% (構成員45.3%)
		準 構 成 員 等	14,600	14,100	- 500	
		計	27,700	25,700	-2,000	
	住 吉 会	構 成 員	5,000	4,200	- 800	16.3% (構成員16.4%)
		準 構 成 員 等	5,500	5,300	- 200	
		計	10,600	9,500	-1,100	
	稲 川 会	構 成 員	3,700	3,300	- 400	12.0% (構成員12.9%)
		準 構 成 員 等	3,800	3,800	0	
		計	7,600	7,000	- 600	
3団体合計		構 成 員	21,800	19,100	-2,700	72.2% (構成員74.6%)
		準 構 成 員 等	24,000	23,100	- 900	
		計	45,800	42,300	-3,500	

注：本項における暴力団構成員等の数は概数であり、増減及び構成比は概数上のものである。

(2) 暴力団構成員等の刑法犯の検挙状況

暴力団構成員等（暴力団構成員及び準構成員その他の周辺者をいう。以下同じ。）の刑法犯の検挙件数は29,948件で、前年に比べ5,405件（15.3%）減少している（図表2-12-(2)-1）。

暴力団構成員等の刑法犯の検挙人員は13,447人で、前年に比べ1,059人（7.3%）減少している。

このうち構成員の検挙人員は3,725人で、前年に比べ60人（1.6%）減少している（図表2-12-(2)-2、3）。

また、暴力団構成員等の刑法犯の検挙人員を罪種別でみると、傷害が2,807人（構成比20.9%）と最も多く、次いで窃盗が2,470人（同18.4%）、詐欺が2,321人（同17.3%）、恐喝が1,084人（同8.1%）の順になっている（図表2-12-(2)-2）。

図表2-12-(2)-1 暴力団構成員等の罪種別検挙件数の推移

罪種	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件数	率(%)
刑	殺 人	173	146	126	130	125	132	121	108	87	78	-9	-10.3
	強 盗	413	413	440	411	388	473	366	387	378	299	-79	-20.9
	放 火	38	34	52	45	45	29	45	37	27	37	10	37.0
	強 姦	99	110	108	127	95	102	68	94	63	62	-1	-1.6
	凶 器 準 備 集 合	11	6	3	6	4	3	2	0	1	3	2	200.0
	暴 行	1,074	1,166	1,313	1,278	1,257	1,172	1,181	1,237	1,183	1,123	-60	-5.1
	傷 害	3,208	3,125	3,308	3,030	2,782	2,605	2,620	2,609	2,641	2,367	-274	-10.4
	脅 迫	423	468	551	505	554	511	513	561	599	574	-25	-4.2
	恐 喝	1,999	1,921	1,968	1,688	1,578	1,403	1,357	1,181	1,028	891	-137	-13.3
	窃 盗	23,640	25,930	27,023	27,914	27,675	24,749	23,667	24,916	22,605	18,354	-4,251	-18.8
法	詐 欺	3,148	3,362	3,537	3,733	3,938	4,590	3,356	4,592	3,032	3,077	45	1.5
	横 領	105	99	102	104	125	86	92	104	86	74	-12	-14.0
	文 書 偽 造	698	457	602	573	838	760	510	444	356	366	10	2.8
	賭 博	136	138	127	304	154	277	143	132	297	70	-227	-76.4
	わいせつ物頒布等	102	135	144	127	146	140	130	129	84	63	-21	-25.0
	公 務 執 行 妨 害	556	536	606	564	488	491	545	586	509	465	-44	-8.6
	うち公契約関係競売等妨害	40	22	10	17	12	8	6	6	5	1	-4	-80.0
	犯 人 蔵 匿	57	45	68	54	43	58	50	38	28	43	15	53.6
	証 人 威 迫	3	11	9	3	4	2	5	6	6	6	0	0.0
	逮 捕 監 禁	205	181	168	146	126	148	132	110	100	98	-2	-2.0
犯	信用毀損・威力業務妨害	52	53	51	57	44	36	27	37	37	27	-10	-27.0
	器 物 損 壊	876	966	965	849	960	859	845	975	902	758	-144	-16.0
	暴 力 行 為	70	49	43	30	13	44	46	40	25	15	-10	-40.0
	そ の 他 刑 法 犯	1,858	1,726	1,429	1,324	1,218	1,387	1,548	1,292	1,279	1,098	-181	-14.2
	刑 法 犯 合 計	38,944	41,077	42,743	43,002	42,600	40,057	37,369	39,615	35,353	29,948	-5,405	-15.3

図表 2-12-(2)-2 暴力団構成員等の罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												人数	率(%)
刑	殺 人	310	258	183	188	220	204	178	133	102	119	17	16.7
	強 盗	727	696	593	541	534	581	560	482	463	357	-106	-22.9
	放 火	61	42	40	22	44	30	33	33	17	31	14	82.4
	強 姦	137	114	103	103	94	95	70	84	57	67	10	17.5
	凶 器 準 備 集 合	92	39	31	14	13	3	4	0	3	3	0	0.0
	暴 行	1,233	1,297	1,376	1,210	1,235	1,165	1,130	1,167	1,126	1,048	-78	-6.9
	傷 害	4,319	3,972	3,881	3,580	3,219	3,123	3,016	3,040	2,970	2,807	-163	-5.5
	脅 迫	487	543	612	545	625	543	536	589	617	595	-22	-3.6
	恐 喝	2,808	2,619	2,523	2,175	2,013	1,800	1,684	1,559	1,334	1,084	-250	-18.7
	窃 盗	3,265	3,198	3,139	3,050	3,028	3,136	3,329	3,538	2,794	2,470	-324	-11.6
法	詐 欺	1,821	1,712	1,785	1,743	1,846	2,072	1,960	2,077	2,190	2,321	131	6.0
	横 領	108	86	97	83	99	64	82	94	79	71	-8	-10.1
	文 書 偽 造	323	243	309	308	353	350	317	330	256	306	50	19.5
	賭 博	837	845	685	648	639	789	652	405	511	294	-217	-42.5
	わいせつ物頒布等	128	202	197	157	197	191	154	161	96	87	-9	-9.4
	公 務 執 行 妨 害	569	525	488	518	457	433	450	464	387	369	-18	-4.7
	うち公契約関係競売等妨害	98	57	22	72	51	21	11	14	4	3	-1	-25.0
	犯 人 蔵 匿	69	61	84	72	47	78	58	55	31	52	21	67.7
	証 人 威 迫	3	16	8	2	5	2	5	7	5	7	2	40.0
	逮 捕 監 禁	414	336	299	276	239	278	202	198	201	167	-34	-16.9
犯	信用毀損・威力業務妨害	102	88	63	83	62	41	49	58	44	52	8	18.2
	器 物 損 壊	637	642	631	535	547	509	479	538	510	435	-75	-14.7
	暴 力 行 為	126	71	82	47	22	71	77	43	37	27	-10	-27.0
	そ の 他 刑 法 犯	896	1,024	807	721	704	754	757	750	676	678	2	0.3
	刑 法 犯 合 計	19,472	18,629	18,016	16,621	16,242	16,312	15,782	15,805	14,506	13,447	-1,059	-7.3

図表 2-12-(2)-3 暴力団構成員の罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												人数	率(%)
刑	殺 人	156	108	77	97	106	100	62	35	26	44	18	69.2
	強 盗	189	177	163	163	138	153	127	120	81	78	-3	-3.7
	放 火	16	12	12	4	11	1	7	6	4	0	-4	-100.0
	強 姦	33	24	23	24	13	15	18	13	11	12	1	9.1
	凶 器 準 備 集 合	16	26	15	11	9	3	2	0	2	1	-1	-50.0
	暴 行	446	446	476	404	411	356	362	302	318	297	-21	-6.6
	傷 害	1,539	1,436	1,450	1,305	1,071	1,029	919	888	803	762	-41	-5.1
	脅 迫	236	275	322	273	309	268	241	274	253	229	-24	-9.5
	恐 喝	1,358	1,232	1,197	1,005	1,006	799	802	741	572	462	-110	-19.2
	窃 盗	739	658	634	610	617	509	527	492	377	363	-14	-3.7
法	詐 欺	483	485	540	510	518	530	446	654	734	837	103	14.0
	横 領	31	24	26	20	30	11	17	17	12	14	2	16.7
	文 書 偽 造	111	100	111	83	113	114	104	94	84	107	23	27.4
	賭 博	90	97	66	107	107	133	81	26	49	56	7	14.3
	わいせつ物頒布等	8	15	8	12	22	20	6	14	7	3	-4	-57.1
	公 務 執 行 妨 害	180	135	137	121	114	102	101	74	80	83	3	3.8
	うち公契約関係競売等妨害	36	25	5	4	4	4	4	2	2	0	-2	-100.0
	犯 人 蔵 匿	33	27	46	31	19	18	15	21	16	20	4	25.0
	証 人 威 迫	3	10	5	2	3	1	3	6	1	5	4	400.0
	逮 捕 監 禁	182	165	115	136	103	147	71	51	74	55	-19	-25.7
犯	信用毀損・威力業務妨害	36	27	29	33	27	18	10	19	15	8	-7	-46.7
	器 物 損 壊	198	209	230	169	157	152	110	105	107	104	-3	-2.8
	暴 力 行 為	75	31	52	20	13	38	34	21	14	15	1	7.1
	そ の 他 刑 法 犯	303	324	253	228	204	186	169	153	145	170	25	17.2
	刑 法 犯 合 計	6,461	6,043	5,987	5,368	5,121	4,703	4,234	4,126	3,785	3,725	-60	-1.6

13 女性・子供・高齢者を主たる被害者とする犯罪

(1) 女性を主たる被害者とする犯罪

ア 女性の犯罪被害の状況

刑法犯に係る女性の被害件数(「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。)は35万491件で、刑法犯被害件数に占める女性の割合は33.3%となっている(図表2-13-(1)-1)。

女性の被害件数を主な罪種別にみると、窃盗が25万6,715件(女性の被害全体の73.2%)で最も多く、次いで詐欺が1万3,963件(同4.0%)、暴行が1万1,883件(同3.4%)、傷害が8,966件(同2.6%)、強制わいせつが7,463件(同2.1%)となっている。

また、強姦、強制わいせつ及び公然わいせつのほか、女性が被害者となる割合の高い罪種についてみると、略取誘拐(74.6%)、詐欺(54.3%)、脅迫(48.2%)等が全刑法犯被害件数に占める女性の割合(33.3%)より高くなっている(図表2-13-(1)-2)。

注：「略取誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む(以下同じ)。

図表2-13-(1)-1 女性の刑法犯被害件数

区分 \ 年次		平24	平25	増減	
				件数	率(%)
全刑法犯	被害件数	1,092,178	1,052,567	-39,611	-3.6
	女性	363,534	350,491	-13,043	-3.6
	(割合%)	33.3	33.3	0.0	ポイント
	男性	728,644	702,076	-26,568	-3.6
	(割合%)	66.7	66.7	0.0	ポイント

図表 2-13-(1)-2 罪種別被害状況

区分 \ 年次		平24	平25	増減	
				件数	率 (%)
殺人	被害件数	1,022	930	-92	-9.0
	うち女性	428	388	-40	-9.3
	(割合%)	41.9	41.7	-0.2 ポイント	
強盗	被害件数	3,400	3,101	-299	-8.8
	うち女性	1,393	1,286	-107	-7.7
	(割合%)	41.0	41.5	0.5 ポイント	
強姦	被害件数	1,240	1,410	170	13.7
	うち女性	1,240	1,410	170	13.7
	(割合%)	100.0	100.0	0.0 ポイント	
暴行	被害件数	31,802	31,597	-205	-0.6
	うち女性	11,968	11,883	-85	-0.7
	(割合%)	37.6	37.6	0.0 ポイント	
傷害	被害件数	27,962	27,908	-54	-0.2
	うち女性	8,952	8,966	14	0.2
	(割合%)	32.0	32.1	0.1 ポイント	
脅迫	被害件数	3,191	3,401	210	6.6
	うち女性	1,540	1,638	98	6.4
	(割合%)	48.3	48.2	-0.1 ポイント	
恐喝	被害件数	4,102	3,571	-531	-12.9
	うち女性	532	525	-7	-1.3
	(割合%)	13.0	14.7	1.7 ポイント	
窃盗	被害件数	834,259	794,533	-39,726	-4.8
	うち女性	272,220	256,715	-15,505	-5.7
	(割合%)	32.6	32.3	-0.3 ポイント	
詐欺	被害件数	20,477	25,728	5,251	25.6
	うち女性	10,986	13,963	2,977	27.1
	(割合%)	53.7	54.3	0.6 ポイント	
強制わいせつ	被害件数	7,263	7,672	409	5.6
	うち女性	7,087	7,463	376	5.3
	(割合%)	97.6	97.3	-0.3 ポイント	
公然わいせつ	被害件数	1,015	1,232	217	21.4
	うち女性	942	1,158	216	22.9
	(割合%)	92.8	94.0	1.2 ポイント	
逮捕監禁	被害件数	309	305	-4	-1.3
	うち女性	149	145	-4	-2.7
	(割合%)	48.2	47.5	-0.7 ポイント	
略取誘拐	被害件数	188	185	-3	-1.6
	うち女性	160	138	-22	-13.8
	(割合%)	85.1	74.6	-10.5 ポイント	

イ 年齢層別の犯罪被害の状況

女性の被害件数を年齢層別に人口 10 万人当たり(以下「人口当たり」という。)でみると、20 歳代が 1,197.56 件で最も多く、次いで 20 歳未満の 645.45 件、30 歳代の 623.03 件、40 歳代の 555.45 件、50 歳代の 422.28 件、60 歳代の 353.61 件、70 歳以上の 264.84 件の順となっている。

また、罪種別に被害に遭う割合の高い年齢層について人口当たりでみると、強盗、強姦、暴行、傷害、脅迫、恐喝、窃盗、強制わいせつ及び逮捕監禁では 20 歳代が高く、公然わいせつ及び略取誘拐では 20 歳未満が高くなっている。さらに、殺人及び詐欺では 70 歳以上が高くなっている(図表 2-13-(1)-3)。

図表 2-13-(1)-3 年齢層別の犯罪被害件数(平成 25 年)

年齢層	罪種	合計	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕監禁	略取誘拐	その他
被害件数		1,052,567	930	3,101	1,410	31,597	27,908	3,401	3,571	794,533	25,728	7,672	1,232	305	185	150,994
	人口当	826.85	0.73	2.44	1.11	24.82	21.92	2.67	2.81	624.15	20.21	6.03	0.97	0.24	0.15	118.61
女性計		350,491	388	1,286	1,410	11,883	8,966	1,638	525	256,715	13,963	7,463	1,158	145	138	44,813
	人口当	536.02	0.59	1.97	2.16	18.17	13.71	2.51	0.80	392.60	21.35	11.41	1.77	0.22	0.21	68.53
20歳未満		70,638	42	143	557	2,556	1,200	277	113	57,847	262	3,789	559	42	118	3,133
	人口当	645.45	0.38	1.31	5.09	23.36	10.96	2.53	1.03	528.57	2.39	34.62	5.11	0.38	1.08	28.63
20歳代		76,500	31	415	630	3,313	2,253	452	134	56,118	1,307	2,718	299	60	16	8,754
	人口当	1,197.56	0.49	6.50	9.86	51.86	35.27	7.08	2.10	878.49	20.46	42.55	4.68	0.94	0.25	137.04
30歳代		51,238	40	171	143	2,290	1,951	326	79	35,835	1,133	623	164	21	2	8,460
	人口当	623.03	0.49	2.08	1.74	27.85	23.72	3.96	0.96	435.74	13.78	7.58	1.99	0.26	0.02	102.87
40歳代		49,746	55	160	52	1,825	1,708	278	82	35,083	1,182	210	77	13	1	9,020
	人口当	555.45	0.61	1.79	0.58	20.38	19.07	3.10	0.92	391.73	13.20	2.34	0.86	0.15	0.01	100.71
50歳代		32,748	32	123	19	845	829	154	54	23,428	997	76	35	7	1	6,148
	人口当	422.28	0.41	1.59	0.25	10.90	10.69	1.99	0.70	302.10	12.86	0.98	0.45	0.09	0.01	79.28
60歳代		33,388	62	134	8	597	525	96	37	24,467	2,362	24	17	1	0	5,058
	人口当	353.61	0.66	1.42	0.08	6.32	5.56	1.02	0.39	259.13	25.02	0.25	0.18	0.01	0.00	53.57
70歳以上		36,233	126	140	1	457	500	55	26	23,937	6,720	23	7	1	0	4,240
	人口当	264.84	0.92	1.02	0.01	3.34	3.65	0.40	0.19	174.97	49.12	0.17	0.05	0.01	0.00	30.99
男性計		702,076	542	1,815	0	19,714	18,942	1,763	3,046	537,818	11,765	209	74	160	47	106,181
	人口当	1,134.05	0.88	2.93	0.00	31.84	30.60	2.85	4.92	868.72	19.00	0.34	0.12	0.26	0.08	171.51

注 1: 「人口当」は、人口 10 万人当たりの認知件数である。

注 2: 人口は、総務省統計局の推計人口(平成 25 年 10 月 1 日現在)による。

ウ 場所別被害の発生状況

罪種別に女性が被害に遭う割合の高い場所(「その他」を除く。)をみると、強盗、暴行、強制わいせつ、公然わいせつ、逮捕監禁及び略取誘拐については道路上、殺人、脅迫及び詐欺については一戸建住宅、強姦、傷害及び恐喝については共同住宅、窃盗については駐車(輪)場が高くなっている(図表 2-13-(1)-4)。

図表 2-13-(1)-4 罪種別・場所別被害発生件数（平成 25 年）

罪種		殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕監禁	略取誘拐
区分														
被害総数	女	388	1,286	1,410	11,883	8,966	1,638	525	256,715	13,963	7,463	1,158	145	138
	男	542	1,815	-	19,714	18,942	1,763	3,046	537,818	11,765	209	74	160	47
一戸建住宅	女	172	79	140	1,652	1,683	513	81	35,636	8,250	342	14	6	6
	男	157	68	-	915	987	354	185	77,724	4,436	13	0	14	6
共同住宅	女	119	165	494	2,432	2,762	494	109	43,920	2,809	1,450	66	43	18
	男	159	81	-	1,148	1,485	349	263	74,439	1,856	37	1	23	14
学校（幼稚園）	女	1	0	10	110	217	25	5	4,495	26	86	6	1	4
	男	3	3	-	423	938	32	42	7,578	22	5	0	1	1
道路上	女	31	546	127	3,808	1,593	126	105	35,097	344	3,227	594	40	60
	男	95	541	-	7,136	6,549	285	901	59,654	871	44	31	45	13
駐車（輪）場	女	7	73	93	549	453	64	46	76,549	149	467	150	18	18
	男	20	100	-	1,272	1,494	111	469	168,171	221	9	5	23	0
都市公園	女	2	13	52	116	136	6	8	2,016	8	237	44	2	5
	男	6	38	-	345	731	30	164	4,527	15	15	8	3	3
空き地	女	1	4	26	25	17	4	1	639	3	42	5	0	0
	男	3	2	-	57	101	4	17	2,718	2	3	1	1	0
列車内	女	0	0	0	235	46	3	1	1,792	5	303	24	0	0
	男	0	0	-	468	187	3	4	3,003	4	1	3	0	0
駅・鉄道施設	女	2	2	3	375	141	12	6	1,946	64	63	38	1	0
	男	6	6	-	1,460	594	6	49	3,467	69	7	0	0	1
その他	女	53	404	465	2,581	1,918	391	163	54,625	2,305	1,246	217	34	27
	男	93	976	-	6,490	5,876	589	952	136,537	4,269	75	25	50	9

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

エ 配偶者による暴力事件

配偶者による暴力事件（殺人、傷害及び暴行）（注）の検挙件数は、前年に比べ、13 件（0.3%）減少している（図表 2-13-(1)-5）。

注：配偶者による暴力事件には、いわゆる配偶者からの暴力事件だけでなく、例えば、殺人では嘱託殺人、保険金目的殺人等、多様なものが含まれる。

図表 2-13-(1)-5 配偶者による殺人、傷害及び暴行事件の検挙件数の推移

区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
												件数	率（%）
殺人（件）		1,224	1,224	1,155	1,052	1,120	971	944	941	884	858	-26	-2.9
	うち配偶者	206	218	179	192	200	152	184	158	153	155	2	1.3
	うち夫によるもの	127	126	117	107	126	99	114	89	93	106	13	14.0
傷害		22,716	22,962	22,921	21,589	19,724	18,991	19,093	18,591	20,590	20,444	-146	-0.7
	うち配偶者	1,198	1,342	1,353	1,346	1,339	1,282	1,523	1,415	2,183	2,154	-29	-1.3
	うち夫によるもの	1,143	1,264	1,294	1,255	1,268	1,212	1,437	1,325	2,060	2,015	-45	-2.2
	うち傷害致死	135	138	139	104	129	112	110	118	102	99	-3	-2.9
	うち配偶者	14	20	15	10	15	15	11	9	15	10	-5	-33.3
	うち夫によるもの	12	17	14	8	11	12	11	7	12	8	-4	-33.3
暴行		10,525	13,519	19,175	21,203	21,660	21,006	21,529	21,541	23,167	22,717	-450	-1.9
	うち配偶者	290	379	707	933	1,045	1,082	1,452	1,518	2,121	2,135	14	0.7
	うち夫によるもの	284	359	671	870	975	1,013	1,376	1,415	1,996	1,999	3	0.2
合計		34,465	37,705	43,251	43,844	42,504	40,968	41,566	41,073	44,641	44,019	-622	-1.4
	うち配偶者	1,694	1,939	2,239	2,471	2,584	2,516	3,159	3,091	4,457	4,444	-13	-0.3
	うち夫によるもの	1,554	1,749	2,082	2,232	2,369	2,324	2,927	2,829	4,149	4,120	-29	-0.7

注 1：解決事件を除く。

注 2：配偶者には内縁関係にある者を含む。

(2) 子供を主たる被害者とする犯罪

ア 子供の犯罪被害の状況

刑法犯に係る子供（少年、20歳未満の者をいう。以下同じ。）の被害件数（「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。）は20万921件で、刑法犯被害件数に占める子供の割合は19.1%となっている（図表2-13-(2)-1）。

子供の被害件数を主な罪種別にみると、窃盗が17万3,547件（子供の被害全体の86.4%）で最も多く、次いで暴行が5,399件（同2.7%）、傷害が5,061件（同2.5%）、強制わいせつが3,958件（同2.0%）、恐喝が1,379件（同0.7%）となっている。

また、子供が被害者となる割合の高い罪種についてみると、略取誘拐（84.9%）、強制わいせつ（51.6%）、公然わいせつ（46.5%）、強姦（39.5%）、恐喝（38.6%）等が全刑法犯被害件数に占める子供の割合（19.1%）より高くなっている（図表2-13-(2)-2）。

注：「略取誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む（以下同じ）。

図表2-13-(2)-1 子供の刑法犯被害件数

区分 \ 年次		平24	平25	増減	
				件数	率（%）
全刑法犯	被害件数	1,092,178	1,052,567	-39,611	-3.6
	少年	206,133	200,921	-5,212	-2.5
	（割合%）	18.9	19.1	0.2ポイント	
	成人	886,045	851,646	-34,399	-3.9
	（割合%）	81.1	80.9	-0.2ポイント	

図表 2-13-(2)-2 罪種別被害状況

区分 \ 年次		平24	平25	増減	
				件数	率 (%)
殺人	被害件数	1,022	930	-92	-9.0
	うち少年	110	103	-7	-6.4
	(割合%)	10.8	11.1	0.3 ポイント	
強盗	被害件数	3,400	3,101	-299	-8.8
	うち少年	342	306	-36	-10.5
	(割合%)	10.1	9.9	-0.2 ポイント	
強姦	被害件数	1,240	1,410	170	13.7
	うち少年	565	557	-8	-1.4
	(割合%)	45.6	39.5	-6.1 ポイント	
暴行	被害件数	31,802	31,597	-205	-0.6
	うち少年	5,338	5,399	61	1.1
	(割合%)	16.8	17.1	0.3 ポイント	
傷害	被害件数	27,962	27,908	-54	-0.2
	うち少年	5,337	5,061	-276	-5.2
	(割合%)	19.1	18.1	-1.0 ポイント	
脅迫	被害件数	3,191	3,401	210	6.6
	うち少年	393	438	45	11.5
	(割合%)	12.3	12.9	0.6 ポイント	
恐喝	被害件数	4,102	3,571	-531	-12.9
	うち少年	1,770	1,379	-391	-22.1
	(割合%)	43.1	38.6	-4.5 ポイント	
窃盗	被害件数	834,259	794,533	-39,726	-4.8
	うち少年	177,512	173,547	-3,965	-2.2
	(割合%)	21.3	21.8	0.5 ポイント	
詐欺	被害件数	20,477	25,728	5,251	25.6
	うち少年	528	507	-21	-4.0
	(割合%)	2.6	2.0	-0.6 ポイント	
強制わいせつ	被害件数	7,263	7,672	409	5.6
	うち少年	3,791	3,958	167	4.4
	(割合%)	52.2	51.6	-0.6 ポイント	
公然わいせつ	被害件数	1,015	1,232	217	21.4
	うち少年	483	573	90	18.6
	(割合%)	47.6	46.5	-1.1 ポイント	
逮捕監禁	被害件数	309	305	-4	-1.3
	うち少年	77	93	16	20.8
	(割合%)	24.9	30.5	5.6 ポイント	
略取誘拐	被害件数	188	185	-3	-1.6
	うち少年	156	157	1	0.6
	(割合%)	83.0	84.9	1.9 ポイント	

イ 就学別の犯罪被害の状況

子供の被害件数を就学別に人口当たりでみると、その他少年（未就学児童、小学生及び中学生を除いた少年をいう。以下同じ。）が2,277.08件で最も多く、次いで中学生の1,291.60件、小学生の302.38件、未就学児童の7.32件となっている。

また、罪種別に被害に遭う割合の高い層を就学別の人口当たりでみると、殺人及び略取誘拐以外の罪種において、その他の少年の割合が高くなっている（図表2-13-(2)-3）。

図表2-13-(2)-3 就学別の犯罪被害件数（平成25年）

区分	罪種	合計	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕監禁	略取誘拐	その他
被害件数		1,052,567	930	3,101	1,410	31,597	27,908	3,401	3,571	794,533	25,728	7,672	1,232	305	185	150,994
	人口当	826.85	0.73	2.44	1.11	24.82	21.92	2.67	2.81	624.15	20.21	6.03	0.97	0.24	0.15	118.61
少年計		200,921	103	306	557	5,399	5,061	438	1,379	173,547	507	3,958	573	93	157	8,843
	人口当	895.53	0.46	1.36	2.48	24.06	22.56	1.95	6.15	773.52	2.26	17.64	2.55	0.41	0.70	39.41
未就学		462	42	0	0	94	114	2	1	0	0	86	2	2	36	83
	人口当	7.32	0.67	0.00	0.00	1.49	1.81	0.03	0.02	0.00	0.00	1.36	0.03	0.03	0.57	1.31
小学生		20,190	26	8	47	673	330	32	61	17,395	14	936	115	6	54	493
	人口当	302.38	0.39	0.12	0.70	10.08	4.94	0.48	0.91	260.52	0.21	14.02	1.72	0.09	0.81	7.38
中学生		45,671	7	26	109	1,235	1,453	108	400	39,962	27	589	161	8	22	1,564
	人口当	1,291.60	0.20	0.74	3.08	34.93	41.09	3.05	11.31	1,130.15	0.76	16.66	4.55	0.23	0.62	44.23
その他少年		134,598	28	272	401	3,397	3,164	296	917	116,190	466	2,347	295	77	45	6,703
	人口当	2,277.08	0.47	4.60	6.78	57.47	53.53	5.01	15.51	1,965.66	7.88	39.71	4.99	1.30	0.76	113.40
成人計		851,646	827	2,795	853	26,198	22,847	2,963	2,192	620,986	25,221	3,714	659	212	28	142,151
	人口当	812.16	0.79	2.67	0.81	24.98	21.79	2.83	2.09	592.19	24.05	3.54	0.63	0.20	0.03	135.56

注1：「人口当」は、人口10万人当たりの認知件数である。

注2：人口は、総務省統計局の推計人口（平成25年10月1日現在）による。

注3：「未就学」は、総務省統計局の推計人口（平成25年10月1日現在）の0～5歳を計上した。

注4：「小学生」と「中学生」の人口は、文部科学省学校基本調査（平成25年版）による。

ウ 場所別被害の発生状況

子供の就学別に犯罪の被害に遭う割合が高い場所（「その他」を除く。）をみると、未就学児童については共同住宅、一戸建住宅及び道路上が高く、小学生、中学生については駐車（輪）場、共同住宅及び道路上が高くなっている（図表２－１３－（２）－４）。

また、罪種別に子供が被害に遭う割合が高い場所（「その他」を除く。）についてみると、強盗、暴行、傷害、恐喝、強制わいせつ、公然わいせつ、逮捕監禁及び略取誘拐については道路上、殺人、強姦及び脅迫については共同住宅、窃盗については駐車（輪）場、詐欺については一戸建住宅が高くなっている（図表２－１３－（２）－５）。

図表２－１３－（２）－４ 就学別・場所別被害発生件数（平成 25 年）

就学別 区分	総数		少年										成人	
	件数	(割合%)	件数	(割合%)	未就学	小学生	中学生	その他	件数	(割合%)	件数	(割合%)		
被害総数	1,052,567	100.0	200,921	100.0	462	100.0	20,190	100.0	45,671	100.0	134,598	100.0	851,646	100.0
一戸建住宅	162,181	15.4	15,461	7.7	59	12.8	2,518	12.5	4,759	10.4	8,125	6.0	146,720	17.2
共同住宅	161,978	15.4	24,727	12.3	147	31.8	3,764	18.6	6,025	13.2	14,791	11.0	137,251	16.1
学校（幼稚園）	15,925	1.5	8,250	4.1	26	5.6	384	1.9	1,563	3.4	6,277	4.7	7,675	0.9
道路上	138,918	13.2	30,409	15.1	47	10.2	2,948	14.6	6,986	15.3	20,428	15.2	108,509	12.7
駐車（輪）場	297,429	28.3	84,841	42.2	16	3.5	5,425	26.9	18,182	39.8	61,218	45.5	212,588	25.0
都市公園	9,731	0.9	5,330	2.7	21	4.5	2,233	11.1	1,364	3.0	1,712	1.3	4,401	0.5
空き地	4,836	0.5	818	0.4	2	0.4	68	0.3	193	0.4	555	0.4	4,018	0.5
列車内	6,430	0.6	789	0.4	4	0.9	15	0.1	56	0.1	714	0.5	5,641	0.7
駅・鉄道施設	9,267	0.9	3,148	1.6	6	1.3	44	0.2	327	0.7	2,771	2.1	6,119	0.7
その他	245,872	23.4	27,148	13.5	134	29.0	2,791	13.8	6,216	13.6	18,007	13.4	218,724	25.7

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

図表２－１３－（２）－５ 罪種別・場所別被害発生件数（平成 25 年）

罪種 区分	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕監禁	略取誘拐	その他	合計
被害総数	930	3,101	1,410	31,597	27,908	3,401	3,571	794,533	25,728	7,672	1,232	305	185	150,994	1,052,567
少年計	103	306	557	5,399	5,061	438	1,379	173,547	507	3,958	573	93	157	8,843	200,921
一戸建住宅	26	2	76	222	263	102	50	13,990	195	211	5	8	10	301	15,461
共同住宅	36	30	129	430	535	104	83	21,299	137	708	24	14	29	1,169	24,727
学校（幼稚園）	3	2	5	235	576	23	39	7,007	5	75	3	1	4	272	8,250
道路上	13	146	64	2,468	1,342	70	495	21,432	50	1,657	375	27	62	2,208	30,409
駐車（輪）場	3	24	39	324	483	23	208	80,277	12	227	31	13	16	3,161	84,841
都市公園	3	16	32	303	660	23	134	3,684	7	191	34	3	8	232	5,330
空き地	2	4	18	26	64	1	12	515	0	36	3	0	0	137	818
列車内	0	0	0	101	26	0	2	391	0	188	13	0	0	68	789
駅・鉄道施設	2	2	2	222	100	6	33	2,546	9	44	23	1	1	157	3,148
その他	15	80	192	1,068	1,012	86	323	22,406	92	621	62	26	27	1,138	27,148

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

エ 子供対象・暴力的性犯罪被害の状況

子供対象・暴力的性犯罪（13歳未満の少年が被害者となった強盗強姦、強姦、強制わいせつ（いずれも致死又は致死傷及び未遂を含む。）及びわいせつ目的略取誘拐（未遂を含む。）をいう。）の認知件数は、前年に比べ、51件（4.4%）増加している。

罪種別にみると、前年に比べ、強制わいせつは63件（6.0%）増加しているが、強姦は7件、わいせつ目的略取誘拐は5件それぞれ減少している（図表2-13-(2)-6）。

図表2-13-(2)-6 罪種別被害発生件数

区分 \ 年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	増減	
											件数	率（%）
子供対象・暴力的性犯罪	1,796	1,484	1,114	1,012	1,036	1,014	1,148	1,114	1,159	1,210	51	4.4
強盗強姦	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	-
強姦	74	72	67	81	71	53	55	65	76	69	-7	-9.2
強制わいせつ	1,679	1,384	1,015	907	936	936	1,063	1,019	1,054	1,117	63	6.0
わいせつ目的略取誘拐	43	28	32	24	28	25	30	29	29	24	-5	-17.2

(3) 高齢者を主たる被害者とする犯罪

ア 高齢者の犯罪被害の状況

刑法犯に係る高齢者の被害件数(「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。)は13万7,847件で、刑法犯被害件数に占める高齢者の割合は13.1%となっている(図表2-13-(3)-1)。

高齢者の被害件数を主な罪種別にみると、窃盗が9万7,809件(高齢者の被害全体の71.0%)で最も多く、次いで詐欺が11,728件(同8.5%)、暴行が2,218件(同1.6%)、傷害が2,079件(同1.5%)、強盗が355件(同0.3%)などとなっている。

また、高齢者が被害者となる割合の高い罪種についてみると、詐欺(45.6%)及び殺人(30.1%)が全刑法犯被害件数に占める高齢者の割合(13.1%)より高くなっている(図表2-13-(3)-2)。

注：「略取誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む(以下同じ)。

図表2-13-(3)-1 高齢者の刑法犯被害件数

区分 \ 年次		平24	平25	増減	
				件数	率(%)
全刑法犯	被害件数	1,092,178	1,052,567	-39,611	-3.6
	65歳以上 (割合%)	131,871 12.1	137,847 13.1	5,976 1.0ポイント	4.5
	64歳以下 (割合%)	960,307 87.9	914,720 86.9	-45,587 -1.0ポイント	-4.7

図表 2-13-(3)-2 罪種別被害状況

区分	年次	平24	平25	増減	
				件数	率 (%)
殺人	被害件数	1,022	930	-92	-9.0
	うち65歳以上	262	280	18	6.9
	(割合%)	25.6	30.1	4.5 ポイント	
強盗	被害件数	3,400	3,101	-299	-8.8
	うち65歳以上	381	355	-26	-6.8
	(割合%)	11.2	11.4	0.2 ポイント	
強姦	被害件数	1,240	1,410	170	13.7
	うち65歳以上	9	5	-4	-44.4
	(割合%)	0.7	0.4	-0.3 ポイント	
暴行	被害件数	31,802	31,597	-205	-0.6
	うち65歳以上	2,235	2,218	-17	-0.8
	(割合%)	7.0	7.0	0.0 ポイント	
傷害	被害件数	27,962	27,908	-54	-0.2
	うち65歳以上	2,007	2,079	72	3.6
	(割合%)	7.2	7.4	0.2 ポイント	
脅迫	被害件数	3,191	3,401	210	6.6
	うち65歳以上	244	299	55	22.5
	(割合%)	7.6	8.8	1.2 ポイント	
恐喝	被害件数	4,102	3,571	-531	-12.9
	うち65歳以上	133	137	4	3.0
	(割合%)	3.2	3.8	0.6 ポイント	
窃盗	被害件数	834,259	794,533	-39,726	-4.8
	うち65歳以上	96,658	97,809	1,151	1.2
	(割合%)	11.6	12.3	0.7 ポイント	
詐欺	被害件数	20,477	25,728	5,251	25.6
	うち65歳以上	8,471	11,728	3,257	38.4
	(割合%)	41.4	45.6	4.2 ポイント	
強制わいせつ	被害件数	7,263	7,672	409	5.6
	うち65歳以上	24	34	10	41.7
	(割合%)	0.3	0.4	0.1 ポイント	
公然わいせつ	被害件数	1,015	1,232	217	21.4
	うち65歳以上	15	18	3	20.0
	(割合%)	1.5	1.5	0.0 ポイント	
逮捕監禁	被害件数	309	305	-4	-1.3
	うち65歳以上	14	4	-10	-71.4
	(割合%)	4.5	1.3	-3.2 ポイント	
略取誘拐	被害件数	188	185	-3	-1.6
	うち65歳以上	0	2	2	-
	(割合%)	0.0	1.1	1.1 ポイント	

イ 場所別被害の発生状況

罪種別に高齢者（男女別）が被害に遭う割合の高い場所（「その他」を除く。）をみると、女性の殺人、強姦、暴行、傷害、脅迫、恐喝、窃盗犯、詐欺及び強制わいせつについては一戸建住宅、強盗及び公然わいせつについては道路上が高くなっている。

また、男性の殺人、強盗、傷害、脅迫、恐喝、窃盗及び詐欺については一戸建住宅、逮捕監禁については共同住宅、暴行については道路上が高くなっている（図表２－13－(3)－３）。

図表２－13－(3)－３ 罪種別・場所別被害発生件数（平成 25 年）

罪種 区分		殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制 わいせつ	公然 わいせつ	逮捕 監禁	略取 誘拐
被害総数	女	159	187	5	727	727	101	43	35,451	8,169	33	14	2	0
	男	121	168	-	1,491	1,352	198	94	62,358	3,559	1	4	2	2
一戸建住宅	女	102	42	3	311	310	52	18	10,971	5,881	11	0	0	0
	男	53	33	-	267	277	95	28	19,421	2,199	0	0	0	0
共同住宅	女	31	9	1	126	154	24	8	3,184	1,256	8	1	0	0
	男	36	12	-	120	173	26	9	4,916	384	0	0	2	0
学校（幼稚園）	女	0	0	0	0	1	0	0	59	3	0	0	0	0
	男	0	0	-	1	3	1	0	85	1	0	0	0	0
道路上	女	8	85	0	102	105	7	7	5,558	190	5	6	1	0
	男	10	52	-	539	446	23	18	5,941	227	1	2	0	2
駐車（輪）場	女	1	2	0	13	22	2	2	4,651	28	0	2	0	0
	男	3	9	-	89	61	8	0	11,178	33	0	0	0	0
都市公園	女	0	0	0	5	3	0	0	183	4	1	1	0	0
	男	1	2	-	14	23	0	0	297	3	0	0	0	0
空き地	女	1	0	0	5	1	1	0	125	1	0	0	0	0
	男	1	0	-	8	3	0	0	577	0	0	0	0	0
列車内	女	0	0	0	4	0	0	0	58	0	0	0	0	0
	男	0	0	-	13	5	0	0	85	0	0	0	0	0
駅・鉄道施設	女	0	0	0	8	7	1	1	143	24	0	0	0	0
	男	1	1	-	25	12	0	4	131	19	0	0	0	0
その他	女	16	49	1	153	124	14	7	10,519	782	8	4	1	0
	男	16	59	-	415	349	45	35	19,727	693	0	2	0	0

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

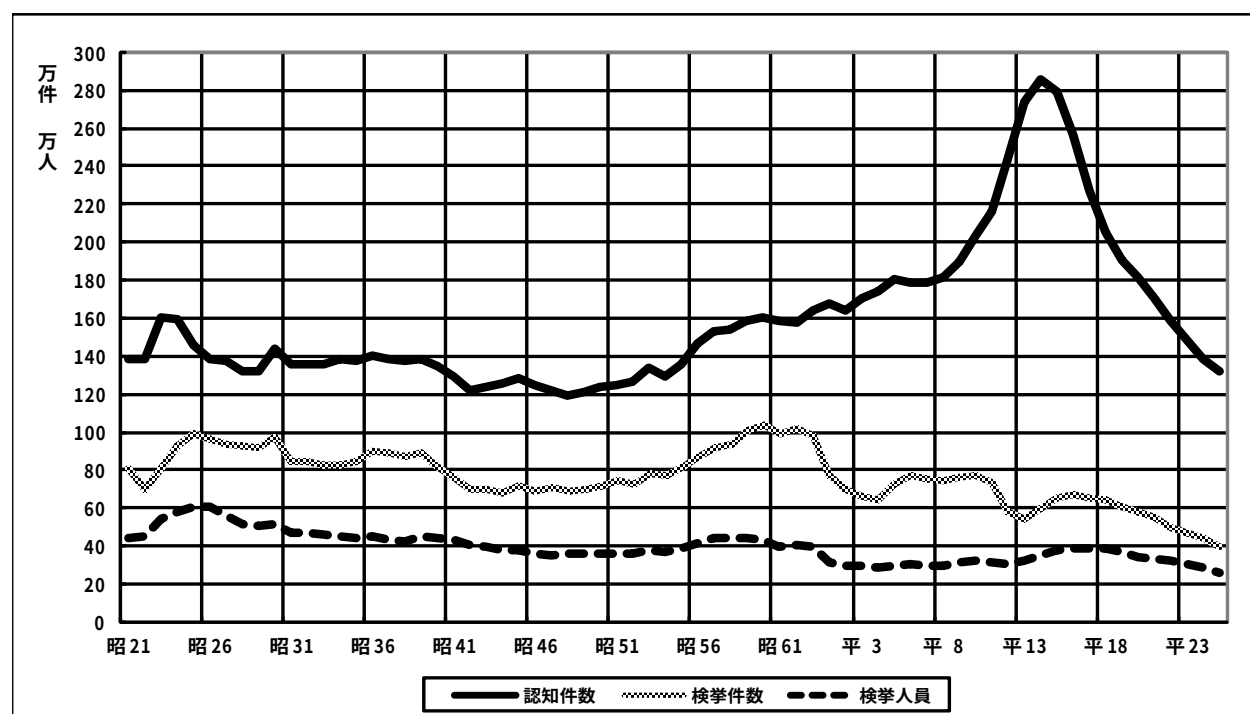
第 3 資料

図表 3 - 1 刑法犯の認知・検挙状況の推移

年次	認知件数(件)	検挙件数(件)	検挙人員(人)
昭 21	1,384,222	800,431	442,579
昭 22	1,382,210	693,845	455,097
昭 23	1,599,968	808,619	546,991
昭 24	1,597,891	920,855	579,897
昭 25	1,461,044	991,107	607,769
昭 26	1,387,289	962,455	606,686
昭 27	1,377,273	931,863	557,521
昭 28	1,317,141	927,012	519,707
昭 29	1,324,333	916,804	503,063
昭 30	1,435,652	968,626	515,480
昭 31	1,354,102	842,660	470,522
昭 32	1,354,429	838,210	471,600
昭 33	1,353,930	818,715	457,212
昭 34	1,382,792	825,511	454,898
昭 35	1,378,817	841,718	442,527
昭 36	1,400,915	892,547	451,586
昭 37	1,384,784	885,465	430,153
昭 38	1,377,476	868,207	425,473
昭 39	1,385,358	885,168	449,842
昭 40	1,343,625	812,996	440,563
昭 41	1,293,877	756,230	433,545
昭 42	1,219,840	692,913	402,738
昭 43	1,234,198	697,407	393,831
昭 44	1,253,950	675,183	377,826
昭 45	1,279,787	710,078	380,850
昭 46	1,244,168	690,027	361,972
昭 47	1,223,546	700,378	348,788
昭 48	1,190,549	688,328	357,738
昭 49	1,211,005	696,535	363,309
昭 50	1,234,307	713,031	364,117
昭 51	1,247,631	743,048	359,360
昭 52	1,268,430	723,509	363,144
昭 53	1,336,922	779,697	381,742
昭 54	1,289,405	765,945	368,126

年次	認知件数(件)	検挙件数(件)	検挙人員(人)
昭 55	1,357,461	811,189	392,113
昭 56	1,463,228	870,513	418,162
昭 57	1,528,779	916,058	441,963
昭 58	1,540,717	929,321	438,705
昭 59	1,588,693	1,002,923	446,617
昭 60	1,607,697	1,032,879	432,250
昭 61	1,581,411	990,650	399,886
昭 62	1,577,954	1,012,076	404,762
昭 63	1,641,310	982,165	398,208
平 元	1,673,268	772,320	312,992
平 2	1,636,628	692,593	293,264
平 3	1,707,877	654,538	296,158
平 4	1,742,366	636,290	284,908
平 5	1,801,150	723,610	297,725
平 6	1,784,432	767,844	307,965
平 7	1,782,944	753,174	293,252
平 8	1,812,119	735,881	295,584
平 9	1,899,564	759,609	313,573
平 10	2,033,546	772,282	324,263
平 11	2,165,626	731,284	315,355
平 12	2,443,470	576,771	309,649
平 13	2,735,612	542,115	325,292
平 14	2,853,739	592,359	347,558
平 15	2,790,136	648,319	379,602
平 16	2,562,767	667,620	389,027
平 17	2,269,293	649,503	386,955
平 18	2,050,850	640,657	384,250
平 19	1,908,836	605,358	365,577
平 20	1,818,023	573,392	339,752
平 21	1,703,044	544,699	332,888
平 22	1,585,856	497,356	322,620
平 23	1,480,760	462,535	305,631
平 24	1,382,121	437,612	287,021
平 25	1,320,678	394,123	262,486

注：道路上の交通事故に係る業務上（重）過失致死傷及び危険運転致死傷（昭和40年以前は、すべての業務上（重）過失致死傷）を除く。



図表 3-2 刑法犯の

区分 \ 年次		平16	平17	平18	平19	平20
人口（10万人）		1,277	1,278	1,278	1,278	1,277
刑法犯総数	認知件数	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,818,023
	犯 罪 率	2,006.9	1,775.7	1,604.7	1,493.6	1,423.7
重要犯罪	認知件数	22,568	20,388	18,649	16,922	15,847
	犯 罪 率	17.7	16.0	14.6	13.2	12.4
重要窃盗犯	認知件数	407,929	338,967	282,047	241,425	210,103
	犯 罪 率	319.4	265.2	220.7	188.9	164.5
凶悪犯	認知件数	13,064	11,360	10,124	9,051	8,581
	犯 罪 率	10.2	8.9	7.9	7.1	6.7
殺人	認知件数	1,419	1,392	1,309	1,199	1,297
	犯 罪 率	1.1	1.1	1.0	0.9	1.0
強盗	認知件数	7,295	5,988	5,108	4,567	4,278
	犯 罪 率	5.7	4.7	4.0	3.6	3.4
放火	認知件数	2,174	1,904	1,759	1,519	1,424
	犯 罪 率	1.7	1.5	1.4	1.2	1.1
強姦	認知件数	2,176	2,076	1,948	1,766	1,582
	犯 罪 率	1.7	1.6	1.5	1.4	1.2
粗暴犯	認知件数	76,616	73,772	76,303	72,908	68,948
	犯 罪 率	60.0	57.7	59.7	57.0	54.0
うち) 暴行	認知件数	23,691	25,815	31,002	31,966	31,641
	犯 罪 率	18.6	20.2	24.3	25.0	24.8
うち) 傷害	認知件数	35,937	34,484	33,987	30,986	28,291
	犯 罪 率	28.1	27.0	26.6	24.2	22.2
うち) 恐喝	認知件数	14,424	10,978	8,636	7,384	6,349
	犯 罪 率	11.3	8.6	6.8	5.8	5.0
窃盗犯	認知件数	1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956	1,372,840
	犯 罪 率	1,551.7	1,349.8	1,200.7	1,118.9	1,075.1
侵入盗	認知件数	290,595	244,776	205,463	175,728	155,047
	犯 罪 率	227.6	191.5	160.8	137.5	121.4
乗り物盗	認知件数	629,722	556,987	517,815	510,162	501,331
	犯 罪 率	493.1	435.8	405.2	399.2	392.6
非侵入盗	認知件数	1,061,257	923,309	811,250	744,066	716,462
	犯 罪 率	831.1	722.5	634.8	582.2	561.1
知能犯	認知件数	99,258	97,500	84,271	75,999	73,252
	犯 罪 率	77.7	76.3	65.9	59.5	57.4
うち) 詐欺	認知件数	83,015	85,596	74,632	67,787	64,427
	犯 罪 率	65.0	67.0	58.4	53.0	50.5
風俗犯	認知件数	12,346	12,085	11,932	11,184	10,559
	犯 罪 率	9.7	9.5	9.3	8.8	8.3
うち) 強制わいせつ	認知件数	9,184	8,751	8,326	7,664	7,111
	犯 罪 率	7.2	6.8	6.5	6.0	5.6
その他の刑法犯	認知件数	379,909	349,504	333,692	309,738	283,843
	犯 罪 率	297.5	273.5	261.1	242.4	222.3

注 1：犯罪率は、人口10万人当たりの認知件数をいう。

注 2：人口は、総務省統計局の推計人口（各年10月1日現在）を四捨五入し、10万人単位にした数値である。

罪種別犯罪率の推移

平21	平22	平23	平24	平25	年次	区分
1,275	1,281	1,278	1,275	1,273	人口（10万人）	
1,703,044	1,585,856	1,480,760	1,382,121	1,320,678	認知件数	刑法犯総数
1,335.7	1,238.0	1,158.7	1,084.0	1,037.5	犯 罪 率	
15,158	14,788	14,013	14,412	14,623	認知件数	重要犯罪
11.9	11.5	11.0	11.3	11.5	犯 罪 率	
200,572	181,134	168,996	151,762	142,495	認知件数	重要窃盗犯
157.3	141.4	132.2	119.0	111.9	犯 罪 率	
8,314	7,576	6,996	6,961	6,766	認知件数	凶悪犯
6.5	5.9	5.5	5.5	5.3	犯 罪 率	
1,094	1,067	1,051	1,030	938	認知件数	殺人
0.9	0.8	0.8	0.8	0.7	犯 罪 率	
4,512	4,029	3,673	3,658	3,328	認知件数	強盗
3.5	3.1	2.9	2.9	2.6	犯 罪 率	
1,306	1,191	1,087	1,033	1,090	認知件数	放火
1.0	0.9	0.9	0.8	0.9	犯 罪 率	
1,402	1,289	1,185	1,240	1,410	認知件数	強姦
1.1	1.0	0.9	1.0	1.1	犯 罪 率	
63,995	63,646	61,698	67,183	66,610	認知件数	粗暴犯
50.2	49.7	48.3	52.7	52.3	犯 罪 率	
29,638	29,593	29,237	31,802	31,597	認知件数	うち) 暴行
23.2	23.1	22.9	24.9	24.8	犯 罪 率	
26,464	26,547	25,832	27,962	27,908	認知件数	うち) 傷害
20.8	20.7	20.2	21.9	21.9	犯 罪 率	
5,530	5,202	4,311	4,172	3,633	認知件数	うち) 恐喝
4.3	4.1	3.4	3.3	2.9	犯 罪 率	
1,299,294	1,213,442	1,133,125	1,040,447	986,272	認知件数	窃盗犯
1,019.1	947.3	886.6	816.0	774.8	犯 罪 率	
148,488	136,552	126,077	115,155	107,467	認知件数	侵入盗
116.5	106.6	98.7	90.3	84.4	犯 罪 率	
497,407	464,775	430,273	384,284	378,186	認知件数	乗り物盗
390.1	362.8	336.7	301.4	297.1	犯 罪 率	
653,399	612,115	576,775	541,008	500,619	認知件数	非侵入盗
512.5	477.8	451.3	424.3	393.3	犯 罪 率	
53,002	44,347	40,721	40,097	43,186	認知件数	知能犯
41.6	34.6	31.9	31.4	33.9	犯 罪 率	
45,162	37,516	34,599	34,678	38,326	認知件数	うち) 詐欺
35.4	29.3	27.1	27.2	30.1	犯 罪 率	
10,182	10,893	10,905	11,924	12,064	認知件数	風俗犯
8.0	8.5	8.5	9.4	9.5	犯 罪 率	
6,688	7,027	6,870	7,263	7,672	認知件数	うち) 強制わいせつ
5.2	5.5	5.4	5.7	6.0	犯 罪 率	
268,257	245,952	227,315	215,509	205,780	認知件数	その他の刑法犯
210.4	192.0	177.9	169.0	161.6	犯 罪 率	

図表 3 - 3 刑法犯の都道府県別

年次 都道府県	平 16	平 17	平 18	平 19	平 20	平 21
認知件数(件)	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,818,023	1,703,044
北海道	88,249	73,071	65,417	60,880	59,733	52,139
札幌	59,413	49,839	44,834	42,133	42,078	37,417
函館	7,920	6,115	5,457	5,556	4,864	3,845
旭川	9,042	7,567	6,304	5,860	5,730	4,581
釧路	8,912	6,740	6,364	5,379	5,110	4,688
北見	2,962	2,810	2,458	1,952	1,951	1,608
東北管区	120,581	102,900	93,986	85,364	82,349	77,356
青森	17,360	14,769	13,018	11,784	11,015	9,987
岩手	12,885	11,289	10,090	9,102	9,111	8,240
宮城	40,211	33,357	31,698	29,216	28,583	25,859
秋田	9,565	8,604	7,571	6,699	6,134	5,740
山形	11,423	10,352	9,214	8,708	7,924	8,003
福島	29,137	24,529	22,395	19,855	19,582	19,527
東京	283,326	253,912	244,611	228,805	212,152	205,708
関東管区	782,924	673,226	596,152	548,734	531,032	492,395
茨城	55,633	52,266	47,183	46,087	43,885	42,491
栃木	37,943	33,380	33,059	30,358	28,550	25,990
群馬	42,643	35,453	32,060	27,769	26,730	24,110
埼玉	181,350	157,047	136,651	126,453	122,108	113,632
千葉	147,587	131,037	115,700	105,185	100,827	96,400
神奈川	183,148	142,920	122,703	112,529	113,556	98,216
新潟	31,391	28,174	26,126	25,024	23,435	22,189
山梨	12,967	10,683	9,547	8,435	7,890	8,134
長野	29,822	26,753	22,902	21,422	21,105	20,164
静岡	60,440	55,513	50,221	45,472	42,946	41,069
中部管区	328,699	306,274	249,659	229,674	226,382	223,196
富山	14,206	13,168	11,364	10,648	10,112	8,740
石川	14,648	12,739	12,524	10,669	9,689	8,812
福井	10,060	8,324	7,422	7,193	6,740	6,369
岐阜	43,160	38,649	32,864	31,252	29,799	27,928
愛知	208,170	198,937	157,382	143,948	144,694	145,807
三重	38,455	34,457	28,103	25,964	25,348	25,540
近畿管区	520,896	485,308	453,593	426,640	398,194	362,443
滋賀	23,841	18,750	17,969	16,553	15,455	15,258
京都	63,593	57,586	54,932	52,960	50,259	44,538
大阪	255,697	249,511	232,451	216,303	201,816	182,537
兵庫	135,119	121,539	113,320	107,378	97,527	90,670
奈良	23,942	21,365	18,895	18,299	18,835	15,478
和歌山	18,704	16,557	16,026	15,147	14,302	13,962
中国管区	119,383	101,354	96,602	89,411	83,293	78,742
鳥取	8,688	7,382	6,838	6,261	6,005	5,845
島根	8,864	7,586	6,782	6,001	5,802	5,157
岡山	37,195	32,102	31,632	29,257	27,357	25,862
広島	44,325	36,938	35,022	32,696	30,129	28,853
山口	20,311	17,346	16,328	15,196	14,000	13,025
四国管区	69,488	61,117	53,704	51,319	48,144	44,851
徳島	10,552	9,655	9,111	8,518	8,451	7,389
香川	20,800	16,997	14,640	13,010	11,425	10,884
愛媛	24,654	22,167	19,001	18,626	17,829	16,827
高知	13,482	12,298	10,952	11,165	10,439	9,751
九州管区	249,221	212,131	197,126	188,009	176,744	166,214
福岡	128,545	106,805	102,101	95,207	90,356	86,057
佐賀	13,033	11,040	9,660	10,112	8,683	8,271
長崎	13,911	12,833	11,148	10,730	10,323	9,199
熊本	25,628	22,191	20,054	19,553	17,429	17,015
大分	15,482	13,035	11,823	11,567	9,840	9,495
宮崎	13,610	12,030	11,352	11,498	11,105	9,602
鹿児島	17,128	14,934	13,565	13,625	13,655	12,837
沖縄	21,884	19,263	17,423	15,717	15,353	13,738

認知件数の推移

平 22	平 23	平 24	平 25	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
1,585,856	1,480,760	1,382,121	1,320,678	-61,443	-4.4	認知件数(件)
51,226	49,263	45,489	41,066	-4,423	-9.7	北海道
37,147	35,585	31,998	29,041	-2,957	-9.2	札幌
3,794	3,610	3,389	3,046	-343	-10.1	函館
4,195	4,144	4,302	4,004	-298	-6.9	旭川
4,498	4,442	4,497	4,014	-483	-10.7	釧路
1,592	1,482	1,303	961	-342	-26.2	北見
73,970	62,345	58,284	56,385	-1,899	-3.3	東北管区
9,943	8,343	7,424	6,515	-909	-12.2	青森
7,400	6,353	6,480	5,757	-723	-11.2	岩手
24,614	20,605	19,561	19,367	-194	-1.0	宮城
5,407	4,429	4,211	3,972	-239	-5.7	秋田
7,179	6,436	5,992	6,178	186	3.1	山形
19,427	16,179	14,616	14,596	-20	-0.1	福島
195,970	186,432	172,385	162,557	-9,828	-5.7	東京
465,837	432,966	402,338	380,786	-21,552	-5.4	関東管区
41,312	38,447	36,873	35,055	-1,818	-4.9	茨城
23,500	23,067	20,369	18,924	-1,445	-7.1	栃木
22,211	20,981	20,330	18,820	-1,510	-7.4	群馬
106,228	100,253	93,157	84,154	-9,003	-9.7	埼玉
92,325	83,010	80,802	77,904	-2,898	-3.6	千葉
93,369	85,659	76,511	76,962	451	0.6	神奈川
21,227	20,566	18,503	17,320	-1,183	-6.4	新潟
7,919	7,376	7,934	7,461	-473	-6.0	山梨
18,295	17,707	15,463	14,791	-672	-4.3	長野
39,451	35,900	32,396	29,395	-3,001	-9.3	静岡
198,645	186,844	170,696	158,071	-12,625	-7.4	中部管区
7,679	6,681	6,678	6,383	-295	-4.4	富山
8,293	8,081	7,548	7,481	-67	-0.9	石川
6,058	5,674	5,432	5,285	-147	-2.7	福井
25,017	25,230	24,561	22,357	-2,204	-9.0	岐阜
128,173	118,963	104,984	96,839	-8,145	-7.8	愛知
23,425	22,215	21,493	19,726	-1,767	-8.2	三重
329,284	307,589	293,084	297,321	4,237	1.4	近畿管区
15,501	13,762	15,139	15,447	308	2.0	滋賀
42,258	37,810	32,866	31,944	-922	-2.8	京都
164,096	155,206	146,966	157,951	10,985	7.5	大阪
80,860	76,532	75,642	70,532	-5,110	-6.8	兵庫
14,444	13,325	12,170	12,337	167	1.4	奈良
12,125	10,954	10,301	9,110	-1,191	-11.6	和歌山
75,097	70,667	65,518	61,366	-4,152	-6.3	中国管区
5,189	4,941	4,313	4,279	-34	-0.8	鳥取
5,116	4,466	4,500	4,379	-121	-2.7	島根
24,097	23,872	22,005	19,824	-2,181	-9.9	岡山
28,335	25,937	23,902	22,592	-1,310	-5.5	広島
12,360	11,451	10,798	10,292	-506	-4.7	山口
42,901	39,853	35,976	34,286	-1,690	-4.7	四国管区
7,108	6,492	6,046	5,818	-228	-3.8	徳島
10,432	9,198	8,849	8,340	-509	-5.8	香川
16,672	16,156	13,999	13,598	-401	-2.9	愛媛
8,689	8,007	7,082	6,530	-552	-7.8	高知
152,926	144,801	138,351	128,840	-9,511	-6.9	九州管区
78,809	73,421	72,240	66,794	-5,446	-7.5	福岡
8,138	8,150	7,551	7,509	-42	-0.6	佐賀
8,950	8,491	8,460	7,318	-1,142	-13.5	長崎
15,309	14,045	13,104	12,836	-268	-2.0	熊本
8,691	8,197	6,999	6,290	-709	-10.1	大分
8,750	9,490	8,428	7,997	-431	-5.1	宮崎
11,392	10,604	10,503	9,276	-1,227	-11.7	鹿児島
12,887	12,403	11,066	10,820	-246	-2.2	沖縄

図表 3 - 4 刑法犯の都道府県別

年次 都道府県	平 16	平 17	平 18	平 19	平 20	平 21
検挙件数(件)	667,620	649,503	640,657	605,358	573,392	544,699
北海道	21,213	22,257	23,036	22,657	21,639	17,394
札幌	14,041	15,101	16,094	15,917	15,455	11,793
函館	2,086	1,564	1,630	1,808	1,484	1,518
旭川	2,244	3,029	2,163	2,057	1,958	1,731
釧路	1,939	1,789	2,294	1,885	2,104	1,697
北見	903	774	855	990	638	655
東北管区	38,726	36,939	34,284	31,668	30,011	28,390
青森	5,235	5,029	4,393	4,080	4,046	4,030
岩手	4,452	4,306	4,195	3,754	3,457	3,626
宮城	10,516	9,819	9,410	8,731	8,382	7,894
秋田	4,589	4,162	4,071	3,817	3,410	2,974
山形	4,125	5,069	4,024	3,890	3,630	3,795
福島	9,809	8,554	8,191	7,396	7,086	6,071
東京	89,252	86,444	89,549	79,277	67,496	64,239
関東管区	189,826	188,264	193,509	186,541	175,365	168,484
茨城	16,662	15,967	17,031	18,824	17,476	14,265
栃木	10,268	9,065	9,258	10,001	9,866	9,687
群馬	14,067	11,052	10,829	10,472	10,522	11,370
埼玉	32,413	31,161	34,060	32,550	31,140	30,846
千葉	32,902	35,528	38,122	34,911	30,608	27,627
神奈川	46,458	47,286	47,342	44,747	41,913	40,380
新潟	9,127	8,146	8,183	8,298	7,755	8,406
山梨	3,062	4,472	3,931	3,500	2,964	3,154
長野	8,970	8,490	9,669	9,319	8,893	8,296
静岡	15,897	17,097	15,084	13,919	14,228	14,453
中部管区	76,286	74,913	64,962	57,174	60,186	65,867
富山	4,085	3,802	3,573	3,021	2,949	2,777
石川	6,406	5,272	5,208	4,406	3,714	3,066
福井	3,520	4,388	3,546	3,291	3,245	3,286
岐阜	8,284	9,636	9,236	9,249	10,018	10,843
愛知	45,095	42,313	32,166	29,043	33,607	39,271
三重	8,896	9,502	11,233	8,164	6,653	6,624
近畿管区	105,720	106,802	102,594	100,692	96,651	89,300
滋賀	7,565	8,153	6,484	6,715	6,111	4,873
京都	16,089	15,385	14,978	14,073	13,220	11,743
大阪	41,341	41,290	39,192	38,079	39,025	35,386
兵庫	28,817	28,846	29,238	28,457	26,838	25,948
奈良	7,802	9,022	8,805	8,475	7,301	6,649
和歌山	4,106	4,106	3,897	4,893	4,156	4,701
中国管区	39,438	37,386	35,360	34,370	33,315	28,539
鳥取	3,574	3,437	3,862	3,203	3,013	2,518
島根	3,166	3,652	3,305	3,006	3,000	2,691
岡山	9,713	9,361	9,525	8,136	8,183	7,176
広島	14,568	12,279	11,350	13,006	12,008	10,353
山口	8,417	8,657	7,318	7,019	7,111	5,801
四国管区	20,703	21,134	20,918	18,624	17,993	18,041
徳島	3,899	4,411	3,843	3,506	3,508	3,403
香川	5,791	4,934	5,193	4,948	4,965	4,755
愛媛	7,150	8,008	7,977	6,681	6,568	6,780
高知	3,863	3,781	3,905	3,489	2,952	3,103
九州管区	86,456	75,364	76,445	74,355	70,736	64,445
福岡	40,152	34,059	35,372	34,774	34,398	30,003
佐賀	4,137	4,216	4,636	4,079	3,460	3,661
長崎	8,465	5,861	6,125	5,978	4,785	4,768
熊本	11,731	8,944	7,641	8,256	7,356	7,740
大分	5,716	4,911	5,114	4,028	4,447	3,795
宮崎	4,412	4,568	5,359	4,750	4,652	3,932
鹿児島	6,083	6,130	5,400	5,282	5,002	4,983
沖縄	5,760	6,675	6,798	7,208	6,636	5,563

検挙件数の推移

平 22	平 23	平 24	平 25	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
497,356	462,535	437,612	394,123	-43,489	-9.9	検挙件数(件)
16,083	15,955	15,723	15,466	-257	-1.6	北海道
11,199	11,114	10,631	10,188	-443	-4.2	札幌
1,025	1,208	1,237	1,197	-40	-3.2	函館
1,580	1,566	1,378	1,760	382	27.7	旭川
1,597	1,399	1,889	1,685	-204	-10.8	釧路
682	668	588	636	48	8.2	北見
28,280	23,671	24,779	21,573	-3,206	-12.9	東北管区
3,892	3,655	3,413	2,515	-898	-26.3	青森
3,990	2,718	2,765	2,415	-350	-12.7	岩手
7,518	6,125	6,896	6,176	-720	-10.4	宮城
2,994	2,516	2,516	2,279	-237	-9.4	秋田
3,636	3,441	3,620	3,283	-337	-9.3	山形
6,250	5,216	5,569	4,905	-664	-11.9	福島
58,227	51,198	48,915	44,758	-4,157	-8.5	東京
152,497	144,322	132,694	118,996	-13,698	-10.3	関東管区
12,422	12,490	11,463	9,820	-1,643	-14.3	茨城
8,239	7,904	7,585	7,074	-511	-6.7	栃木
11,078	9,100	9,279	8,188	-1,091	-11.8	群馬
30,048	29,126	26,704	23,689	-3,015	-11.3	埼玉
24,918	21,957	21,515	18,351	-3,164	-14.7	千葉
35,964	33,420	27,855	26,800	-1,055	-3.8	神奈川
7,783	8,158	7,313	6,100	-1,213	-16.6	新潟
3,046	2,589	2,444	2,177	-267	-10.9	山梨
6,589	6,186	6,418	5,653	-765	-11.9	長野
12,410	13,392	12,118	11,144	-974	-8.0	静岡
58,673	57,180	52,347	45,206	-7,141	-13.6	中部管区
2,428	2,189	2,113	1,982	-131	-6.2	富山
2,905	3,111	2,849	2,812	-37	-1.3	石川
2,788	2,593	2,445	2,050	-395	-16.2	福井
7,903	6,687	6,694	6,057	-637	-9.5	岐阜
36,169	35,409	32,773	26,257	-6,516	-19.9	愛知
6,480	7,191	5,473	6,048	575	10.5	三重
80,505	76,335	72,175	64,423	-7,752	-10.7	近畿管区
4,326	4,737	4,557	4,453	-104	-2.3	滋賀
10,944	10,076	8,816	7,170	-1,646	-18.7	京都
29,841	29,946	29,127	26,649	-2,478	-8.5	大阪
23,624	20,884	20,884	18,188	-2,696	-12.9	兵庫
7,602	6,524	4,834	4,568	-266	-5.5	奈良
4,168	4,168	3,957	3,395	-562	-14.2	和歌山
28,015	26,612	25,802	25,056	-746	-2.9	中国管区
2,682	2,105	2,310	2,740	430	18.6	鳥取
2,751	2,436	2,406	2,449	43	1.8	島根
7,372	7,120	7,342	6,915	-427	-5.8	岡山
9,920	10,142	9,112	8,437	-675	-7.4	広島
5,290	4,809	4,632	4,515	-117	-2.5	山口
16,713	15,258	13,783	12,791	-992	-7.2	四国管区
3,145	3,037	2,546	2,324	-222	-8.7	徳島
4,616	3,929	3,910	3,511	-399	-10.2	香川
5,944	5,525	4,888	4,445	-443	-9.1	愛媛
3,008	2,767	2,439	2,511	72	3.0	高知
58,363	52,004	51,394	45,854	-5,540	-10.8	九州管区
27,595	21,377	23,286	20,807	-2,479	-10.6	福岡
3,464	3,470	2,804	2,848	44	1.6	佐賀
4,343	4,355	4,552	3,631	-921	-20.2	長崎
6,597	6,186	5,551	4,825	-726	-13.1	熊本
3,357	3,747	3,093	2,478	-615	-19.9	大分
3,476	3,838	3,497	2,924	-573	-16.4	宮崎
4,514	3,973	4,378	3,810	-568	-13.0	鹿児島
5,017	5,058	4,233	4,531	298	7.0	沖縄

図表 3 - 5 刑法犯の都道府県別

年次 都道府県	平16	平17	平18	平 19	平 20	平 21
検挙人員(人)	389,027	386,955	384,250	365,577	339,752	332,888
北海道	14,383	13,197	13,485	13,888	12,643	11,479
札幌	9,590	8,577	9,012	9,401	8,435	7,827
函館	1,300	1,210	1,075	1,115	1,147	898
旭川	1,394	1,426	1,469	1,611	1,340	1,266
釧路	1,449	1,280	1,357	1,334	1,261	1,048
北見	650	704	572	427	460	440
東北管区	24,975	22,934	21,499	19,932	18,802	18,608
青森	3,537	3,248	3,242	3,087	2,967	2,975
岩手	2,886	2,631	2,677	2,453	2,321	2,311
宮城	7,413	6,341	5,585	5,168	4,949	4,750
秋田	2,652	2,336	2,287	1,996	1,839	1,920
山形	2,635	2,887	2,542	2,356	2,445	2,605
福島	5,852	5,491	5,166	4,872	4,281	4,047
東京	57,612	58,837	58,775	53,702	46,784	46,716
関東管区	103,931	107,113	109,554	103,526	98,123	94,637
茨城	6,957	6,835	6,622	6,892	6,590	6,734
栃木	5,680	5,910	5,447	5,520	5,097	5,679
群馬	4,870	4,684	4,144	4,282	4,250	4,472
埼玉	18,433	19,589	20,255	19,307	18,289	19,345
千葉	16,308	17,230	19,895	17,604	16,046	15,278
神奈川	28,817	30,365	31,447	28,841	26,969	22,558
新潟	5,739	5,758	5,712	5,642	5,800	5,544
山梨	1,934	2,547	2,047	2,060	1,947	1,924
長野	5,125	4,811	4,947	4,867	5,005	4,959
静岡	10,068	9,384	9,038	8,511	8,130	8,144
中部管区	35,756	33,449	35,945	33,672	30,441	31,773
富山	2,791	2,612	2,432	2,046	2,142	2,039
石川	2,964	2,892	2,957	2,403	2,195	2,163
福井	1,965	1,823	1,670	1,603	1,696	1,606
岐阜	5,449	4,875	4,751	4,529	4,375	4,200
愛知	18,058	16,857	19,946	19,201	16,488	18,186
三重	4,529	4,390	4,189	3,890	3,545	3,579
近畿管区	69,537	70,851	68,971	67,886	62,902	61,830
滋賀	3,152	2,988	2,639	2,517	2,585	2,971
京都	9,784	10,178	9,941	9,550	8,412	8,489
大阪	32,201	31,919	30,531	30,113	28,042	25,556
兵庫	17,743	19,179	19,037	19,335	17,965	18,793
奈良	3,439	3,711	3,793	3,474	3,359	3,241
和歌山	3,218	2,876	3,030	2,897	2,539	2,780
中国管区	23,614	22,914	21,641	20,900	19,923	19,226
鳥取	2,081	1,988	1,734	1,572	1,532	1,411
島根	1,894	1,821	1,610	1,418	1,304	1,300
岡山	6,476	6,567	6,123	5,420	5,269	5,191
広島	8,586	8,079	7,856	8,179	7,667	7,680
山口	4,577	4,459	4,318	4,311	4,151	3,644
四国管区	12,648	11,931	11,125	10,880	10,622	10,596
徳島	2,275	2,076	2,036	2,027	2,024	1,865
香川	3,456	3,203	3,171	3,000	2,843	3,052
愛媛	4,225	3,974	3,732	3,660	3,764	3,645
高知	2,692	2,678	2,186	2,193	1,991	2,034
九州管区	46,571	45,729	43,255	41,191	39,512	38,023
福岡	21,912	20,866	19,712	18,898	18,125	15,938
佐賀	2,200	2,059	1,762	2,079	1,810	2,046
長崎	3,894	4,106	3,676	3,753	3,328	3,261
熊本	4,812	4,872	4,711	4,234	4,687	4,881
大分	3,517	2,897	2,730	2,175	2,116	2,133
宮崎	2,691	2,787	3,142	2,868	2,562	2,426
鹿児島	3,569	3,796	3,334	3,224	3,012	3,322
沖縄	3,976	4,346	4,188	3,960	3,872	4,016

検挙人員の推移

平 22	平 23	平 24	平 25	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
322,620	305,631	287,021	262,486	-24,535	-8.5	検挙人員(人)
10,563	10,518	9,797	9,409	-388	-4.0	北海道
7,347	7,223	6,558	6,211	-347	-5.3	札幌
777	850	861	776	-85	-9.9	函館
1,051	1,084	895	999	104	11.6	旭川
1,036	983	1,066	1,092	26	2.4	釧路
352	378	417	331	-86	-20.6	北見
18,346	15,970	16,025	13,812	-2,213	-13.8	東北管区
2,998	2,760	2,653	1,986	-667	-25.1	青森
1,997	1,807	1,939	1,679	-260	-13.4	岩手
4,549	3,899	4,001	3,527	-474	-11.8	宮城
1,964	1,735	1,689	1,469	-220	-13.0	秋田
2,645	2,386	2,448	2,253	-195	-8.0	山形
4,193	3,383	3,295	2,898	-397	-12.0	福島
44,548	40,065	38,848	34,969	-3,879	-10.0	東京
95,359	93,431	86,042	76,325	-9,717	-11.3	関東管区
6,643	6,032	5,611	4,809	-802	-14.3	茨城
5,410	4,846	4,687	3,865	-822	-17.5	栃木
5,717	5,331	4,745	4,249	-496	-10.5	群馬
19,296	19,672	18,681	16,510	-2,171	-11.6	埼玉
14,988	14,028	13,446	11,375	-2,071	-15.4	千葉
23,304	23,488	20,038	18,907	-1,131	-5.6	神奈川
5,337	5,315	4,980	4,316	-664	-13.3	新潟
1,721	1,569	1,599	1,336	-263	-16.4	山梨
4,537	4,494	4,061	3,766	-295	-7.3	長野
8,406	8,656	8,194	7,192	-1,002	-12.2	静岡
30,459	28,423	25,726	24,363	-1,363	-5.3	中部管区
1,762	1,694	1,526	1,460	-66	-4.3	富山
2,051	2,054	1,752	1,585	-167	-9.5	石川
1,450	1,491	1,518	1,369	-149	-9.8	福井
3,776	3,598	3,332	3,128	-204	-6.1	岐阜
18,100	16,520	14,700	14,373	-327	-2.2	愛知
3,320	3,066	2,898	2,448	-450	-15.5	三重
56,369	54,411	51,425	48,117	-3,308	-6.4	近畿管区
2,705	2,584	2,519	2,715	196	7.8	滋賀
8,147	7,842	6,759	5,508	-1,251	-18.5	京都
22,715	22,868	21,901	20,626	-1,275	-5.8	大阪
16,913	15,360	14,798	14,125	-673	-4.5	兵庫
3,168	3,119	3,027	2,812	-215	-7.1	奈良
2,721	2,638	2,421	2,331	-90	-3.7	和歌山
18,515	17,974	17,399	16,534	-865	-5.0	中国管区
1,336	1,270	1,293	1,180	-113	-8.7	鳥取
1,180	1,258	1,201	1,104	-97	-8.1	島根
4,619	4,930	5,010	5,013	3	0.1	岡山
7,571	7,201	6,702	6,326	-376	-5.6	広島
3,809	3,315	3,193	2,911	-282	-8.8	山口
10,318	9,855	9,108	8,338	-770	-8.5	四国管区
1,827	1,657	1,501	1,452	-49	-3.3	徳島
2,810	2,539	2,558	2,287	-271	-10.6	香川
3,601	3,803	3,281	3,099	-182	-5.5	愛媛
2,080	1,856	1,768	1,500	-268	-15.2	高知
38,143	34,984	32,651	30,619	-2,032	-6.2	九州管区
16,286	14,408	13,297	12,423	-874	-6.6	福岡
2,211	2,018	1,924	1,772	-152	-7.9	佐賀
3,159	3,251	3,152	2,748	-404	-12.8	長崎
4,607	4,385	3,957	3,443	-514	-13.0	熊本
2,162	1,833	1,876	1,778	-98	-5.2	大分
2,464	2,278	2,128	2,012	-116	-5.5	宮崎
3,097	2,937	3,045	2,798	-247	-8.1	鹿児島
4,157	3,874	3,272	3,645	373	11.4	沖縄

図表 3 - 6 刑法犯の包括罪種別

区分 \ 年次		平 16	平17	平 18	平 19	平 20	平 21
刑法犯	認知件数(件)	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,818,023	1,703,044
	検挙件数(件)	667,620	649,503	640,657	605,358	573,392	544,699
	検挙人員(人)	389,027	386,955	384,250	365,577	339,752	332,888
	凶悪犯	認知件数	13,064	11,360	10,124	9,051	8,314
		検挙件数	7,924	7,418	7,125	6,461	6,073
		検挙人員	7,519	7,047	6,459	5,923	5,654
	粗暴犯	認知件数	76,616	73,772	76,303	72,908	68,948
		検挙件数	41,128	44,037	49,409	49,656	47,772
		検挙人員	46,801	49,156	54,505	54,163	49,225
	窃盗犯	認知件数	1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956	1,372,840
		検挙件数	447,950	429,038	416,281	395,243	379,839
		検挙人員	195,151	194,119	187,654	180,446	175,823
	知能犯	認知件数	99,258	97,500	84,271	75,999	73,252
		検挙件数	36,299	38,151	37,296	33,878	36,979
		検挙人員	14,850	15,053	15,760	15,264	15,433
	風俗犯	認知件数	12,346	12,085	11,932	11,184	10,559
		検挙件数	6,070	6,422	6,752	6,462	6,376
		検挙人員	5,688	6,373	6,261	6,279	5,951
	その他	認知件数	379,909	349,504	333,692	309,738	283,843
		検挙件数	128,249	124,437	123,794	113,658	96,197
		検挙人員	119,018	115,207	113,611	103,502	86,263

図表 3 - 7 凶悪犯の罪種別

区分 \ 年次		平 16	平 17	平18	平 19	平 20	平 21
凶悪犯	認知件数(件)	13,064	11,360	10,124	9,051	8,581	8,314
	検挙件数(件)	7,924	7,418	7,125	6,461	6,229	6,073
	検挙人員(人)	7,519	7,047	6,459	5,923	5,634	5,654
	殺人	認知件数	1,419	1,392	1,309	1,199	1,094
		検挙件数	1,342	1,345	1,267	1,157	1,074
		検挙人員	1,391	1,338	1,241	1,161	1,036
	強盗	認知件数	7,295	5,988	5,108	4,567	4,512
		検挙件数	3,666	3,269	3,061	2,790	2,923
		検挙人員	4,154	3,844	3,335	2,985	3,069
	放火	認知件数	2,174	1,904	1,759	1,519	1,306
		検挙件数	1,513	1,361	1,337	1,120	913
		検挙人員	867	791	825	764	631
	強姦	認知件数	2,176	2,076	1,948	1,766	1,402
		検挙件数	1,403	1,443	1,460	1,394	1,163
		検挙人員	1,107	1,074	1,058	1,013	918

認知・検挙状況の推移

平 22	平 23	平 24	平 25	増減		年次	
				件数・人員	率(%)	区分	
1,585,856	1,480,760	1,382,121	1,320,678	-61,443	-4.4	認知件数(件)	刑法犯
497,356	462,535	437,612	394,123	-43,489	-9.9	検挙件数(件)	
322,620	305,631	287,021	262,486	-24,535	-8.5	検挙人員(人)	
7,576	6,996	6,961	6,766	-195	-2.8	認知件数	凶悪犯
5,503	5,287	5,368	5,128	-240	-4.5	検挙件数	
5,021	4,786	4,779	4,647	-132	-2.8	検挙人員	
63,646	61,698	67,183	66,610	-573	-0.9	認知件数	粗暴犯
45,932	45,095	49,220	48,487	-733	-1.5	検挙件数	
49,525	48,582	52,577	51,274	-1,303	-2.5	検挙人員	
1,213,442	1,133,125	1,040,447	986,272	-54,175	-5.2	認知件数	窃盗犯
327,786	305,922	286,638	254,824	-31,814	-11.1	検挙件数	
175,214	168,514	153,864	138,947	-14,917	-9.7	検挙人員	
44,347	40,721	40,097	43,186	3,089	7.7	認知件数	知能犯
29,688	26,433	24,105	22,060	-2,045	-8.5	検挙件数	
14,138	13,262	13,665	13,523	-142	-1.0	検挙人員	
10,893	10,905	11,924	12,064	140	1.2	認知件数	風俗犯
6,742	6,842	7,635	7,023	-612	-8.0	検挙件数	
6,033	5,881	6,204	5,770	-434	-7.0	検挙人員	
245,952	227,315	215,509	205,780	-9,729	-4.5	認知件数	その他
81,705	72,956	64,646	56,601	-8,045	-12.4	検挙件数	
72,689	64,606	55,932	48,325	-7,607	-13.6	検挙人員	

認知・検挙状況の推移

平 22	平 23	平 24	平 25	増減		年次	
				件数・人員	率(%)	区分	
7,576	6,996	6,961	6,766	-195	-2.8	認知件数(件)	凶悪犯
5,503	5,287	5,368	5,128	-240	-4.5	検挙件数(件)	
5,021	4,786	4,779	4,647	-132	-2.8	検挙人員(人)	
1,067	1,051	1,030	938	-92	-8.9	認知件数	殺人
1,029	1,029	963	950	-13	-1.3	検挙件数	
999	971	899	906	7	0.8	検挙人員	
4,029	3,673	3,658	3,328	-330	-9.0	認知件数	強盗
2,516	2,385	2,486	2,236	-250	-10.1	検挙件数	
2,568	2,431	2,430	2,255	-175	-7.2	検挙人員	
1,191	1,087	1,033	1,090	57	5.5	認知件数	放火
895	880	822	779	-43	-5.2	検挙件数	
651	616	592	549	-43	-7.3	検挙人員	
1,289	1,185	1,240	1,410	170	13.7	認知件数	強姦
1,063	993	1,097	1,163	66	6.0	検挙件数	
803	768	858	937	79	9.2	検挙人員	

図表 3 - 8 粗暴犯の罪種別

区分 \ 年次		平 16	平17	平 18	平 19	平 20	平 21
粗暴犯	認知件数(件)	76,616	73,772	76,303	72,908	68,948	63,995
	検挙件数(件)	41,128	44,037	49,409	49,656	47,772	45,719
	検挙人員(人)	46,801	49,156	54,505	54,163	51,924	49,225
凶器準備集合	認知件数	27	16	20	19	16	15
	検挙件数	28	16	20	20	13	15
	検挙人員	279	95	155	159	83	73
暴行	認知件数	23,691	25,815	31,002	31,966	31,641	29,638
	検挙件数	10,666	13,703	19,405	21,463	21,925	21,238
	検挙人員	11,002	13,970	19,802	21,808	22,379	21,376
傷害	認知件数	35,937	34,484	33,987	30,986	28,291	26,464
	検挙件数	22,938	23,304	23,331	22,062	20,180	19,388
	検挙人員	27,069	27,130	27,075	25,458	23,164	22,253
脅迫	認知件数	2,537	2,479	2,658	2,553	2,651	2,348
	検挙件数	1,581	1,638	1,812	1,869	1,953	1,781
	検挙人員	1,388	1,522	1,693	1,684	1,824	1,562
恐喝	認知件数	14,424	10,978	8,636	7,384	6,349	5,530
	検挙件数	5,915	5,376	4,841	4,242	3,701	3,297
	検挙人員	7,063	6,439	5,780	5,054	4,474	3,961

図表 3 - 9 窃盗犯の

年次		平 16	平17	平 18	平 19	平 20	平 21
区分							
窃盗犯	認知件数(件)	1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956	1,372,840	1,299,294
	検挙件数(件)	447,950	429,038	416,281	395,243	379,839	361,969
	検挙人員(人)	195,151	194,119	187,654	180,446	174,738	175,823
侵入盗	認知件数	290,595	244,776	205,463	175,728	155,047	148,488
	検挙件数	104,816	104,454	100,824	96,266	87,047	81,545
	検挙人員	13,548	12,564	12,434	12,037	11,079	10,852
乗り物盗	認知件数	629,722	556,987	517,815	510,162	501,331	497,407
	検挙件数	61,308	58,841	56,659	51,911	49,552	45,741
	検挙人員	38,952	37,768	36,254	33,193	29,162	28,617
非侵入盗	認知件数	1,061,257	923,309	811,250	744,066	716,462	653,399
	検挙件数	281,826	265,743	258,798	247,066	243,240	234,683
	検挙人員	142,651	143,787	138,966	135,216	134,497	136,354

認知・検挙状況の推移

平 22	平 23	平 24	平 25	増減		年次	
				件数・人員	率(%)	区分	
63,646	61,698	67,183	66,610	-573	-0.9	認知件数(件)	粗暴犯
45,932	45,095	49,220	48,487	-733	-1.5	検挙件数(件)	
49,525	48,582	52,577	51,274	-1,303	-2.5	検挙人員(人)	
6	6	6	12	6	100.0	認知件数	凶器準備集合
8	5	7	10	3	42.9	検挙件数	
45	24	20	65	45	225.0	検挙人員	
29,593	29,237	31,802	31,597	-205	-0.6	認知件数	暴行
21,667	21,666	23,317	22,837	-480	-2.1	検挙件数	
22,076	21,999	23,610	22,744	-866	-3.7	検挙人員	
26,547	25,832	27,962	27,908	-54	-0.2	認知件数	傷害
19,350	18,870	20,833	20,667	-166	-0.8	検挙件数	
22,030	21,572	23,752	23,527	-225	-0.9	検挙人員	
2,298	2,312	3,241	3,460	219	6.8	認知件数	脅迫
1,734	1,823	2,452	2,627	175	7.1	検挙件数	
1,613	1,663	2,145	2,377	232	10.8	検挙人員	
5,202	4,311	4,172	3,633	-539	-12.9	認知件数	恐喝
3,173	2,731	2,611	2,346	-265	-10.1	検挙件数	
3,761	3,324	3,050	2,561	-489	-16.0	検挙人員	

手口別認知・検挙状況の推移

平 22	平 23	平 24	平 25	増減		年次	
				件数・人員	率(%)	区分	
1,213,442	1,133,125	1,040,447	986,272	-54,175	-5.2	認知件数(件)	窃盗犯
327,786	305,922	286,638	254,824	-31,814	-11.1	検挙件数(件)	
175,214	168,514	153,864	138,947	-14,917	-9.7	検挙人員(人)	
136,552	126,077	115,155	107,467	-7,688	-6.7	認知件数	侵入盗
70,307	65,270	62,298	53,914	-8,384	-13.5	検挙件数	
10,766	10,586	9,719	9,063	-656	-6.7	検挙人員	
464,775	430,273	384,284	378,186	-6,098	-1.6	認知件数	乗り物盗
40,996	37,716	33,481	30,035	-3,446	-10.3	検挙件数	
26,842	23,667	20,788	17,852	-2,936	-14.1	検挙人員	
612,115	576,775	541,008	500,619	-40,389	-7.5	認知件数	非侵入盗
216,483	202,936	190,859	170,875	-19,984	-10.5	検挙件数	
137,606	134,261	123,357	112,032	-11,325	-9.2	検挙人員	

図表 3 - 10 侵入盗の

区分		年次	平 16	平17	平 18	平 19	平 20	平 21
侵入盗	認知件数(件)		290,595	244,776	205,463	175,728	155,047	148,488
	検挙件数(件)		104,816	104,454	100,824	96,266	87,047	81,545
	検挙人員(人)		13,548	12,564	12,434	12,037	11,079	10,852
	うち) 住宅対象	認知件数	170,991	142,945	120,023	103,490	91,082	81,436
		検挙件数	57,948	60,486	58,717	54,491	49,600	48,157
		検挙人員	5,209	4,875	4,830	4,462	4,182	4,170
	空き巣	認知件数	133,159	111,700	91,461	76,894	67,436	59,213
		検挙件数	43,521	45,611	43,106	40,893	37,432	34,466
		検挙人員	3,686	3,477	3,403	3,120	2,900	2,973
	忍込み	認知件数	29,456	24,159	22,442	21,154	18,810	17,443
		検挙件数	12,211	12,362	13,143	11,344	10,098	11,617
		検挙人員	889	741	810	784	726	642
	居空き	認知件数	8,376	7,086	6,120	5,442	4,836	4,780
		検挙件数	2,216	2,513	2,468	2,254	2,070	2,074
		検挙人員	634	657	617	558	556	555
	うち) 金庫破り	認知件数	7,844	6,472	4,921	3,881	3,051	3,252
		検挙件数	3,157	3,300	2,696	2,787	2,169	1,751
		検挙人員	509	544	437	407	343	347
	うち) 学校荒し	認知件数	5,024	3,923	3,133	2,525	2,303	2,167
		検挙件数	2,214	2,009	1,980	1,408	1,185	1,067
		検挙人員	1,115	894	738	655	504	556
	うち) 事務所荒し	認知件数	36,511	30,465	25,181	20,347	17,423	18,032
		検挙件数	13,016	11,988	11,884	11,236	10,862	9,686
		検挙人員	1,421	1,313	1,280	1,154	1,053	1,045
	うち) 出店荒し	認知件数	39,739	34,573	27,718	22,821	20,272	23,007
		検挙件数	16,922	16,106	14,756	14,558	12,204	11,331
		検挙人員	2,055	1,837	1,807	1,651	1,567	1,573
	うち) 倉庫荒し	認知件数	7,701	7,143	7,573	7,158	6,803	6,520
		検挙件数	2,735	2,834	3,315	3,589	3,260	3,052
		検挙人員	1,204	1,187	1,301	1,462	1,386	1,239

図表 3 - 11 乗り物盗の

区分		年次	平 16	平17	平18	平19	平20	平21
乗り物盗	認知件数(件)		629,722	556,987	517,815	510,162	501,331	497,407
	検挙件数(件)		61,308	58,841	56,659	51,911	49,552	45,741
	検挙人員(人)		38,952	37,768	36,254	33,193	29,162	28,617
	自動車盗	認知件数	58,737	46,728	36,058	31,790	27,515	25,815
		検挙件数	13,765	14,898	13,288	13,507	12,569	9,557
		検挙人員	3,823	3,366	3,056	2,380	2,228	2,045
	オートバイ盗	認知件数	126,717	104,155	93,294	83,028	80,354	82,116
		検挙件数	11,715	11,621	12,426	10,161	8,930	9,437
		検挙人員	9,203	8,665	7,766	7,131	6,062	6,194
	自転車盗	認知件数	444,268	406,104	388,463	395,344	393,462	389,476
		検挙件数	35,828	32,322	30,945	28,243	28,053	26,747
		検挙人員	25,926	25,737	25,432	23,682	20,872	20,378

手口別認知・検挙状況の推移

平 22	平 23	平 24	平 25	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)			
136,552	126,077	115,155	107,467	-7,688	-6.7	認知件数(件)		侵入盗
70,307	65,270	62,298	53,914	-8,384	-13.5	検挙件数(件)		
10,766	10,586	9,719	9,063	-656	-6.7	検挙人員(人)		
74,558	66,872	60,938	57,891	-3,047	-5.0	認知件数		うち) 住宅対象
39,880	35,546	32,491	27,880	-4,611	-14.2	検挙件数		
4,072	3,930	3,671	3,381	-290	-7.9	検挙人員		
54,458	46,785	43,607	40,783	-2,824	-6.5	認知件数		空き巣
28,364	25,282	22,459	19,504	-2,955	-13.2	検挙件数		
2,927	2,740	2,552	2,383	-169	-6.6	検挙人員		
16,175	16,393	13,636	13,793	157	1.2	認知件数		忍込み
9,732	8,773	8,320	7,083	-1,237	-14.9	検挙件数		
615	678	673	600	-73	-10.8	検挙人員		
3,925	3,694	3,695	3,315	-380	-10.3	認知件数		居空き
1,784	1,491	1,712	1,293	-419	-24.5	検挙件数		
530	512	446	398	-48	-10.8	検挙人員		
2,917	2,611	2,593	2,257	-336	-13.0	認知件数		うち) 金庫破り
1,572	1,417	1,325	1,129	-196	-14.8	検挙件数		
320	288	296	262	-34	-11.5	検挙人員		
1,817	1,708	1,331	1,298	-33	-2.5	認知件数		うち) 学校荒し
1,010	987	840	778	-62	-7.4	検挙件数		
465	431	303	268	-35	-11.6	検挙人員		
14,796	13,309	12,366	10,837	-1,529	-12.4	認知件数		うち) 事務所荒し
6,672	6,371	7,594	5,575	-2,019	-26.6	検挙件数		
963	897	858	807	-51	-5.9	検挙人員		
20,465	19,022	16,424	15,191	-1,233	-7.5	認知件数		うち) 出店荒し
10,871	9,889	8,861	7,991	-870	-9.8	検挙件数		
1,498	1,522	1,373	1,235	-138	-10.1	検挙人員		
7,456	7,902	7,290	6,360	-930	-12.8	認知件数		うち) 倉庫荒し
3,607	3,798	3,531	3,140	-391	-11.1	検挙件数		
1,325	1,414	1,299	1,142	-157	-12.1	検挙人員		

手口別認知・検挙状況の推移

平22	平23	平24	平25	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)			
464,775	430,273	384,284	378,186	-6,098	-1.6	認知件数(件)		乗り物盗
40,996	37,716	33,481	30,035	-3,446	-10.3	検挙件数(件)		
26,842	23,667	20,788	17,852	-2,936	-14.1	検挙人員(人)		
23,775	24,928	21,070	21,595	525	2.5	認知件数		自動車盗
8,433	8,377	7,556	7,857	301	4.0	検挙件数		
1,837	1,856	1,708	1,484	-224	-13.1	検挙人員		
73,491	67,776	59,469	51,588	-7,881	-13.3	認知件数		オートバイ盗
7,811	8,037	6,674	5,618	-1,056	-15.8	検挙件数		
5,954	5,270	4,554	4,057	-497	-10.9	検挙人員		
367,509	337,569	303,745	305,003	1,258	0.4	認知件数		自転車盗
24,752	21,302	19,251	16,560	-2,691	-14.0	検挙件数		
19,051	16,541	14,526	12,311	-2,215	-15.2	検挙人員		

図表 3-12 非侵入盗の

区分 \ 年次		平 16	平17	平 18	平 19	平 20	平 21
非侵入盗	認知件数(件)	1,061,257	923,309	811,250	744,066	716,462	653,399
	検挙件数(件)	281,826	265,743	258,798	247,066	243,240	234,683
	検挙人員(人)	142,651	143,787	138,966	135,216	134,497	136,354
	うち) ひったくり	認知件数	39,399	32,017	26,828	19,145	19,036
		検挙件数	13,561	10,406	10,090	11,321	9,051
		検挙人員	2,259	1,851	1,652	1,251	1,438
	うち) すり	認知件数	19,198	15,446	13,698	10,220	8,396
		検挙件数	3,791	3,632	3,699	1,762	1,977
		検挙人員	970	938	956	897	824
	うち) 車上ねらい	認知件数	328,921	256,594	205,744	168,129	143,863
		検挙件数	63,171	53,465	49,592	41,116	38,706
		検挙人員	3,238	2,634	2,766	2,344	2,290
	うち) 部品ねらい	認知件数	112,161	103,772	88,739	78,016	75,423
		検挙件数	10,668	11,786	9,840	10,382	10,591
		検挙人員	2,134	1,973	1,931	1,758	1,621
	うち) 自動販売機 ねらい	認知件数	112,965	88,180	55,981	38,477	26,686
		検挙件数	29,748	23,409	22,607	15,197	16,535
		検挙人員	2,560	2,027	1,370	819	746
	うち) 万引き	認知件数	158,020	153,972	147,113	141,915	149,892
		検挙件数	114,465	115,636	110,723	105,774	108,802
		検挙人員	112,783	113,953	107,123	102,504	105,228
	うち) 置引き	認知件数	71,818	67,328	65,377	58,727	54,109
		検挙件数	7,262	7,158	7,236	8,113	7,596
		検挙人員	2,536	3,120	3,779	4,288	4,914

図表 3-13 知能犯の罪種別

区分 \ 年次		平 16	平17	平 18	平 19	平 20	平 21
知能犯	認知件数(件)	99,258	97,500	84,271	75,999	73,252	53,002
	検挙件数(件)	36,299	38,151	37,296	33,878	36,979	34,147
	検挙人員(人)	14,850	15,053	15,760	15,264	15,145	15,433
	詐欺	認知件数	83,015	85,596	74,632	67,787	64,427
		検挙件数	26,617	29,384	30,127	27,963	30,277
		検挙人員	11,238	11,648	12,406	12,113	12,036
	横領	認知件数	2,543	2,347	2,408	2,157	2,193
		検挙件数	1,517	1,453	1,545	1,358	1,485
		検挙人員	1,210	1,111	1,252	1,104	1,140
	偽造	認知件数	13,547	9,410	7,010	5,941	6,503
		検挙件数	8,032	7,175	5,433	4,442	5,097
		検挙人員	2,236	2,033	1,847	1,898	1,810
	汚職	認知件数	111	112	158	69	88
		検挙件数	107	111	152	67	89
		検挙人員	139	230	194	113	129
	あっせん 利得処罰法	認知件数	1	1	2	0	0
		検挙件数	1	1	2	0	0
		検挙人員	0	0	7	0	0
	背任	認知件数	41	34	61	45	41
		検挙件数	25	27	37	48	31
		検挙人員	27	31	54	36	30

手口別認知・検挙状況の推移

平 22	平 23	平 24	平 25	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)			
612,115	576,775	541,008	500,619	-40,389	-7.5	認知件数(件)	非侵入盗	
216,483	202,936	190,859	170,875	-19,984	-10.5	検挙件数(件)		
137,606	134,261	123,357	112,032	-11,325	-9.2	検挙人員(人)		
14,559	12,476	10,083	7,916	-2,167	-21.5	認知件数	うち) ひったくり	
6,323	6,327	4,647	4,186	-461	-9.9	検挙件数		
1,191	1,098	861	740	-121	-14.1	検挙人員		
6,248	5,515	5,454	5,517	63	1.2	認知件数	うち) すり	
1,533	1,390	1,378	1,564	186	13.5	検挙件数		
923	846	838	765	-73	-8.7	検挙人員		
123,512	111,771	102,798	89,039	-13,759	-13.4	認知件数	うち) 車上ねらい	
29,780	23,658	24,506	19,870	-4,636	-18.9	検挙件数		
2,186	2,128	1,979	1,775	-204	-10.3	検挙人員		
67,307	57,014	51,197	46,486	-4,711	-9.2	認知件数	うち) 部品ねらい	
11,783	10,022	6,959	6,306	-653	-9.4	検挙件数		
1,399	1,244	999	893	-106	-10.6	検挙人員		
21,522	20,298	18,822	16,555	-2,267	-12.0	認知件数	うち) 自動販売機 ねらい	
9,633	6,747	7,427	5,962	-1,465	-19.7	検挙件数		
671	633	698	818	120	17.2	検挙人員		
148,371	141,564	134,876	126,500	-8,376	-6.2	認知件数	うち) 万引き	
107,684	104,516	97,841	89,910	-7,931	-8.1	検挙件数		
104,804	101,340	93,079	85,464	-7,615	-8.2	検挙人員		
46,208	43,238	43,882	43,182	-700	-1.6	認知件数	うち) 置引き	
7,580	7,309	7,733	7,968	235	3.0	検挙件数		
5,124	5,169	5,515	5,782	267	4.8	検挙人員		

認知・検挙状況の推移

平 22	平 23	平 24	平 25	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)			
44,347	40,721	40,097	43,186	3,089	7.7	認知件数(件)	知能犯	
29,688	26,433	24,105	22,060	-2,045	-8.5	検挙件数(件)		
14,138	13,262	13,665	13,523	-142	-1.0	検挙人員(人)		
37,516	34,599	34,678	38,326	3,648	10.5	認知件数	詐欺	
24,897	22,169	20,264	18,534	-1,730	-8.5	検挙件数		
11,306	10,569	10,997	10,827	-170	-1.5	検挙人員		
1,735	1,676	1,741	1,722	-19	-1.1	認知件数	横領	
1,259	1,252	1,256	1,242	-14	-1.1	検挙件数		
1,091	1,060	1,078	1,032	-46	-4.3	検挙人員		
4,982	4,343	3,557	3,032	-525	-14.8	認知件数	偽造	
3,429	2,915	2,497	2,189	-308	-12.3	検挙件数		
1,617	1,491	1,466	1,562	96	6.5	検挙人員		
83	74	64	64	0	0.0	認知件数	汚職	
78	67	55	58	3	5.5	検挙件数		
97	108	84	59	-25	-29.8	検挙人員		
0	1	1	1	0	0.0	認知件数	あっせん 利得処罰法	
0	1	1	1	0	0.0	検挙件数		
0	2	1	2	1	100.0	検挙人員		
31	28	56	41	-15	-26.8	認知件数	背任	
25	29	32	36	4	12.5	検挙件数		
27	32	39	41	2	5.1	検挙人員		

図表 3 - 14 風俗犯の罪種別

区分		年次	平 16	平17	平 18	平 19	平 20	平 21
風俗犯	風俗犯	認知件数(件)	12,346	12,085	11,932	11,184	10,559	10,182
		検挙件数(件)	6,070	6,422	6,752	6,462	6,376	6,478
		検挙人員(人)	5,688	6,373	6,261	6,279	6,048	5,951
	賭博	認知件数	249	221	209	424	271	340
		検挙件数	243	213	204	415	252	337
		検挙人員	1,422	1,771	1,379	1,529	1,359	1,376
	わいせつ	認知件数	12,097	11,864	11,723	10,760	10,288	9,842
		検挙件数	5,827	6,209	6,548	6,047	6,124	6,141
		検挙人員	4,266	4,602	4,882	4,750	4,689	4,575
	うち) 強制わいせつ	認知件数	9,184	8,751	8,326	7,664	7,111	6,688
		検挙件数	3,656	3,797	3,779	3,542	3,555	3,563
		検挙人員	2,225	2,286	2,254	2,240	2,219	2,129
	うち) 公然わいせつ	認知件数	2,391	2,420	2,602	2,286	2,361	2,357
		検挙件数	1,669	1,741	1,999	1,718	1,782	1,810
		検挙人員	1,451	1,502	1,715	1,618	1,613	1,626

図表 3 - 15 その他の刑法犯の

区分		年次	平 16	平17	平18	平19	平20	平21
その他の刑法犯	その他の刑法犯	認知件数(件)	379,909	349,504	333,692	309,738	283,843	268,257
		検挙件数(件)	128,249	124,437	123,794	113,658	96,197	90,313
		検挙人員(人)	119,018	115,207	113,611	103,502	86,263	80,802
	うち) 占有離脱物横領	認知件数	101,869	95,520	93,436	83,449	68,171	63,213
		検挙件数	95,845	90,897	89,012	79,891	64,435	60,433
		検挙人員	96,083	91,306	89,444	80,192	64,256	59,919
	うち) 公務執行妨害	認知件数	3,129	3,327	3,576	3,569	3,239	3,071
		検挙件数	2,957	3,188	3,402	3,459	3,071	2,952
		検挙人員	2,705	2,868	3,118	3,181	2,945	2,698
	うち) 住居侵入	認知件数	37,857	34,518	31,030	27,383	24,807	23,863
		検挙件数	8,566	8,961	9,211	9,041	8,682	8,234
		検挙人員	5,993	6,107	6,209	5,901	5,881	5,547
	うち) 逮捕監禁	認知件数	639	576	522	418	407	362
		検挙件数	480	428	418	330	328	325
		検挙人員	762	642	629	526	511	535
	うち) 略取誘拐・ 人身売買	認知件数	320	277	199	207	155	156
		検挙件数	232	204	180	178	141	140
		検挙人員	187	176	167	152	129	101
	うち) 盗品等	認知件数	5,547	5,403	5,134	4,582	3,866	3,607
		検挙件数	5,310	5,198	4,866	4,424	3,621	3,397
		検挙人員	4,935	4,889	4,495	4,230	3,404	3,172
	うち) 器物損壊等	認知件数	226,059	205,312	194,824	185,472	178,191	169,292
		検挙件数	12,332	12,884	13,816	13,617	13,129	12,062
		検挙人員	5,522	6,362	6,551	6,575	6,480	6,160

認知・検挙状況の推移

平 22	平 23	平 24	平 25	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)			
10,893	10,905	11,924	12,064	140	1.2	認知件数(件)	風俗犯	
6,742	6,842	7,635	7,023	-612	-8.0	検挙件数(件)		
6,033	5,881	6,204	5,770	-434	-7.0	検挙人員(人)		
378	213	366	124	-242	-66.1	認知件数	賭博	
369	208	355	125	-230	-64.8	検挙件数		
1,312	903	876	725	-151	-17.2	検挙人員		
10,515	10,692	11,558	11,940	382	3.3	認知件数	わいせつ	
6,373	6,634	7,280	6,898	-382	-5.2	検挙件数		
4,721	4,978	5,328	5,045	-283	-5.3	検挙人員		
7,027	6,870	7,263	7,672	409	5.6	認知件数	うち) 強制わいせつ	
3,637	3,550	3,946	3,967	21	0.5	検挙件数		
2,189	2,217	2,451	2,487	36	1.5	検挙人員		
2,651	2,636	2,975	3,179	204	6.9	認知件数	うち) 公然わいせつ	
1,953	1,926	2,064	1,921	-143	-6.9	検挙件数		
1,727	1,700	1,745	1,662	-83	-4.8	検挙人員		

罪種別認知・検挙状況の推移

平22	平23	平24	平25	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)			
245,952	227,315	215,509	205,780	-9,729	-4.5	認知件数(件)	その他の刑法犯	
81,705	72,956	64,646	56,601	-8,045	-12.4	検挙件数(件)		
72,689	64,606	55,932	48,325	-7,607	-13.6	検挙人員(人)		
55,837	48,692	39,692	33,126	-6,566	-16.5	認知件数	うち) 占有離脱物横領	
52,960	45,681	36,873	30,325	-6,548	-17.8	検挙件数		
52,598	45,227	36,467	29,556	-6,911	-19.0	検挙人員		
2,969	3,029	3,117	2,972	-145	-4.7	認知件数	うち) 公務執行妨害	
2,881	2,863	2,932	2,870	-62	-2.1	検挙件数		
2,547	2,476	2,501	2,540	39	1.6	検挙人員		
22,027	20,262	20,360	19,880	-480	-2.4	認知件数	うち) 住居侵入	
8,028	7,690	7,983	7,572	-411	-5.1	検挙件数		
5,601	5,433	5,581	5,157	-424	-7.6	検挙人員		
354	315	309	305	-4	-1.3	認知件数	うち) 逮捕監禁	
307	282	264	269	5	1.9	検挙件数		
413	444	424	345	-79	-18.6	検挙人員		
185	147	188	185	-3	-1.6	認知件数	うち) 略取誘拐・ 人身売買	
151	132	173	160	-13	-7.5	検挙件数		
107	118	137	154	17	12.4	検挙人員		
3,284	2,925	2,552	2,046	-506	-19.8	認知件数	うち) 盗品等	
3,084	2,677	2,334	1,887	-447	-19.2	検挙件数		
2,989	2,532	2,199	1,745	-454	-20.6	検挙人員		
156,717	147,537	144,129	141,913	-2,216	-1.5	認知件数	うち) 器物損壊等	
11,554	10,948	11,204	10,711	-493	-4.4	検挙件数		
5,864	5,839	5,975	6,042	67	1.1	検挙人員		

図表 3-16 来日外国人刑法犯の

区分		年次	平 16	平 17	平18	平 19	平 20	平 21
総数	検挙件数(件)		32,087	33,037	27,453	25,730	23,202	20,561
	検挙人員(人)		8,898	8,505	8,148	7,528	7,148	7,190
凶悪犯	検挙件数		345	315	270	234	177	195
	検挙人員		421	396	297	259	213	239
	うち) 殺人	検挙件数	40	51	37	41	47	41
		検挙人員	52	52	42	41	50	45
	うち) 強盗	検挙件数	269	236	188	139	108	134
		検挙人員	338	319	216	182	142	175
	侵入強盗	検挙件数	154	125	88	48	32	45
		検挙人員	201	170	98	70	45	73
	非侵入強盗	検挙件数	115	111	100	91	76	89
		検挙人員	137	149	118	112	97	102
粗暴犯	検挙件数		526	679	785	848	855	822
	検挙人員		591	774	894	961	950	938
	うち) 傷害	検挙件数	331	408	423	415	392	383
		検挙人員	379	471	503	498	470	464
窃盗犯	検挙件数		27,521	28,525	23,137	21,327	19,266	16,450
	検挙人員		4,717	4,344	4,205	3,755	3,674	3,736
	侵入盗	検挙件数	8,396	9,160	8,692	7,874	8,554	7,235
		検挙人員	565	524	441	408	342	329
	うち) 住宅対象	検挙件数	7,006	8,149	7,945	7,248	8,150	6,883
		検挙人員	346	340	308	250	229	239
	乗り物盗	検挙件数	1,579	1,737	2,148	2,502	2,098	1,595
		検挙人員	580	548	623	513	471	438
	うち) 自動車盗	検挙件数	958	1,178	1,661	2,114	1,323	1,116
		検挙人員	112	133	166	119	82	94
	非侵入盗	検挙件数	17,546	17,628	12,297	10,951	8,614	7,620
		検挙人員	3,572	3,272	3,141	2,834	2,861	2,969
	うち) 部品ねらい	検挙件数	766	953	934	1,681	1,104	975
		検挙人員	70	51	77	48	32	58
	うち) 車上ねらい	検挙件数	4,795	5,042	2,394	4,104	3,089	2,372
		検挙人員	179	111	111	80	43	40
	うち) ひったくり	検挙件数	35	78	60	131	65	62
		検挙人員	26	32	30	42	23	23
	うち) すり	検挙件数	817	1,161	654	377	51	328
		検挙人員	87	64	68	52	23	20
	うち) 自動販売機 ねらい	検挙件数	7,336	6,751	4,611	856	187	176
		検挙人員	29	22	17	11	5	4
	うち) 万引き	検挙件数	2,844	2,743	2,680	2,419	3,231	2,875
		検挙人員	2,588	2,476	2,308	2,045	2,118	2,293
知能犯	検挙件数		797	721	690	870	735	965
	検挙人員		564	525	538	536	506	542
	うち) 偽造	検挙件数	538	481	471	478	389	534
		検挙人員	381	348	345	303	306	310
風俗犯	検挙件数		85	99	103	88	80	77
	検挙人員		139	133	96	104	91	76
	うち) 強制わいせつ	検挙件数	58	66	77	63	51	52
		検挙人員	46	50	59	54	39	38
その他	検挙件数		2,813	2,698	2,468	2,363	2,089	2,052
	検挙人員		2,466	2,333	2,118	1,913	1,714	1,659
	うち) 占有離脱物 横領	検挙件数	1,968	1,781	1,652	1,452	1,255	1,269
		検挙人員	1,938	1,801	1,653	1,462	1,262	1,245
	うち) 住居侵入	検挙件数	314	364	314	359	323	354
		検挙人員	127	114	106	114	97	87
	うち) 略取誘拐・ 人身売買	検挙件数	2	10	8	7	4	5
		検挙人員	6	19	15	6	4	3

注：「住宅対象」とは、侵入窃盗のうち、空き巣、忍込み及び居空きをいう。

罪種・手口別検挙状況の推移

平 22	平 23	平 24	平 25	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)			
14,025	12,582	11,142	10,674	-468	-4.2	検挙件数(件)		総数
6,710	5,889	5,423	5,620	197	3.6	検挙人員(人)		
168	138	130	128	-2	-1.5	検挙件数		凶悪犯
191	147	133	120	-13	-9.8	検挙人員		
31	30	25	17	-8	-32.0	検挙件数		うち) 殺人
32	30	27	17	-10	-37.0	検挙人員		
111	80	83	87	4	4.8	検挙件数		うち) 強盗
133	85	84	86	2	2.4	検挙人員		
43	27	29	17	-12	-41.4	検挙件数		侵入強盗
47	31	27	20	-7	-25.9	検挙人員		
68	53	54	70	16	29.6	検挙件数		非侵入強盗
86	54	57	66	9	15.8	検挙人員		
846	829	884	920	36	4.1	検挙件数		粗暴犯
938	960	978	1,033	55	5.6	検挙人員		
413	373	408	429	21	5.1	検挙件数		うち) 傷害
459	467	461	504	43	9.3	検挙人員		
10,474	9,210	7,969	7,744	-225	-2.8	検挙件数		窃盗犯
3,457	3,060	2,721	2,812	91	3.3	検挙人員		
3,552	3,628	2,170	2,240	70	3.2	検挙件数		侵入盗
271	194	171	158	-13	-7.6	検挙人員		
3,333	3,306	1,830	1,881	51	2.8	検挙件数		うち) 住宅対象
174	109	88	76	-12	-13.6	検挙人員		
1,251	999	1,372	1,352	-20	-1.5	検挙件数		乗り物盗
410	328	321	288	-33	-10.3	検挙人員		
691	625	1,041	1,110	69	6.6	検挙件数		うち) 自動車盗
56	58	83	61	-22	-26.5	検挙人員		
5,671	4,583	4,427	4,152	-275	-6.2	検挙件数		非侵入盗
2,776	2,538	2,229	2,366	137	6.1	検挙人員		
1,330	407	133	88	-45	-33.8	検挙件数		うち) 部品ねらい
41	19	20	19	-1	-5.0	検挙人員		
636	491	979	687	-292	-29.8	検挙件数		うち) 車上ねらい
49	36	46	18	-28	-60.9	検挙人員		
30	23	13	10	-3	-23.1	検挙件数		うち) ひったくり
13	12	5	9	4	80.0	検挙人員		
40	47	41	61	20	48.8	検挙件数		うち) すり
21	11	18	26	8	44.4	検挙人員		
29	0	0	256	256	-	検挙件数		うち) 自動販売機 ねらい
3	1	2	9	7	350.0	検挙人員		
2,667	2,850	2,561	2,189	-372	-14.5	検挙件数		うち) 万引き
2,136	1,976	1,759	1,913	154	8.8	検挙人員		
747	771	819	595	-224	-27.4	検挙件数		知能犯
522	432	470	539	69	14.7	検挙人員		
327	383	251	243	-8	-3.2	検挙件数		うち) 偽造
302	273	260	272	12	4.6	検挙人員		
96	88	103	97	-6	-5.8	検挙件数		風俗犯
103	84	83	81	-2	-2.4	検挙人員		
76	59	75	72	-3	-4.0	検挙件数		うち) 強制わいせつ
61	53	57	61	4	7.0	検挙人員		
1,694	1,546	1,237	1,190	-47	-3.8	検挙件数		その他
1,499	1,206	1,038	1,035	-3	-0.3	検挙人員		
1,150	869	693	662	-31	-4.5	検挙件数		うち) 占有離脱物 横領
1,125	863	687	657	-30	-4.4	検挙人員		
178	330	194	187	-7	-3.6	検挙件数		うち) 住居侵入
70	74	86	94	8	9.3	検挙人員		
2	3	5	7	2	40.0	検挙件数		うち) 略取誘拐・ 人身売買
7	6	5	15	10	200.0	検挙人員		

図表 3-17 来日外国人刑法犯の

区分		年次	平 16	平 17	平18	平 19	平 20	平 21
総数	検挙件数(件)		32,087	33,037	27,453	25,730	23,202	20,561
	検挙人員(人)		8,898	8,505	8,148	7,528	7,148	7,190
アジア州	検挙件数		22,530	22,381	18,990	16,331	15,746	14,799
	検挙人員		6,516	6,043	5,896	5,457	5,251	5,430
韓国	検挙件数		1,454	1,466	1,725	2,161	1,655	1,554
	検挙人員		617	536	600	782	705	750
中国	検挙件数		11,638	11,739	10,258	9,967	10,787	10,294
	検挙人員		4,408	3,884	3,597	3,023	2,880	2,916
うち) 台湾	検挙件数		215	255	136	245	451	93
	検挙人員		85	100	121	97	88	83
うち) 香港等	検挙件数		83	118	27	58	273	20
	検挙人員		38	45	24	27	28	17
イラン	検挙件数		29	66	54	41	41	35
	検挙人員		23	60	41	35	30	33
インドネシア	検挙件数		87	51	65	62	46	45
	検挙人員		84	68	57	63	37	42
スリランカ	検挙件数		301	389	350	160	222	214
	検挙人員		49	69	53	59	66	38
タイ	検挙件数		79	207	90	102	75	101
	検挙人員		72	103	93	107	91	88
パキスタン	検挙件数		122	153	191	1,012	501	101
	検挙人員		37	45	79	45	31	32
バングラディシュ	検挙件数		46	50	38	54	43	35
	検挙人員		43	41	32	48	43	40
フィリピン	検挙件数		364	431	482	524	543	624
	検挙人員		353	386	407	444	465	541
ベトナム	検挙件数		739	792	1,020	1,112	1,517	1,442
	検挙人員		576	592	650	580	613	689
マレーシア	検挙件数		46	25	83	23	29	18
	検挙人員		56	29	22	21	20	15
ミャンマー	検挙件数		29	26	29	53	44	31
	検挙人員		25	20	31	37	43	32
トルコ	検挙件数		7,350	6,779	4,391	864	33	82
	検挙人員		27	28	32	20	23	30
その他	検挙件数		246	207	214	196	210	223
	検挙人員		146	182	202	193	204	184
ヨーロッパ州	検挙件数		432	556	674	553	552	277
	検挙人員		387	444	391	326	290	244
イギリス	検挙件数		63	76	60	181	292	59
	検挙人員		56	75	61	61	53	49
フランス	検挙件数		29	46	30	42	37	38
	検挙人員		27	44	29	40	38	39
ロシア	検挙件数		251	307	215	241	101	74
	検挙人員		220	213	176	134	95	69
その他	検挙件数		89	127	369	89	122	106
	検挙人員		84	112	125	91	104	87
南北アメリカ州	検挙件数		8,930	9,881	7,397	8,617	6,681	5,263
	検挙人員		1,824	1,833	1,696	1,580	1,460	1,345
アメリカ	検挙件数		154	198	231	191	452	125
	検挙人員		135	156	166	179	155	131
コロンビア	検挙件数		862	1,768	2,121	506	1,082	693
	検挙人員		86	101	82	52	54	30
ブラジル	検挙件数		7,001	6,811	4,068	7,289	4,406	3,720
	検挙人員		1,116	1,064	1,016	931	818	744
ペルー	検挙件数		631	814	575	420	518	499
	検挙人員		344	369	301	275	321	318
その他	検挙件数		282	290	402	211	223	226
	検挙人員		143	143	131	143	112	122
アフリカ州	検挙件数		106	144	324	145	163	165
	検挙人員		81	119	95	80	88	107
オセアニア州	検挙件数		87	75	67	81	57	55
	検挙人員		86	65	69	84	57	62
無国籍・国籍不明	検挙件数		2	0	1	3	3	2
	検挙人員		4	1	1	1	2	2

注：「香港等」とは、中国国籍を有する者のうち、香港特別行政区又は香港特別行政区以外の政府（シンガポール、マレーシア等）が発給した身分証明書を有する者をいう。

国籍別検挙状況の推移

平 22	平 23	平 24	平 25	増減		年次	
				件数・人員	率(%)	区分	
14,025	12,582	11,142	10,674	-468	-4.2	検挙件数(件)	総数
6,710	5,889	5,423	5,620	197	3.6	検挙人員(人)	
9,672	9,543	8,630	6,867	-1,763	-20.4	検挙件数	アジア州
5,201	4,659	4,215	4,401	186	4.4	検挙人員	
1,502	610	1,089	494	-595	-54.6	検挙件数	韓国
675	569	513	488	-25	-4.9	検挙人員	
5,470	6,377	4,974	3,817	-1,157	-23.3	検挙件数	中国
2,904	2,547	2,257	2,139	-118	-5.2	検挙人員	
152	144	50	49	-1	-2.0	検挙件数	うち) 台湾
89	57	51	54	3	5.9	検挙人員	
15	13	32	19	-13	-40.6	検挙件数	うち) 香港等
17	13	9	19	10	111.1	検挙人員	
28	28	27	33	6	22.2	検挙件数	イラン
25	26	23	28	5	21.7	検挙人員	
37	25	29	24	-5	-17.2	検挙件数	インドネシア
42	25	29	23	-6	-20.7	検挙人員	
54	94	168	141	-27	-16.1	検挙件数	スリランカ
42	55	49	40	-9	-18.4	検挙人員	
157	72	83	71	-12	-14.5	検挙件数	タイ
110	77	78	73	-5	-6.4	検挙人員	
166	58	105	47	-58	-55.2	検挙件数	パキスタン
22	46	34	36	2	5.9	検挙人員	
56	40	145	34	-111	-76.6	検挙件数	バングラディシュ
51	33	43	34	-9	-20.9	検挙人員	
442	439	513	620	107	20.9	検挙件数	フィリピン
464	455	408	415	7	1.7	検挙人員	
1,507	1,552	1,225	1,197	-28	-2.3	検挙件数	ベトナム
608	582	510	839	329	64.5	検挙人員	
13	13	3	20	17	566.7	検挙件数	マレーシア
13	14	2	9	7	350.0	検挙人員	
34	37	33	30	-3	-9.1	検挙件数	ミャンマー
41	35	25	30	5	20.0	検挙人員	
22	36	31	108	77	248.4	検挙件数	トルコ
21	35	34	38	4	11.8	検挙人員	
184	162	205	231	26	12.7	検挙件数	その他
183	160	210	209	-1	-0.5	検挙人員	
330	264	413	548	135	32.7	検挙件数	ヨーロッパ州
256	165	203	240	37	18.2	検挙人員	
31	28	60	50	-10	-16.7	検挙件数	イギリス
34	29	33	46	13	39.4	検挙人員	
48	29	27	32	5	18.5	検挙件数	フランス
44	28	28	33	5	17.9	検挙人員	
129	159	252	376	124	49.2	検挙件数	ロシア
65	54	72	73	1	1.4	検挙人員	
122	48	74	90	16	21.6	検挙件数	その他
113	54	70	88	18	25.7	検挙人員	
3,663	2,564	1,805	3,060	1,255	69.5	検挙件数	南北アメリカ州
1,088	909	862	827	-35	-4.1	検挙人員	
167	153	134	124	-10	-7.5	検挙件数	アメリカ
130	138	121	118	-3	-2.5	検挙人員	
339	81	45	207	162	360.0	検挙件数	コロンビア
32	15	19	24	5	26.3	検挙人員	
2,531	1,366	1,004	2,270	1,266	126.1	検挙件数	ブラジル
515	426	438	393	-45	-10.3	検挙人員	
430	607	298	304	6	2.0	検挙件数	ペルー
289	240	193	194	1	0.5	検挙人員	
196	357	324	155	-169	-52.2	検挙件数	その他
122	90	91	98	7	7.7	検挙人員	
297	165	248	134	-114	-46.0	検挙件数	アフリカ州
104	116	93	92	-1	-1.1	検挙人員	
58	42	43	63	20	46.5	検挙件数	オセアニア州
57	37	46	60	14	30.4	検挙人員	
5	4	3	2	-1	-33.3	検挙件数	無国籍・国籍不明
4	3	4	0	-4	-100.0	検挙人員	

図表 3 - 1 8 刑法犯の発生場所別認知件数

種・手口 発生場所	罪	刑法犯	凶悪犯	殺人				強盗		放火	強姦	粗暴犯	凶器準備集合
				殺人	強盗	うち)侵入強盗	うち)路上強盗						
総数		1,320,678	6,766	938	3,328	1,254	1,025	1,090	1,410			66,610	12
住宅		334,407	2,325	611	393	278	23	687	634			15,417	1
一戸建住宅		164,283	1,035	332	147	128	3	416	140			6,373	1
共同住宅		170,124	1,290	279	246	150	20	271	494			9,044	0
共同住宅(4階建以上)		76,963	590	145	126	59	15	105	214			4,136	0
共同住宅(3階建以下)		93,161	700	134	120	91	5	166	280			4,908	0
事業所等		392,341	2,082	91	1,491	968	11	202	298			16,495	0
一般事務所		48,258	132	14	24	16	1	76	18			1,908	0
店舗		304,125	1,842	55	1,448	947	7	83	256			12,004	0
商店		201,655	1,221	12	1,158	757	3	36	15			3,874	0
デパート		14,777	20	0	16	1	0	3	1			237	0
総合スーパー		49,265	107	1	100	8	1	3	3			722	0
ホームセンター		10,158	33	0	32	4	0	1	0			92	0
家電量販店		4,904	1	0	0	0	0	1	0			59	0
コンビニエンスストア		27,048	702	4	693	590	2	3	2			1,208	0
ドラッグストア		12,395	30	0	29	11	0	1	0			90	0
その他のスーパーマーケット		29,852	86	2	81	15	0	3	0			390	0
レンタルビデオ店		2,606	9	0	9	4	0	0	0			104	0
貴金属店		543	13	0	13	13	0	0	0			8	0
古物店		3,510	21	0	18	8	0	2	1			48	0
給油所		4,198	12	0	11	8	0	0	1			156	0
その他の商店		42,399	187	5	156	95	0	19	7			760	0
サービス営業店		102,470	621	43	290	190	4	47	241			8,130	0
生活環境営業		84,514	556	41	235	146	3	43	237			7,572	0
一般ホテル・旅館		4,118	86	9	11	7	0	5	61			342	0
サウナ等公衆浴場		4,235	4	0	0	0	0	0	4			140	0
コインランドリー		2,326	3	0	2	1	0	1	0			20	0
映画館・劇場等		480	0	0	0	0	0	0	0			42	0
ぱちんこ館・ぱちんこホール等		22,003	26	2	19	7	2	4	1			848	0
景品交換所		83	19	0	19	13	1	0	0			3	0
ゲームセンター		6,844	6	0	6	1	0	0	0			286	0
その他の風俗営業店		1,807	15	5	4	3	0	0	6			387	0
個室付浴場		52	2	0	1	1	0	1	0			3	0
モーテル・ラブホテル等		1,447	156	3	42	15	0	1	110			124	0
その他の特殊営業店		226	2	0	0	0	0	0	2			50	0
カラオケボックス		2,624	33	0	9	5	0	0	24			476	0
マンガ喫茶・インターネットカフェ		3,615	14	1	8	7	0	2	3			68	0
深夜飲食店		8,699	67	9	38	22	0	6	14			2,279	0
その他の飲食店		25,955	123	12	76	64	0	23	12			2,504	0
金融機関等		9,541	59	1	53	44	0	4	1			197	0
質屋		170	4	0	4	4	0	0	0			1	0
貸金業		161	0	0	0	0	0	0	0			5	0
銀行		5,234	19	0	19	15	0	0	0			70	0
郵便局		2,057	24	1	23	21	0	0	0			82	0
信用金庫・組合		920	6	0	6	4	0	0	0			7	0
農(漁)業協同組合		999	6	0	1	0	0	4	1			32	0
公営競技場		513	1	0	0	0	0	0	1			63	0
競馬場		125	1	0	0	0	0	0	1			11	0
競輪場		219	0	0	0	0	0	0	0			25	0
オートレース場		26	0	0	0	0	0	0	0			6	0
競艇場		143	0	0	0	0	0	0	0			21	0
スポーツ・行楽施設		7,902	5	1	2	0	1	0	2			298	0
ゴルフ場		1,050	1	1	0	0	0	0	0			19	0
その他のスポーツ施設		6,177	4	0	2	0	1	0	2			250	0
遊園地動物園		675	0	0	0	0	0	0	0			29	0
学校(幼稚園)		22,275	36	4	3	0	0	19	10			1,804	0
病(医)院診療所		8,632	38	17	5	4	0	10	6			559	0
神社仏閣		9,051	34	1	11	1	3	14	8			220	0
街頭		514,591	2,008	183	1,364	4	964	92	369			31,476	9
道路上		157,434	1,367	126	1,095	0	860	19	127			20,511	6
コインパーキング		8,805	13	1	8	0	4	1	3			199	0
月極駐車場		46,413	67	4	28	0	18	11	24			345	0
その他の駐車場		90,402	236	21	127	2	44	25	63			3,565	2
駐輪場		168,153	28	1	12	0	5	12	3			352	0
都市公園		13,220	123	8	51	0	28	12	52			1,537	1
空き地		5,953	45	4	6	0	3	9	26			226	0
公共交通機関等		21,731	31	13	8	1	1	3	7			3,889	0
地下鉄内		821	0	0	0	0	0	0	0			143	0
新幹線内		330	0	0	0	0	0	0	0			21	0
その他の列車内		5,792	0	0	0	0	0	0	0			783	0
駅		11,514	20	7	8	1	1	2	3			2,568	0
その他の鉄道施設		793	2	1	0	0	0	1	0			76	0
航空機内		43	0	0	0	0	0	0	0			13	0
空港		479	0	0	0	0	0	0	0			41	0
船舶内		184	2	1	0	0	0	0	1			9	0
海港		1,261	7	4	0	0	0	0	3			51	0
バス内		514	0	0	0	0	0	0	0			184	0
その他の交通機関		1,697	95	5	26	0	0	0	64			722	0
タクシー内		886	15	0	14	0	0	0	1			319	0
その他の自動車内		811	80	5	12	0	0	0	63			403	0
その他の街頭		783	3	0	3	1	1	0	0			130	0
地下街地下道路		399	3	0	3	1	1	0	0			80	0
高速道路		384	0	0	0	0	0	0	0			50	0
その他		79,339	351	53	80	4	27	109	109			3,222	2

(全刑法犯、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯) (平成25年)

暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯	侵入盗	乗り物盗	窃盗車			罪種・手口	発生場所
							自動車盗	オートバイ盗	自転車盗		
31,597	27,908	3,460	3,633	986,272	107,467	378,186	21,595	51,588	305,003		総数
6,147	6,917	1,712	640	234,667	63,056	102,855	3,567	19,464	79,824		住宅
2,567	2,670	868	267	114,132	43,916	37,911	1,934	7,404	28,573		一戸建住宅
3,580	4,247	844	373	120,535	19,140	64,944	1,633	12,060	51,251		共同住宅
1,634	1,923	425	154	52,766	5,300	33,147	676	5,512	26,959		共同住宅(4階建以上)
1,946	2,324	419	219	67,769	13,840	31,797	957	6,548	24,292		共同住宅(3階建以下)
7,698	6,983	844	970	313,599	37,482	27,843	2,850	2,522	22,471		事務所等
662	854	250	142	34,952	13,962	4,644	2,248	491	1,905		一般事務所
6,172	4,631	458	743	250,412	18,441	16,354	534	1,677	14,143		店舗
2,357	1,019	194	304	179,476	8,967	10,616	356	1,011	9,249		商店
151	60	8	18	13,712	61	799	2	47	750		デパート
421	187	29	85	45,783	234	3,571	13	276	3,282		総合スーパー
66	21	4	1	9,664	71	174	5	19	150		ホームセンター
29	10	4	16	4,456	57	104	1	10	93		家電量販店
761	304	48	95	22,273	178	1,658	58	173	1,427		コンビニエンスストア
75	12	2	1	11,882	123	282	5	18	259		ドラッグストア
248	102	18	22	27,997	339	1,517	17	108	1,392		その他のスーパーマーケット
75	20	4	5	2,174	46	382	4	29	349		レンタルビデオ店
0	5	1	2	416	115	4	0	1	3		貴金属店
30	13	1	4	2,936	360	203	15	15	173		古物店
89	54	5	8	2,624	417	84	22	24	38		給油所
412	231	70	47	35,559	6,966	1,838	214	291	1,333		その他の商店
3,815	3,612	264	439	70,936	9,474	5,738	178	666	4,894		サービス営業店
3,528	3,407	240	397	59,891	8,973	4,511	119	558	3,834		生活環境営業
135	160	27	20	2,664	414	134	20	20	94		一般ホテル・旅館
86	45	5	4	3,778	81	102	8	10	84		サウナ等公衆浴場
11	5	2	2	2,086	79	15	1	5	9		コインランドリー
23	16	1	2	349	5	50	0	4	46		映画館・劇場等
586	208	21	33	18,103	115	828	28	148	652		ぱちんこ屋・まあじゃん屋等
3	0	0	0	46	12	0	0	0	0		景品交換所
144	87	5	50	5,699	30	706	3	67	636		ゲームセンター
144	220	9	14	997	247	100	4	9	87		その他の風俗営業店
0	2	1	0	32	8	2	0	0	2		個室付浴場
48	60	8	8	590	90	10	0	0	10		モーテル・ラブホテル等
21	27	2	0	127	27	6	1	0	5		その他の風俗営業店
218	234	6	18	1,212	72	465	2	43	420		カラオケボックス
36	23	5	4	2,712	31	81	6	16	59		マンガ喫茶・インターネットカフェ
901	1,280	47	51	4,474	1,174	144	6	14	124		深夜飲食店
1,172	1,040	101	191	17,022	6,588	1,868	40	222	1,606		その他の飲食店
109	48	11	29	3,979	188	351	25	39	287		金融機関等
1	0	0	0	101	23	0	0	0	0		質屋
1	0	0	4	40	12	1	0	0	1		貸金業
41	13	2	14	2,329	4	188	3	10	175		銀行
48	21	3	10	628	16	71	2	11	58		郵便局
5	1	1	0	351	8	29	1	5	23		信用金庫・組合
13	13	5	1	530	125	62	19	13	30		農(漁)業協同組合
42	18	2	1	383	1	108	3	18	87		公営競技場
7	4	0	0	95	0	6	0	0	6		競馬場
18	7	0	0	170	0	96	2	18	76		競輪場
3	2	1	0	16	1	3	0	0	3		オートレース場
14	5	1	1	102	0	3	1	0	2		競艇場
136	139	11	12	6,683	312	768	31	51	686		スポーツ・行楽施設
6	10	2	1	894	96	24	19	4	1		ゴルフ場
117	117	8	8	5,205	211	711	12	44	655		その他のスポーツ施設
13	12	1	3	584	5	33	0	3	30		遊園地動物園
533	1,155	68	48	14,040	1,814	6,040	31	247	5,762		学校(幼稚園)
268	205	65	21	6,617	1,273	629	27	86	516		病(医)院診療所
63	138	3	16	7,578	1,992	176	10	21	145		神社仏閣
16,483	12,441	695	1,848	377,295	266	235,963	12,370	27,964	195,629		街頭
10,944	8,142	411	1,008	99,725	0	61,055	1,226	6,184	53,645		道路上
71	100	3	25	6,461	1	739	420	108	211		コインパーキング
139	158	12	36	32,320	91	7,040	4,983	825	1,232		月極駐車場
1,459	1,558	144	402	58,061	71	18,575	5,221	4,202	9,152		その他の駐車場
152	131	16	53	156,018	8	141,969	1	16,124	125,844		駐輪場
461	867	36	172	7,494	30	1,922	7	124	1,791		都市公園
82	118	8	18	4,110	0	1,425	492	195	738		空き地
2,747	1,049	27	66	12,521	55	3,222	16	200	3,006		公共交通機関等
111	31	0	1	574	0	0	0	0	0		地下鉄内
14	5	2	0	291	0	0	0	0	0		新幹線内
578	197	4	4	4,003	0	0	0	0	0		その他の列車内
1,785	711	18	54	5,614	25	3,073	2	179	2,892		駅
50	24	1	1	300	8	92	1	13	78		その他の鉄道施設
10	3	0	0	23	0	0	0	0	0		航空機内
26	12	2	1	338	5	12	1	3	8		空港
5	4	0	0	155	0	0	0	0	0		船舶内
18	28	0	5	1,009	17	45	12	5	28		海港
150	34	0	0	214	0	0	0	0	0		バス内
360	270	32	60	176	0	0	0	0	0		その他の交通機関
212	93	5	9	102	0	0	0	0	0		タクシー内
148	177	27	51	74	0	0	0	0	0		その他の自動車内
68	48	6	8	409	10	16	4	2	10		その他の街頭
46	27	2	5	195	6	10	1	1	8		地下街地下道路
22	21	4	3	214	4	6	3	1	2		高速道路
1,269	1,567	209	175	60,711	6,663	11,525	2,808	1,638	7,079		その他

図表３－１９ 刑法犯の発生場所別認知件数

発生場所		罪種・手口	非侵入盗							知能犯	
			うち)ひったくり	うち)すり	うち)車上ねらい	うち)部品ねらい	うち)自転車盗(ねらい)	うち)置き引き	うち)詐欺		
総数		500,619	7,916	5,517	89,039	46,486	16,555	43,182	43,186	38,326	
住宅		68,756	55	0	15,834	11,740	649	643	18,124	17,586	
一戸建住宅		32,305	0	0	8,994	3,898	229	194	13,070	12,793	
共同住宅		36,451	55	0	6,840	7,842	420	449	5,054	4,793	
共同住宅(4階建以上)		14,319	40	0	2,610	4,156	187	293	3,132	2,992	
共同住宅(3階建以下)		22,132	15	0	4,230	3,686	233	156	1,922	1,801	
事業所等		248,274	86	2,362	7,108	3,076	6,507	33,036	18,846	15,700	
一般事務所		16,346	2	9	1,729	1,834	2,783	256	3,151	2,119	
店舗		215,617	79	2,227	4,326	1,045	3,424	30,789	15,394	13,356	
商店		159,893	54	1,002	2,434	721	2,006	10,068	5,404	4,548	
デパート		12,852	9	295	47	14	6	882	190	162	
総合スーパー		41,978	25	279	423	83	148	3,120	564	478	
ホームセンター		9,419	0	23	104	18	58	225	120	99	
家電量販店		4,295	0	12	32	6	8	86	257	209	
コンビニエンスストア		20,437	7	22	552	44	23	1,588	908	741	
ドラッグストア		11,477	1	16	139	7	61	199	97	77	
その他のスーパーマーケット		26,141	9	155	407	39	204	1,834	313	255	
レンタルビデオ店		1,746	0	0	132	3	14	122	136	117	
貴金属店		297	0	1	2	1	0	6	54	45	
古物店		2,373	0	8	47	36	28	109	213	171	
給油所		2,123	2	2	43	15	121	627	722	695	
その他の商店		26,755	1	189	506	455	1,335	1,270	1,830	1,499	
サービス営業店		55,724	25	1,225	1,892	324	1,418	20,721	9,990	8,808	
生活環境営業		46,407	23	1,042	1,594	241	748	17,822	5,550	5,232	
一般ホテル・旅館		2,116	0	6	68	25	30	234	505	468	
サウナ等公衆浴場		3,595	0	6	92	4	19	522	98	85	
コインランドリー		1,992	0	0	22	0	324	97	4	3	
映画館・劇場等		294	0	23	6	2	1	99	19	16	
ぱちんこ屋・まあじゃん屋等		17,160	13	167	394	57	74	9,121	166	118	
景品交換所		34	1	0	2	0	0	14	2	1	
ゲームセンター		4,963	5	300	65	29	33	3,397	24	18	
その他の風俗営業店		650	0	43	19	7	15	179	120	110	
個室付浴場		22	0	0	1	0	1	2	3	2	
モーテル・ラブホテル等		490	0	2	30	0	4	20	362	356	
その他の風俗営業店		94	0	1	0	0	3	17	13	8	
カラオケボックス		675	0	8	35	9	4	250	288	283	
マンガ喫茶・インターネットカフェ		2,600	1	22	71	6	4	1,145	681	664	
深夜飲食店		3,156	0	294	67	3	5	680	779	741	
その他の飲食店		8,566	3	170	722	99	231	2,045	2,486	2,359	
金融機関等		3,440	0	43	86	39	73	1,173	4,349	3,494	
質屋		78	0	0	0	0	0	3	35	18	
貸金業		27	0	0	1	0	0	2	77	64	
銀行		2,137	0	34	23	6	1	876	2,398	1,918	
郵便局		541	0	4	14	2	4	164	1,119	908	
信用金庫・組合		314	0	1	17	7	3	103	462	389	
農(漁)業協同組合		343	0	4	31	24	65	25	258	197	
公営競技場		274	0	34	16	7	6	129	8	8	
競馬場		89	0	19	1	0	1	48	4	4	
競輪場		74	0	7	8	6	3	31	1	1	
オートレース場		12	0	1	0	1	0	5	0	0	
競艇場		99	0	7	7	0	2	45	3	3	
スポーツ・行楽施設		5,603	2	106	196	37	591	1,597	83	74	
ゴルフ場		774	0	1	35	9	96	193	35	34	
その他のスポーツ施設		4,283	1	34	152	27	461	1,310	33	26	
遊園地動物園		546	1	71	9	1	34	94	15	14	
学校(幼稚園)		6,186	2	16	694	117	242	1,161	85	62	
病(医)院診療所		4,715	2	33	154	70	34	648	185	147	
神社仏閣		5,410	1	77	205	10	24	182	31	16	
街頭		141,066	7,702	2,842	63,180	29,791	5,333	6,067	4,586	4,114	
道路上		38,670	7,558	667	13,969	2,216	2,393	1,324	2,580	2,351	
コインパーキング		5,721	4	3	4,490	506	346	38	34	24	
月極駐車場		25,189	6	2	12,546	11,149	125	31	28	21	
その他の駐車場		39,415	79	23	24,936	8,744	1,318	376	459	379	
駐輪場		14,041	12	4	4,826	6,292	58	285	39	26	
都市公園		5,542	14	60	1,295	70	673	1,628	43	25	
空き地		2,685	1	2	936	385	310	41	11	5	
公共交通機関等		9,244	21	2,044	148	419	103	2,186	951	880	
地下鉄内		574	1	235	0	0	0	88	2	2	
新幹線内		291	0	48	0	0	0	160	0	0	
その他の列車内		4,003	2	1,362	0	0	0	910	20	19	
駅		2,516	14	322	30	85	88	668	844	817	
その他の鉄道施設		200	3	5	8	16	2	35	12	8	
航空機内		23	0	0	0	0	0	13	1	1	
空港		321	0	20	3	2	0	146	51	18	
船舶内		155	0	1	1	37	0	15	1	1	
海港		947	1	5	106	279	13	67	3	1	
バス内		214	0	46	0	0	0	84	17	13	
その他の交通機関		176	2	14	0	0	0	19	405	378	
タクシー内		102	0	4	0	0	0	9	349	332	
その他の自動車内		74	2	10	0	0	0	10	56	46	
その他の街頭		383	5	23	34	10	7	139	36	25	
地下街地下道路		179	4	15	1	1	0	47	13	12	
高速道路		204	1	8	33	9	7	92	23	13	
その他		42,523	73	313	2,917	1,879	4,066	3,436	1,630	926	

(非侵入盗、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯) (平成25年)

風俗犯	その他の刑法犯			罪種・手口					発生場所
	うち)強盗いせつ	うち)公然いせつ	うち)占有器物損壊	うち)公務執行妨害	うち)住居侵入	うち)略取強盗・人等電取	うち)器物損壊等		
12,064	7,672	3,179	205,780	33,126	2,972	19,880	185	141,913	総数
2,637	1,842	251	61,237	2,355	286	12,562	44	44,360	住宅
665	355	39	29,008	203	100	7,395	12	20,562	一戸建住宅
1,972	1,487	212	32,229	2,152	186	5,167	32	23,798	共同住宅
1,181	906	129	15,158	1,063	88	1,733	20	11,807	共同住宅（４階建以上）
791	581	83	17,071	1,089	98	3,434	12	11,991	共同住宅（３階建以下）
1,685	855	441	39,634	4,472	473	5,847	26	26,248	事務所等
298	62	13	7,817	189	226	1,576	1	5,229	一般事務所
1,159	594	403	23,314	3,702	204	2,611	20	15,196	店舗
602	232	301	11,078	1,880	74	1,281	14	7,049	商店
38	27	11	580	83	1	42	2	414	デパート
121	63	56	1,968	437	10	143	5	1,176	総合スーパー
5	3	2	244	59	0	29	1	131	ホームセンター
2	1	1	129	28	0	21	0	75	家電量販店
128	25	101	1,829	551	38	52	3	1,086	コンビニエンスストア
18	5	11	278	56	4	45	0	159	ドラッグストア
54	20	34	1,012	224	4	100	0	591	その他のスーパーマーケット
27	4	15	156	21	2	21	0	109	レンタルビデオ店
0	0	0	52	0	0	13	0	38	貴金属店
22	9	6	270	22	0	64	0	110	古物店
5	3	2	679	213	4	46	0	406	給油所
182	72	62	3,881	186	11	705	3	2,754	その他の商店
557	362	102	12,236	1,822	130	1,330	6	8,147	サービス営業店
500	328	90	10,445	1,530	123	1,158	6	7,054	生活環境営業
76	70	3	445	30	9	107	1	260	一般ホテル・旅館
21	15	5	194	34	1	52	1	99	サウナ等公衆浴場
10	3	7	203	22	0	17	0	157	コインランドリー
2	1	1	68	12	0	4	0	47	映画館・劇場等
35	10	7	2,825	884	10	52	0	1,783	ばちこんこ屋・まあじゃん屋等
0	0	0	13	2	0	1	0	7	景品交換所
25	15	3	804	188	2	13	1	568	ゲームセンター
42	11	1	246	11	10	18	1	185	その他の風俗営業店
0	0	0	12	0	0	4	0	8	個室付浴場
35	35	0	180	4	2	16	1	129	モーテル・ラブホテル等
11	1	3	23	1	0	3	0	15	その他の風俗営業店
58	55	3	557	47	9	25	0	457	カラオケボックス
31	25	3	109	36	3	11	0	55	マンガ喫茶・インターネットカフェ
50	41	8	1,050	48	33	115	0	779	深夜飲食店
104	46	46	3,716	211	44	720	1	2,505	その他の飲食店
15	4	2	942	178	4	59	0	521	金融機関等
0	0	0	29	1	0	7	0	11	質屋
0	0	0	39	2	0	2	0	28	貸金業
3	1	2	415	118	2	15	0	182	銀行
10	1	0	194	27	2	12	0	107	郵便局
1	1	0	93	26	0	1	0	55	信用金庫・組合
1	1	0	172	4	0	22	0	138	農(漁)業協同組合
1	0	0	57	25	1	1	0	28	公営競技場
0	0	0	14	4	0	0	0	10	競馬場
0	0	0	23	13	1	1	0	8	競輪場
0	0	0	4	1	0	0	0	3	オートレース場
1	0	0	16	7	0	0	0	7	競艇場
41	30	10	792	89	2	112	0	544	スポーツ・行楽施設
1	0	0	100	4	0	26	0	65	ゴルフ場
36	27	9	649	73	2	82	0	460	その他のスポーツ施設
4	3	1	43	12	0	4	0	19	遊園地動物園
105	91	12	6,205	472	9	1,180	5	4,290	学校(幼稚園)
91	85	4	1,142	52	28	176	0	775	病(医)院診療所
32	23	9	1,156	57	6	304	0	758	神社仏閣
6,927	4,556	2,343	92,299	24,758	1,784	241	104	63,094	街頭
4,869	3,271	1,581	28,382	14,376	1,385	0	73	11,404	道路上
35	25	10	2,063	70	7	3	1	1,956	コインパーキング
133	101	31	13,520	271	16	24	0	13,154	月極駐車場
533	258	269	27,548	1,139	184	64	15	25,860	その他の駐車場
123	92	30	11,593	6,613	6	22	2	4,738	駐輪場
428	252	176	3,595	1,107	17	46	8	2,272	都市公園
68	45	23	1,493	483	13	0	0	957	空き地
622	406	213	3,717	665	104	81	2	2,504	公共交通機関等
48	34	13	54	8	2	1	0	39	地下鉄内
4	2	2	14	3	1	0	0	8	新幹線内
370	268	101	616	90	1	0	0	502	その他の列車内
141	60	80	2,327	495	80	62	1	1,539	駅
16	10	6	387	17	5	8	0	211	その他の鉄道施設
4	3	1	2	0	0	0	0	0	航空機内
0	0	0	49	10	5	1	1	22	空港
0	0	0	17	2	0	3	0	9	船舶内
2	2	0	189	13	2	6	0	156	海港
37	27	10	62	27	8	0	0	18	バス内
94	90	4	205	11	46	0	3	106	その他の交通機関
9	9	0	92	7	0	0	0	85	タクシー内
85	81	4	113	4	46	0	3	21	その他の自動車内
22	16	6	183	23	6	1	0	143	その他の街頭
17	14	3	91	8	5	1	0	73	地下街地下道路
5	2	3	92	15	1	0	0	70	高速道路
815	419	144	12,610	1,541	429	1,230	11	8,211	その他

図 表 索 引

1	1-1-1	刑法犯の認知・検挙及び検挙率の推移（昭和21年～平成25年）	1
2	1-1-2	刑法犯の認知・検挙及び検挙率の推移（平成15年～平成25年）	1
3	1-2	包括罪種別の認知・検挙状況の推移	2
4	1-3-1	刑法犯 死傷被害者数の推移	3
5	1-3-2	財産犯 被害額の推移	3
6	1-4	住宅対象侵入盗の侵入手段別認知件数の推移	4
7	1-5	万引きの年齢層別検挙人員の推移	4
8	1-6	置引きの主な発生場所別認知件数の推移	5
9	2-1-(1)	重要犯罪の認知・検挙状況の推移	7
10	2-1-(2)-1	殺人事件の認知・検挙状況の推移	8
11	2-1-(2)-2	殺人事件の検挙件数における被疑者と被害者の関係	9
12	2-1-(2)-3	殺人事件の年齢別検挙人員	10
13	2-1-(2)-4	捜査本部設置・解決状況の推移	11
14	2-1-(2)-5	通り魔殺人事件の認知・検挙の推移	11
15	2-1-(2)-6	保険金目的殺人事件の検挙件数の推移	12
16	2-1-(3)-1	強盗事件の認知・検挙状況の推移	13
17	2-1-(3)-2	強盗事件の発生時の犯罪供用物の状況（平成25年）	13
18	2-1-(3)-3	強盗事件に伴う身体犯の認知件数の推移	14
19	2-1-(3)-4	強盗事件の年齢別検挙人員	14
20	2-1-(3)-5	金融機関・郵便局対象強盗事件の認知状況の推移	15
21	2-1-(3)-6	金融機関・郵便局対象強盗事件の内訳	15
22	2-1-(3)-7	金融機関・郵便局対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成25年）	15
23	2-1-(3)-8	防犯設備の設置・活用状況（平成25年）	16
24	3-1-(3)-9	消費者金融対象強盗事件の認知状況の推移	16
25	2-1-(3)-10	消費者金融対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成25年）	16
26	2-1-(3)-11	防犯設備の設置・活用状況（平成25年）	16
27	2-1-(3)-12	深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の認知状況の推移	17
26	2-1-(3)-13	深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成24年）	17
27	2-1-(3)-14	防犯設備の設置・活用状況（平成25年）	17
28	2-1-(3)-15	ばちんこ・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の認知状況の推移	18
29	2-1-(3)-16	ばちんこ・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の発生時間帯別認知件数（平成25年）	18
30	2-1-(3)-17	ばちんこ景品買取所対象強盗事件の認知状況の推移	18
31	2-1-(3)-18	ばちんこ景品買取所対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成25年）	18
32	2-1-(3)-19	現金輸送車対象強盗事件の認知状況の推移	19
33	2-1-(3)-20	タクシー対象強盗事件の認知状況の推移	19
34	2-1-(3)-21	タクシー対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成25年）	19
35	2-1-(3)-22	防犯仕切板の活用と負傷等の状況（平成25年）	19
36	2-1-(3)-23	強盗の山口別認知件数	20
37	2-1-(3)-24	強盗の山口別検挙件数・検挙率	20
38	2-1-(3)-25	強盗の山口別検挙人員	20
39	2-1-(4)-1	強姦の認知・検挙状況の推移	21
40	2-1-(4)-2	強制わいせつの認知・検挙状況の推移	21
41	2-1-(4)-3	強姦の年齢別検挙人員	22
42	2-1-(4)-4	強制わいせつの年齢別検挙人員	22
43	2-1-(5)-1	略取誘拐・人身売買事件の認知・検挙状況の推移	23
44	2-1-(5)-2	略取誘拐・人身売買の被害者の年齢・性別認知件数の状況（平成25年）	23
45	2-1-(5)-3	身の代金目的略取・誘拐事件の認知・検挙状況の推移	23
46	2-1-(6)	放火事件の認知・検挙状況の推移	24
47	2-2-(1)	重要窃盗犯山口別認知・検挙状況の推移	25
48	2-2-(2)-1	侵入盗の認知・検挙状況の推移	26
49	2-2-(2)-2	侵入盗のうち住宅対象の認知・検挙状況	27
50	3-2-(1)-3	侵入盗のうち住宅対象以外の認知・検挙状況	27
51	3-2-(1)-4	侵入盗の年齢別検挙人員	27
52	2-2-(2)-5	侵入盗の発生場所別の侵入口・侵入手段（平成25年）	28
53	2-2-(2)-6	ピッキング用具を使用した認知・検挙状況の推移	29
54	2-2-(2)-7	ドリルを使用したサムターン回しによる認知・検挙状況の推移	29
55	2-2-(3)-1	自動車盗の認知・検挙状況の推移	30
56	2-2-(3)-2	自動車盗のキーの有無別認知件数の推移	31
57	2-2-(3)-3	自動車盗の被害額別認知件数の推移	31
58	2-2-(3)-4	被害自動車の還付数・還付率の推移	31

59	2-2-(4)-1	ひったくりの認知・検挙状況の推移	3 2
60	2-2-(4)-2	ひったくりの発生時間帯別認知件数	3 2
61	2-2-(4)-3	ひったくりの被害者の年齢・性別認知件数（平成25年）	3 3
62	2-2-(5)-1	すりの認知・検挙状況の推移	3 4
63	2-2-(5)-2	すりの被害者の年齢・性別認知件数（平成25年）	3 4
64	2-3-(1)	組織窃盗事件（登録・認定）数の推移	3 5
65	2-3-(2)-1	車上ねらいの認知・検挙状況の推移	3 6
66	2-3-(2)-2	車上ねらいの施錠の有無別認知件数の推移	3 6
67	2-3-(2)-3	車上ねらいの年齢別検挙人員	3 7
68	2-3-(3)-1	部品ねらいの認知・検挙状況の推移	3 8
69	2-3-(3)-2	部品ねらいの年齢別検挙人員	3 8
70	2-3-(4)-1	万引きの認知・検挙状況の推移	3 9
71	2-3-(4)-2	万引きの年齢別検挙人員	3 9
72	2-3-(5)-1	オートバイ盗の認知・検挙状況の推移	4 0
73	2-3-(5)-2	オートバイ盗のキーの有無別認知件数の推移	4 1
74	2-3-(5)-3	被害オートバイの還付数・還付率の推移	4 1
75	2-3-(5)-4	オートバイ盗の年齢別検挙人員	4 1
76	2-3-(6)-1	自転車盗の認知・検挙状況の推移	4 2
77	2-3-(6)-2	自転車盗の施錠の有無別認知件数の推移	4 3
78	2-3-(6)-3	被害自転車の還付数・還付率の推移	4 3
79	2-3-(6)-4	自転車盗の年齢別検挙人員	4 3
80	2-4	詐欺の認知・検挙状況の推移	4 4
81	2-5-1	特殊詐欺の認知・検挙状況	4 5
82	2-5-2	特殊詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成25年）	4 5
83	2-5-(1)-1	振り込め詐欺の認知・検挙状況	4 6
84	2-5-(1)-2	振り込め詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成25年）	4 6
85	2-5-(1)-3	オレオレ詐欺の認知・検挙状況	4 7
86	2-5-(1)-4	オレオレ詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成25年）	4 7
87	2-5-(1)-5	架空請求詐欺の認知・検挙状況	4 8
88	2-5-(1)-6	架空請求詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成25年）	4 8
89	2-5-(1)-7	融資保証金詐欺の認知・検挙状況	4 9
90	2-5-(1)-8	融資保証金詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成25年）	4 9
91	2-5-(1)-9	還付金等詐欺の認知・検挙状況	5 0
92	2-5-(1)-10	還付金等詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成25年）	5 0
93	2-5-(2)-1	振り込め詐欺以外の特殊詐欺の認知・検挙状況	5 1
94	2-5-(2)-2	振り込め詐欺以外の特殊詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成25年）	5 1
95	2-5-(2)-3	金融商品等取引名目の詐欺の認知・検挙状況	5 2
96	2-5-(2)-4	金融商品等取引名目の詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成25年）	5 2
97	2-5-(2)-5	ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺の認知・検挙状況	5 3
98	2-5-(2)-6	ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成25年）	5 3
99	2-5-(2)-7	異性との交際あっせん名目の詐欺の認知・検挙状況	5 3
100	2-5-(2)-8	異性との交際あっせん名目の詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成25年）	5 4
101	2-5-(3)-1	口座詐欺等の検挙状況	5 4
102	2-5-(3)-2	犯罪収益移転防止法違反等の検挙状況	5 4
103	2-5-(3)-3	携帯電話端末詐欺、携帯電話不正利用防止法違反の検挙状況	5 5
104	2-6-(1)-1	政治・行政をめぐる不正事案の検挙事件数	5 6
105	2-6-(1)-2	公職選挙法違反事件の検挙件数・人員	5 8
106	2-6-(2)	金融・不良債権関連事犯検挙事件数の推移	5 9
107	2-6-(3)	偽造日本銀行券の発見枚数の推移	6 1
108	2-7-(2)	公然わいせつの認知・検挙状況の推移	6 2
109	2-7-(3)	わいせつ物頒布等の認知・検挙状況の推移	6 2
110	2-7-(4)	賭博の認知・検挙状況の推移	6 3
111	2-8-(1)	人質立てこもり事件の認知・検挙状況の推移	6 4
112	2-9-(1)-1	高齢者の刑法犯検挙人員の推移	6 5
113	2-9-(1)-2	高齢者の包括罪種別検挙人員の推移	6 5
114	2-9-(2)-1	薬物常用者による刑法犯検挙人員の推移	6 6
115	2-9-(2)-2	薬物常用者による刑法犯罪種別検挙人員の推移	6 6
116	2-9-(3)-1	銃器使用事件の認知件数の推移	6 7
117	2-9-(3)-2	刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数の推移	6 8
118	2-9-(3)-3	殺人及び強盗における銃砲刀剣類等を使用した事件の認知件数	6 8
119	2-9-(3)-4	猟銃等使用事件の発生状況	6 8

120	2-9-(4)-1	カードの窃盗被害の状況（平成25年）	69
121	2-9-(4)-2	カード偽造犯罪の認知・検挙状況	70
122	2-9-(4)-3	カードを使用した窃盗（払出盗）の状況（平成25年）	71
123	2-9-(4)-4	カードを使用した詐欺の状況（平成25年）	71
124	2-9-(5)-1	暴行の認知・検挙状況	72
125	2-9-(5)-2	傷害の認知・検挙状況	72
126	2-9-(5)-3	傷害致死の認知・検挙状況	73
127	2-9-(5)-4	暴行の検挙件数における犯罪供用物の有無	73
128	2-9-(5)-5	暴行の年齢別検挙人員	73
129	2-9-(5)-6	傷害の年齢別検挙人員	73
130	2-9-(5)-7	公務執行妨害の認知・検挙状況	74
131	2-9-(5)-8	器物損壊等の認知・検挙状況	74
132	2-10-(1)	少年による刑法犯検挙人員の推移	75
133	2-10-(2)	少年による初発型非行検挙人員の推移	76
134	2-10-(3)	触法少年（刑法）の補導人員の推移	77
135	2-11-(1)	来日外国人の刑法犯検挙状況の推移	78
136	2-11-(2)-1	国籍・地域別検挙状況	78
137	2-11-(2)-2	検挙人員構成比	78
138	2-11-(3)-1	来日外国人の刑法犯検挙件数に占める共犯事件の推移	79
139	2-11-(3)-2	刑法犯検挙件数の罪種等別・共犯形態（来日外国人・日本人）	79
140	2-11-(4)	来日外国人の包括罪種等別・在留資格別検挙人員の比較	80
141	2-12-(1)-1	暴力団構成員等の推移	81
142	2-12-(1)-2	主要3団体の暴力団構成員等の比較	81
143	2-12-(2)-1	暴力団構成員等の罪種別検挙件数の推移	82
144	2-12-(2)-2	暴力団構成員等の罪種別検挙人員の推移	83
145	2-12-(2)-3	暴力団構成員の罪種別検挙人員の推移	83
146	2-13-(1)-1	女性の刑法犯被害件数	84
147	2-13-(1)-2	罪種別被害状況	85
148	2-13-(1)-3	年齢層別の犯罪被害件数（平成25年）	86
149	2-13-(1)-4	罪種別・場所別被害発生件数（平成25年）	87
150	2-13-(1)-5	配偶者による殺人、傷害及び暴行事件の検挙件数の推移	87
151	2-13-(2)-1	子供の刑法犯被害件数	88
152	2-13-(2)-2	罪種別被害状況	89
153	2-13-(2)-3	就学別の犯罪被害件数（平成25年）	90
154	2-13-(2)-4	就学別・場所別被害発生件数（平成25年）	91
155	2-13-(2)-5	罪種別・場所別被害発生件数（平成25年）	91
156	2-13-(2)-6	罪種別被害発生件数	92
157	2-13-(3)-1	高齢者の刑法犯被害件数	93
158	2-13-(3)-2	罪種別被害状況	94
159	2-13-(3)-3	罪種別・場所別被害発生件数（平成24年）	95
160	3-1	刑法犯の認知・検挙状況の推移	97
161	3-2	刑法犯の罪種別犯罪率の推移	98
162	3-3	刑法犯の都道府県別認知件数の推移	100
163	3-4	刑法犯の都道府県別検挙件数の推移	102
164	3-5	刑法犯の都道府県別検挙人員の推移	104
165	3-6	刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移	106
166	3-7	凶悪犯の罪種別認知・検挙状況の推移	106
167	3-8	粗暴犯の罪種別認知・検挙状況の推移	108
168	3-9	窃盗犯の手口別認知・検挙状況の推移	108
169	3-10	侵入盗の手口別認知・検挙状況の推移	110
170	3-11	乗り物盗の手口別認知・検挙状況の推移	110
171	3-12	非侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	112
172	3-13	知能犯の罪種別認知・検挙状況の推移	112
173	3-14	風俗犯の罪種別認知・検挙状況の推移	114
174	3-15	その他の刑法犯の罪種別認知・検挙状況の推移	114
175	3-16	来日外国人刑法犯の罪種・手口別検挙状況の推移	116
176	3-17	来日外国人刑法犯の国籍別検挙状況の推移	118
177	3-18	刑法犯の発生場所別認知件数(全刑法犯、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯)（平成25年）	120
178	3-19	刑法犯の発生場所別認知件数(非侵入窃盗、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯)（平成25年）	122

